

第 35 回 齒科衛生士 國家試驗對策

# 全國統一 模擬試驗

第 2 回

DHS 齒科衛生士部

## 目次

解説 (午前問題) . . . 1

解説 (午後問題) . . . 32

- 解説の見方：(1) 問題分類 午前問題 問題 1～110  
午後問題 問題 1～110
- (2) 選択肢考察 答えと各選択肢の正誤が明確になるように、○×で示した。
- (3) ポイント 関連事項や発展的知識、将来問われる事項をまとめた。



DHS ホームページ

歯科衛生士 DHS 全国統一模擬試験 35-2 解説書

2025 年 11 月 2 日 第 1 刷発行

発行 株式会社ピステム  
DHS 歯科衛生士部  
〒001-0011 札幌市北区北 11 条西 4 丁目 2-25 ベルエアプラザ 3 F  
TEL. 011 (708) 7551 (代表) 無料通話 0120 (594) 509

本書の内容を無断で複写・複製・転載すると著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。  
尚、乱丁、落丁がございましたらお取り替えいたします。

\*正誤情報、発行後の法令改正、最新統計、診療ガイドライン関連の情報につきましては、弊社ウェブサイト (<http://www.rdcnet.jp/>) にてお知らせいたします。

# 全国統一 模擬試験

## 第 2 回

DHS 歯科衛生士部

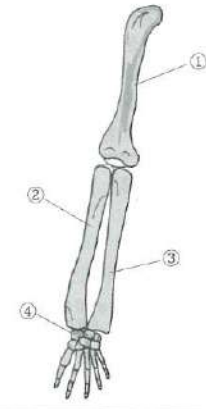
午前問題				午後問題			
No.	解答	出題基準	科目	No.	解答	出題基準	科目
1	c	1	解剖学	56	c	6	小児歯科学
2	c	1	解剖学	57	d	6	小児歯科学
3	a	2	解剖学	58	c d	6	小児歯科学
4	b	2	解剖学	59	c	6	高齢者・障害者
5	c	1	生化学	60	a d	6	高齢者・障害者
6	b	2	生理学	61	b d	6	高齢者・障害者
7	d	1	生理学	62	b c	6	高齢者・障害者
8	b	2	生理学	63	a d	7	歯科予防処置
9	b	3	病理学	64	d	7	歯科予防処置
10	d	3	病理学	65	b d	7	歯科予防処置
11	d	3	微生物学	66	b	7	歯科予防処置
12	d	3	微生物学	67	a b	7	歯科予防処置
13	a	3	微生物学	68	b c	7	歯科予防処置
14	d	3	薬理学	69	a	7	歯科予防処置
15	c	3	薬理学	70	a b	7	歯科予防処置
16	a b	4	口腔衛生学	71	c	7	歯科予防処置
17	a c	4	口腔衛生学	72	b d	7	歯科予防処置
18	a c	4	口腔衛生学	73	b	7	歯科予防処置
19	a	4	口腔衛生学	74	c	7	歯科予防処置
20	d	4	口腔衛生学	75	d	7	歯科予防処置
21	b d	4	口腔衛生学	76	b d	7	歯科予防処置
22	c d	4	口腔衛生学	77	c	7	歯科予防処置
23	c d	4	衛生・公衆衛生学	78	a c	8	歯科保健指導
24	b c	4	衛生・公衆衛生学	79	a b	8	歯科保健指導
25	b	4	衛生・公衆衛生学	80	a b	8	歯科保健指導
26	b d	4	衛生・公衆衛生学	81	b	8	歯科保健指導
27	a b	4	衛生・公衆衛生学	82	b d	8	歯科保健指導
28	d	4	衛生・公衆衛生学	83	b c	8	歯科保健指導
29	a b	4	衛生・公衆衛生学	84	c	8	歯科保健指導
30	a b	4	衛生・公衆衛生学	85	c	8	歯科保健指導
31	a b	5	歯科衛生士概論	86	a	8	歯科保健指導
32	b	5	歯科衛生士概論	87	a	8	歯科保健指導
33	c	5	歯科衛生士概論	88	c d	8	歯科保健指導
34	b c	5	歯科衛生士概論	89	d	8	歯科保健指導
35	d	6	臨床歯科総論	90	a	8	歯科保健指導
36	d	6	臨床歯科総論	91	b c	9	歯科診療補助
37	a c	6	臨床歯科総論	92	a	9	歯科診療補助
38	a	6	保存修復学	93	c d	9	歯科診療補助
39	a	6	保存修復学	94	c d	9	歯科診療補助
40	a	6	保存修復学	95	c d	9	歯科診療補助
41	a	6	歯内療法	96	b	9	歯科診療補助
42	c d	6	歯内療法	97	a c	9	歯科診療補助
43	a c	6	歯内療法	98	b d	9	歯科診療補助
44	b c	6	歯周療法	99	b d	9	歯科診療補助
45	c	6	歯周療法	100	a b	9	歯科診療補助
46	c	6	歯科補綴学	101	c	9	歯科診療補助
47	a	6	歯科補綴学	102	b	9	歯科診療補助
48	c	6	歯科補綴学	103	d	9	歯科診療補助
49	b	6	口腔外科学	104	b	9	歯科診療補助
50	b d	6	口腔外科学	105	d	9	歯科診療補助
51	d	6	口腔外科学	106	c d	9	歯科診療補助
52	a d	6	口腔外科学	107	a d	9	歯科診療補助
53	d	6	矯正歯科学	108	c d	9	歯科診療補助
54	b	6	矯正歯科学	109	c	9	歯科診療補助
55	c	6	矯正歯科学	110	c d	9	歯科診療補助

※出題基準	1 人体（歯・口腔を除く。）の構造と機能	5 歯科衛生士概論	8 歯科保健指導論
	2 歯・口腔の構造と機能	6 臨床歯科医学	9 歯科診療補助論
	3 疾病の成り立ち及び回復過程の促進	7 歯科予防処置論	
	4 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み		

## 解説（午前問題）

（問題 1）上肢の模式図を示す。尺骨はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え c

### 選択肢考察

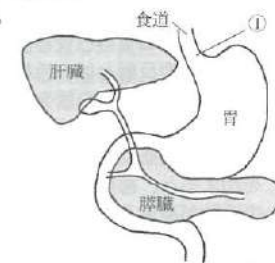
- × a ①は上腕骨である。
- × b ②は橈骨である。前腕を構成する外側（拇指側）に位置する骨である。
- c ③は尺骨である。前腕を構成する内側（小指側）に位置する骨である。
- × d ④は手根骨の1つである舟状骨である。

### ポイント

<上肢の骨>  
上腕骨、前腕骨（橈骨と尺骨）、手根骨、中手骨、指骨

（問題 2）消化器系の図を示す。

- ①はどれか。1つ選べ。
- a 肝門
  - b 泉門
  - c 噴門
  - d 幽門



答え c

### 選択肢考察

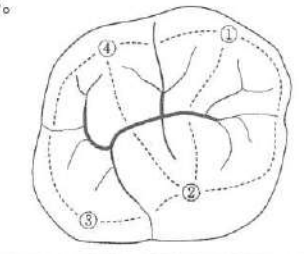
- × a 肝門とは肝臓の下面中央部にある門脈、肝動脈、胆管、リンパ管、神経の出入口である。
- × b 泉門は新生児頭蓋骨で3個以上の骨が会合し、2つ以上の縫合が交差する部分である。
- c ①は食道から胃に移行する部位で、胃の入口に相当するので、噴門である。
- × d 幽門は胃から十二指腸に移行する部位で、胃の出口に相当する

### ポイント

<消化器官>  
口腔→咽頭→食道→噴門→胃→幽門→十二指腸→空腸→回腸→盲腸→上行結腸→横行結腸→下行結腸→S状結腸→直腸→肛門

（問題 3）上顎右側第一大臼歯咬合面の模式図を示す。近心頬側咬頭はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



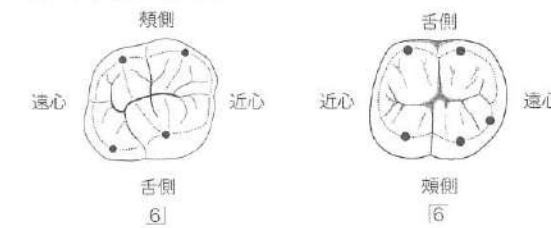
答え a

### 選択肢考察

- a ①は近心頬側咬頭である。
- × b ②は近心舌側咬頭である。
- × c ③は遠心舌側咬頭である。
- × d ④は遠心頬側咬頭である。

### ポイント

<第一大臼歯の咬合面>



（問題 4）エナメル質の成長線はどれか。1つ選べ。

- a エナメル叢
- b レチウス条
- c シュレーゲル条
- d アンドレーゼン線

答え b

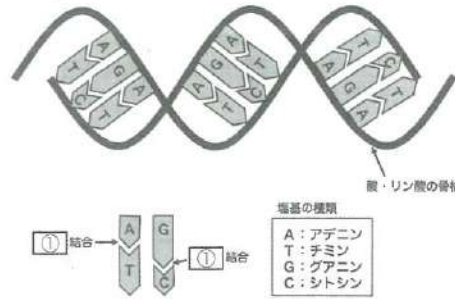
### 選択肢考察

- × a エナメル叢とは、エナメル象牙境にみられる草むらのような低石灰化帯のことである。
- b レチウス条は横紋の10本間隔ごとにみられるよく発達したエナメル質の成長線である。
- × c エナメル小柱の横断された部分（横断帯）では暗く、縦断された部分（縦断帯）では明るく、縞模様を呈するものをシュレーゲル条という。
- × d アンドレーゼン線は象牙質の成長線で、象牙質を脱灰切片にした際にみられる間隔20μmの平行線のことである。

### ポイント

<エナメル質の成長線>  
レチウス（平行）条、横紋、周波条、新産線がある。

(問題 5) DNAの二重らせん構造の模式図を示す。



①に該当するのはどれか。1つ選べ。  
a 共有 b 金属 c 水素 d イオン

選択肢考察

答え c

× a、× b、○ c、× d アデニン (A) とチミン (T) は2本の水素結合で、グアニン (G) とシトシン (C) は3本の水素結合で二重らせん構造を維持している。

ポイント

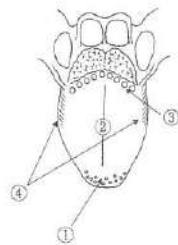
<DNAの構成要素>

塩基 (アデニン、グアニン、シトシン、チミン) + 五炭糖 + リン酸

(問題 6) 舌の模式図を示す。

味蕾が少ない部位はどれか。

- 1つ選べ。  
a ①  
b ②  
c ③  
d ④



選択肢考察

答え b

× a ①の舌尖には茸状乳頭が多く味蕾は存在している。  
○ b ②の舌背中央には糸状乳頭が多いが、糸状乳頭には味蕾が存在しない。  
× c ③の分界溝付近には有郭乳頭が多く味蕾が分布している。  
× d ④の舌側縁には葉状乳頭が多く味蕾が分布している。

ポイント

<舌乳頭>

有郭乳頭	味蕾が存在する	分界溝付近に分布している
葉状乳頭	味蕾が存在する	舌側縁に分布している
茸状乳頭	味蕾が存在する	舌尖に分布している
糸状乳頭	味蕾が存在しない	舌背中央に分布している

(問題 7) 鈍い痛みを伝える神経線維はどれか。1つ選べ。

- a Aα  
b Aβ  
c Aδ  
d C

選択肢考察

答え d

× a Aα線維は筋紡錘からの求心性線維、骨格筋の運動神経である。

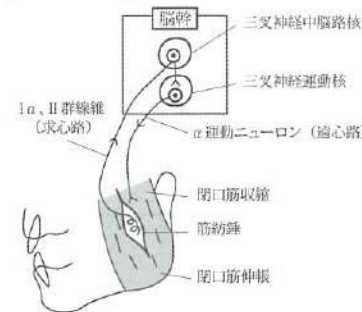
- × b Aβ線維は触覚、圧覚の神経線維である。  
× c Aδ線維は鋭い痛みを伝える神経線維である。  
○ d C線維は鈍い痛みを伝える神経線維である。

ポイント

<痛覚を伝える神経線維>

- ・ Aδ線維：鋭い痛みを伝える神経線維
- ・ C線維：鈍い痛みを伝える神経線維

(問題 8) ある反射神経路を模式図を示す。



この反射はどれか。1つ選べ。

- a 開口反射 b 下顎張反射  
c 咽頭絞扼反射 d 歯根膜咬筋反射

選択肢考察

答え b

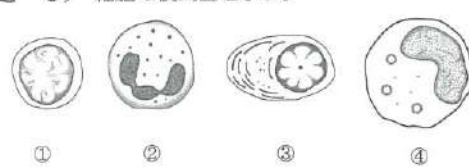
× a 開口反射とは、顔面、皮膚、口唇、口腔粘膜、歯肉、歯髄などの侵害受容器が痛みを感じ、開口が誘発される顎反射の1つである。開口筋の興奮と閉口筋の抑制が誘発される。  
○ b 下顎張反射とは、オトガイ部をたたくと一過性に急に閉口筋が伸張され、閉口筋が収縮して口を閉じる顎反射の1つである。図に示すように受容器は閉口筋の筋紡錘なので自己受容反射である。  
× c 咽頭絞扼反射とは、舌根部、咽頭部後壁、口蓋扁桃部などを刺激により誘発される反射で、顎反射ではない。  
× d 歯根膜咬筋反射とは、歯をたたくか歯に持続的な力を加えると、歯根膜中の感覚受容器が興奮して閉口筋の活動が高まる顎反射の1つである。

ポイント

<下顎張反射>

- ・ オトガイ部をたたくと一過性に急に閉口筋が伸張され、閉口筋が収縮して閉口する反射である。
- ・ 下顎安静位を保つのに重要である。
- ・ 受容器は閉口筋の筋紡錘である (自己受容反射)。

(問題 9) 細胞の模式図を示す。



急性化膿性根尖性歯周炎で主体を占めるのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察

答え b

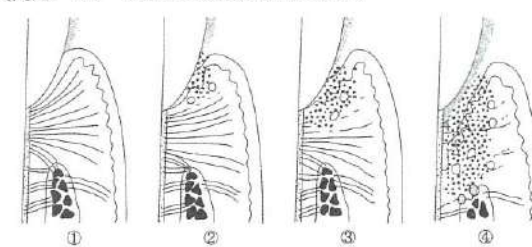
- × a ①はリンパ球である。大部分は径5~8μmの小リンパ球である。  
○ b ②は好中球である。径8μmの球形を示す。核は分葉を示す。化膿性炎では好中球の滲出が特徴で膿を生じる。  
× c ③は形質細胞である。なお、形質細胞とはBリンパ球が分化成熟した細胞である。  
× d ④は単球である。白血球の中で最も大きく、径は10~15μmである。

ポイント

<急性化膿性炎>

急性化膿性炎では好中球の浸潤が著明である。

(問題 10) 歯周組織の模式図を示す。



侵襲性歯周炎を表しているのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察

答え d

× a ①は健康な歯肉の状態を表している。  
× b、× c ②と③は歯槽骨の破壊はなく、仮性ポケットのみが形成されているので、歯肉炎の状態を表している。  
○ d ④は歯槽骨が破壊されており、真性ポケットが形成されているので、歯周炎の状態を表している。したがって、侵襲性歯周炎を表しているのは④である。

ポイント

<侵襲性歯周炎 (若年性歯周炎) >

- ・ 侵襲性歯周炎は思春期に発症し、急激な垂直性の歯槽骨吸収がみられる。
- ・ グラム陰性桿菌 (*Aggregatibacter actinomycetem-comitans*) との関連がある。

(問題 11) 細菌の運動状態を観察できるのはどれか。1つ選べ。

- a 蛍光顕微鏡  
b 光学顕微鏡  
c 電子顕微鏡  
d 位相差顕微鏡

選択肢考察

答え d

× a 蛍光顕微鏡は試料を蛍光染色するため、細菌の運動を観察することはできない。  
× b 光学顕微鏡は可視光線および近傍の波長域の光を利用する。通常の染色標本を観察するための顕微鏡である。細菌の運動を観察することはできない。  
× c 電子顕微鏡は生きた状態で観察しないので、細菌の運動を観察することはできない。

○ d 位相差顕微鏡は染色せずに細菌の厚みによる光のずれを利用して、生きた状態を観察している。したがって、細菌の運動状態をみることができる。

ポイント

<細菌の運動性を観察できる顕微鏡>  
暗視野顕微鏡、位相差顕微鏡

(問題 12) アレルギーの模式図を示す。

これに該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 接触性皮膚炎  
b 急性糸球体腎炎  
c 金属アレルギー  
d アナフィラキシーショック



選択肢考察

答え d

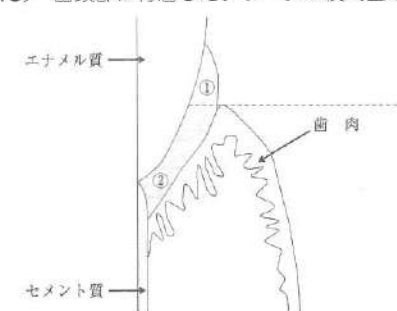
× a、× c 接触性皮膚炎、金属アレルギーはともにIV型アレルギーで、感作リンパ球が関与する。  
× b 急性糸球体腎炎はIII型アレルギーで、補体が関与する。  
○ d IgEが関与するのはI型アレルギーである。気管支喘息、花粉症、じん麻疹、アレルギー性鼻炎、アナフィラキシーショック、ラテックスゴムアレルギーなどが含まれる。

ポイント

<発生機序によるアレルギーの分類>

即時型	I型	アナフィラキシー型	気管支喘息、花粉症、じん麻疹、アレルギー性鼻炎、アナフィラキシーショック、ラテックスゴムアレルギー
	II型	細胞傷害型	血液型不適合輸血、新生児溶血性疾患、天疱瘡
遅延型	III型	免疫複合体型	急性糸球体腎炎、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、シエーグレン症候群
	IV型	遅延型	ツベルクリン反応、金属アレルギー、接触性皮膚炎、臓器移植の拒絶反応

(問題 13) 歯頸部に付着したプラークの模式図を示す。



①と比べた②の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 運動性菌が多い。  
b う蝕の原因になる。  
c グラム陽性球菌が多い。  
d 唾液中の炭水化物がエネルギー源である。

選択肢考察

答え a

①は歯肉縁上プラーク、②は歯肉縁下プラークを示している。

- a 歯肉縁下プラークには、スピロヘータなどの運動性菌が多い。
- × b う蝕ではなく、歯周炎の原因になる。
- × c グラム陽性球菌ではなく、グラム陰性桿菌が多い。
- × d 歯肉溝滲出液（主としてアミノ酸）がエネルギー源である。

**ポイント**

<歯肉縁上プラークと歯肉縁下プラーク>

	歯肉縁上プラーク	歯肉縁下プラーク
グラム染色性	グラム陽性菌が多い	グラム陰性菌が大部分
主な細菌	球菌、放線菌、線状菌	小桿菌、スピロヘータ
運動性菌	少ない	多い
エネルギー源	唾液 (主として炭水化物)	歯肉溝滲出液 (主としてアミノ酸)
主な病原性	う蝕、歯肉炎	歯周炎

(問題 14) 薬物代謝酵素はどれか。1つ選べ。

- a アミラーゼ
- b コラゲナーゼ
- c ヒアルロニダーゼ
- d チトクローム P-450

**選択肢考察**

**答え d**

- × a 唾液および尿液に含まれる消化酵素である。
- × b 組織中のコラーゲンを分解する組織破壊酵素である。
- × c 結合組織に含まれるヒアルロン酸を分解する組織破壊酵素である。
- d 肝臓に存在する薬物代謝酵素である。チトクローム P-450 によって酸化される。

**ポイント**

<薬物代謝酵素>

薬物代謝に関与する酵素で、肝臓に多く存在する。(例: チトクローム P-450)

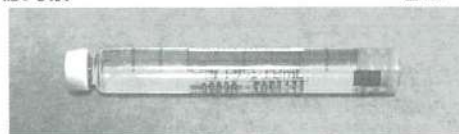
(問題 15) ある薬品の写真(別冊午前No.1)を別に示す。この薬品にアドレナリンが配合されている理由はどれか。1つ選べ。

- a 血圧上昇の抑制
- b 使用期限の延長
- c 局所麻酔作用の延長
- d 発痛物質産生の抑制

別冊 午前 No.1 写真

**選択肢考察**

**答え c**



局所麻酔薬

- × a アドレナリンには血圧上昇作用がある。
- × b アドレナリンを配合しても使用期限が延長されることはない。
- c 麻酔効果の持続時間を延長させる目的がある。
- × d 発痛物質産生を抑制するのは消炎鎮痛薬である。

**ポイント**

<局所麻酔薬に血管収縮薬(アドレナリン)が配合されている理由>

- ①薬物の吸収を遅らせる→局所麻酔作用の延長
- ②麻酔薬の急激な血中濃度上昇による急性中毒予防
- ③局所出血の予防、出血量の減少による手術野の明示

(問題 16) ペリクルで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 有機物を含む。
- b 歯の脱灰を抑制する。
- c ブラッシングで除去できる。
- d 微生物の歯面への付着を抑制する。

**選択肢考察**

**答え a b**

- a ペリクルは有機性の薄膜である。
- b ペリクルは歯の脱灰を抑制する。
- × c ペリクルは研磨では除去できるが、通常のブラッシングでは除去できない。
- × d ペリクルは微生物の歯面への付着を促進するため、プラーク形成の起点となる。

**ポイント**

<ペリクル>

- ・唾液中の糖タンパク質などが歯面に吸着されて形成される。
- ・歯を物理的に保護する反面、微生物の歯面への付着を促進する。

(問題 17) 重度歯周炎に関連する「Red Complex」に含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a *Treponema denticola*
- b *Prevotella intermedia*
- c *Porphyromonas gingivalis*
- d *agggregatibacter actinomycetemcomitans*

**選択肢考察**

**答え a c**

- a *Treponema denticola* は「Red Complex」に含まれる。
- × b *Prevotella intermedia* は妊娠関連歯肉炎に関与していると考えられているが、「Red Complex」に含まれていない。
- c *Porphyromonas gingivalis* は「Red Complex」に含まれる。
- × d *agggregatibacter actinomycetemcomitans* は侵襲性歯周炎に関与していると考えられているが、「Red Complex」に含まれていない。

**ポイント**

<重度歯周炎に関連する「Red Complex」に含まれる細菌>

- ・ *Tannerella forsythia*
- ・ *Treponema denticola*
- ・ *Porphyromonas gingivalis*

(問題 18) 摂取によりう蝕の発生リスクが増加する甘味料はどれか。2つ選べ。

- a スクロース
- b スクラロース
- c フルクトース
- d アスパルテーム

**選択肢考察**

**答え a c**

- a スクロースはプラーク形成能があり、酸産生能が高いため、摂取によりう蝕の発生リスクが増加する。
- × b スクラロースは非う蝕性甘味料であり、う蝕の発生リスクは増加しない。
- c フルクトースは酸産生能が高いため、摂取によりう蝕の発生リスクが増加する。
- × d アスパルテームは非う蝕性甘味料であり、う蝕の発生リスクは増加しない。

**ポイント**

<代用甘味料>

非う蝕性甘味料	プラーク形成能と酸産生能をもたない甘味料
低う蝕性甘味料	プラーク形成能はないが酸産生能をもつ甘味料

(問題 19) 口腔癌の発生部位で最も多いのはどれか。1つ選べ。

- a 舌
- b 口蓋
- c 歯肉
- d 口腔底

**選択肢考察**

**答え a**

- a、× b、× c、× d 口腔癌の発生部位で最も多いのは舌である。ついで歯肉、口腔底などである。

**ポイント**

<口腔癌の疫学>

- ・我が国において、口腔癌はがん全体の1~3%を占めるとされている。
- ・口腔癌の発生は中年以降で高い。
- ・喫煙や飲酒などがリスクファクターと考えられている。

(問題 20) 3歳児歯科健康診査の受診者10名の結果を表に示す。

受診者番号	う蝕がみられた部位 (○)			
	上顎前歯部	上顎臼歯部	下顎前歯部	下顎臼歯部
1	○	○		
2				
3		○		○
4	○			
5				○
6	○			
7				
8			○	○
9		○		○
10				

う蝕罹患型 A 型の割合はどれか。1つ選べ。

- a 20% b 30% c 40% d 50%

**選択肢考察**

**答え d**

× a、× b、× c、○ d 3歳児歯科健康診査のう蝕罹患型 A 型は、「上顎前歯部のみ、または臼歯部のみ」にう蝕がある状態である。受診者のうち、A 型に該当するのは受診者番号 3、4、5、6、9 の 5 名であるため、その割合は  $5/10 \times 100\% = 50\%$  である。

**ポイント**

<3歳児歯科健康診査のう蝕罹患型>

○型	う蝕がない
A型	上顎前歯部のみ、または臼歯部のみ」にう蝕がある
B型	臼歯部および上顎前歯部にう蝕がある
C1型	下顎前歯部のみう蝕がある
C2型	下顎前歯部と他の部位にう蝕がある

(問題 21) ブラッシングで歯肉のマッサージを主目的とするのはどれか。2つ選べ。

- a フォーンズ法
- b ローリング法
- c スクラビング法
- d チャーターズ法

**選択肢考察**

**答え b d**

- × a、× c フォーンズ法やスクラビング法は主に毛先を使う方法で歯面清掃を主目的とする。
- b、○ d ローリング法やチャーターズ法は主に毛束の脇腹を使う方法で歯肉マッサージを主目的とする。

**ポイント**

<主に毛束の脇腹を使う方法>

- ・ローリング法
- ・チャーターズ法
- ・スティルマン法
- ・スティルマン改良法

(問題 22) 口臭の原因となる揮発性硫黄化合物はどれか。2つ選べ。

- a アンモニア
- b インドール
- c メチルメルカプタン
- d ジメチルサルファイド

**選択肢考察**

**答え c d**

- × a、× b アンモニアやインドールは口臭の原因物質であるが、揮発性硫黄化合物ではない。
- c、○ d メチルメルカプタンやジメチルサルファイドは口臭の原因となる揮発性硫黄化合物である。

**ポイント**

<揮発性硫黄化合物>

- ・硫化水素
- ・メチルメルカプタン
- ・ジメチルサルファイド

(問題 23) オタワ憲章でのヘルスプロモーションの活動方針で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 三次医療体制の強化
b バリアフリー社会の実現
c 健康を支援する環境づくり
d 問題解決のための個人技術の向上

選択肢考察 答え cd

- x a 三次医療体制とは、一次救急や二次救急では対応が難しい、生命に関わる重症患者に対応する救急医療体制のことであり、ヘルスプロモーションの概念ではない。
x b バリアフリー社会の実現は、ヘルスプロモーションではなく、ノーマライゼーションの概念である。
o c 健康を支援する環境づくりは、ヘルスプロモーションの5つの活動方針の1つである。
o d ヘルスプロモーションでは、セルフケアを重視しているため、個人技術の向上は活動方針として正しい。

ポイント

<ヘルスプロモーションの5つの活動方針>

- ①健康的な公共政策づくり (例:ウォーキングコースの整備)
②健康を支援する環境づくり
③地域活動の強化 (例:健康づくりグループの育成)
④個人の意識・技術・能力の向上
⑤健康サービスの方向転換

(問題 24) 健康日本21 (第三次) において推進している課題はどれか。2つ選べ。

- a 共生社会の実現
b より実効性をもつ取組
c 誰一人取り残さない健康づくり
d 高度先進医療の公的医療保険適用

選択肢考察 答え bc

- x a 障害者や高齢者を特別な人として扱うのではなく、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現を目指すのは、ノーマライゼーションの概念である。
o b、o c 健康日本 21 (第三次) では、人生 100 年時代を迎え、社会が多様化する中で、各人の健康課題も多様化しており、「誰一人取り残さない健康づくり」を推進する。また、健康寿命は着実に延伸してきたが、一部の指標が悪化しているなど、さらに生活習慣の改善を含め、個人の行動と健康状態の改善を促す必要がある。このため、「より実効性をもつ取組の推進」に重点を置く。
x d 高度先進医療の推進は健康日本 21 (第三次) の基本的な方向ではない。

ポイント

<健康日本 21 (第三次): 21 世紀における第 5 次国民健康づくり運動>

Table with 2 columns: 期 間, 法的根拠, ビジョン, 基本的な方向. Content includes 2024年度~2035年度, 健康増進法, 全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現, and ①健康寿命の延伸と健康格差の縮小, ②個人の行動と健康状態の改善, ③社会環境の質の向上, ④ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり.

(問題 25) 日本の令和 6 年 (2024 年) における合計特殊出生率はどれか。1つ選べ。

- a 0.64
b 1.15
c 1.26
d 2.13

選択肢考察 答え b

- x a 令和 6 年 (2024 年) の総再生産率は 0.64 であった。
o b 令和 6 年 (2024 年) の合計特殊出生率は 1.15 で、前年の 1.20 からさらに低下し、過去最低を更新した。
x c 平成 17 年 (2005 年) の合計特殊出生率は 1.26 で、過去最低 (当時) を記録した。
x d 昭和 45 年 (1970 年) の合計特殊出生率は 2.13 で、当時は第二次ベビーブームの時期で、出生率は安定して 2.0 以上を維持していた。

ポイント

<出生に関する指標>

Table with 3 columns: 指 標, 意 味, 最新統計. Content includes 合計特殊出生率 (1.15), 総再生産率 (0.64), 純再生産率 (0.63).

(問題 26) 患者対照研究がコホート研究より優れている点は何ですか。2つ選べ。

- a 結果の信頼性が高い。
b 研究に要する期間が短い。
c 寄与危険度を直接求めることができる。
d 罹患率の稀な疾患の研究に適している。

選択肢考察 答え bd

- x a 患者対照研究では患者の記憶や病歴に依存するので結果の信頼性は低い。
o b 患者対照研究では、すでに疾患を発症している患者 (症例) と疾患を持たない対照群 (コントロール) を集めて、過去の曝露 (原因となりうる要因) を調査するため、疾患の発生を待つ必要がなく、情報収集が比較的迅速に行うことができる。つまり、研究に要する期間が短い。
x c 患者対照研究では寄与危険度を求めることはできない。
o d 罹患率が稀な疾患の場合、コホート研究で追跡しても一人も罹患しない可能性がある。しかし、患者対照研究では稀な疾患でも患者を集めることができる。したがって、患者対照研究は稀な疾患の研究に適している。

ポイント

<コホート研究と患者対照研究の違い>

Table comparing Cohort Study and Case-Control Study across categories like 分類, 時間軸, 信頼性, 費用・労力, 期間, 相対危険度, 寄与危険度, 選択バイアス, 稀な疾患の研究.

(問題 27) 予防接種法において定期予防接種の対象疾患はどれか。2つ選べ。

- a 麻疹
b 百日咳
c C型肝炎
d 流行性耳下腺炎

選択肢考察 答え ab

- o a、o b 麻疹と百日咳は定期予防接種対象疾病の A 類疾病 (集団予防) に含まれる。
x c C型肝炎ではなく、B型肝炎は A 類疾病 (集団予防) に含まれる。
x d 流行性耳下腺炎は任意接種である。

ポイント

<予防接種法に基づく定期予防接種対象疾病>

Table with 2 columns: A類疾病 (集団予防), B類疾病 (個人予防). Content lists diseases like 5種混合ワクチン, 肺炎球菌感染症, 季節性インフルエンザ, etc.

(問題 28) 地域包括ケアシステムにおける支援で「互助」に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 高齢者自身による社会参加
b 社会福祉士による総合相談
c 要介護者による介護保険サービスの利用
d 住民ボランティアによる要支援者の家のごみ出し

選択肢考察 答え d

- x a 高齢者自身による社会参加は、「自助」に該当する。
x b 社会福祉士による総合相談は、「公助」に該当する。
x c 要介護者による介護保険サービスの利用は、「共助」に該当する。
o d 住民ボランティアによる要支援者の家のごみ出しは、「互助」に該当する。

ポイント

<地域包括ケアシステムの費用負担による区分>

Table with 3 columns: 自助, 互助, 共助, 公助. Content includes 自分ごとの費用負担, ボランティア活動, 被保険者による負担, 税による負担, etc.

(問題 29) 我が国の社会保険において現物給付を主としているのはどれか。2つ選べ。

- a 医療保険
b 介護保険
c 年金保険
d 労働者災害補償保険

選択肢考察 答え ab

- o a、o b 医療保険と介護保険は現物給付である。
x c、x d 年金保険と労働者災害補償保険は金銭給付である。

ポイント

<社会保険の給付>

Table with 2 columns: 現物給付, 金銭給付. Content includes 医療保険 (一部金銭給付), 介護保険, 年金給付, 雇用保険, etc.

(問題 30) 障害者総合支援法で定められている自立支援医療に該当するのはどれか。2つ選べ。

- a 育成医療
b 更生医療
c 養育医療
d 療育医療

選択肢考察 答え ab

- o a、o b 自立支援医療制度とは、心身に障害のある者が継続的な治療を受けるために、医療費の自己負担を軽減する制度である。対象は以下の 3 種類に分かれている。
・育成医療 (症状の改善が期待できる 18 歳未満の身体障害児に適用)
・更生医療 (治療によって症状の改善が見込まれる身体障害を持つ 18 歳以上の患者に適用)
・精神通院医療 (精神疾患患者が通院で治療を受ける場合に適用)
x c 養育医療は未熟児 (出生児体重 2,000 g 以下または生育に医療が必要な薄弱な乳児) に対する公費医療 (母子保健法) である。
x d 療育医療は 18 歳未満の結核患児に対する公費医療 (児童福祉法) である。

ポイント

<各種医療と関連する法律>

Table with 3 columns: 医療, 対象, 関連する法律. Content includes 小児 (救急) 医療, 養育医療, 療育医療, 育成療法, 更生医療, 精神通院医療, etc.

〔問題 31〕 ヒューマンエラー対策になるのはどれか。2つ選べ。

- a フールプルーフ
- b フェールセーフ
- c クリニカルパス
- d セカンドオピニオン

選択肢考察

答え a b

- a フールプルーフとは誤った操作や危険な使い方ができないような構造やシステムを設計段階で医療機器に組み込むことである。したがって、ヒューマンエラー対策になる。
- b フェールセーフとは医療機器を誤って操作した場合に緊急停止する安全制御システムのことである。したがって、ヒューマンエラー対策になる。
- ×c クリニカルパスは病院においては入院診療計画書と同義に用いられている。医療事故とは無関係である。
- ×d セカンドオピニオンは主治医以外の医療従事者の意見のことで、患者が自ら意思決定する際に参考にするために取得する情報である。医療事故とは無関係である。

ポイント

<ヒューマンエラーの原因>

- ・人的要因：知識不足、技術の未熟など
- ・環境要因：複雑な作業、人手不足など

〔問題 32〕 コミュニケーションにおけるラポールはどれか。1つ選べ。

- a 問題の本質の把握
- b 信頼し合う人間関係
- c ゼスチャーによる会話
- d 侵されたくない個人の空間

選択肢考察

答え b

- ×a 問題の本質の把握は重要であるが、ラポールではない。
- b 信頼し合う人間関係がラポールである。
- ×c ゼスチャーによる会話は言語を用いない表現である。ラポールとは異なる。
- ×d 侵されたくない個人の空間のことをパーソナルスペースという。ラポールとは異なる。

ポイント

<ラポール>

「信頼・親近感」を意味し、患者と医療従事者の2者間に信頼し合って感情の交流ができる関係が成立している状態のことである。

〔問題 33〕 マズローの欲求5段階説の図を別に示す。

①に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 安全の欲求
- b 承認の欲求
- c 自己実現の欲求
- d 所屬と愛情の欲求



選択肢考察

答え c

- ×a、×b、○c、×d ①は自己実現の欲求である。

ポイント

<マズローの欲求5段階説>

- ①自己実現の欲求
- ②承認の欲求
- ③所屬と愛情の欲求
- ④安全の欲求
- ⑤生理的欲求

〔問題 34〕 口腔機能向上サービスを担当する職種はどれか。

2つ選べ。

- a 介護福祉士
- b 言語聴覚士
- c 歯科衛生士
- d 歯科技工士

選択肢考察

答え b c

- ×a 介護福祉士は介護に加え、介護を必要とする者および介護者に対して介護に関する指導を行う。
- b、○c 言語聴覚士や歯科衛生士は口腔機能向上サービス（摂食機能療法の間接訓練など）を担当する。
- ×d 歯科技工士は補綴装置（歯冠補綴装置や義歯）の製作を行う。口腔機能向上サービスを担当しない。

ポイント

<口腔機能向上サービスを担当する専門職種>

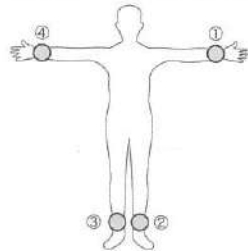
言語聴覚士、歯科衛生士、看護師などが担当する。

〔問題 35〕 全身の模式図を示す。

12誘導心電図で赤色の電極を設置する部位はどれか。

1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

答え d

- ×a ①に設置する電極の色は黄色である。
- ×b ②に設置する電極の色は緑色である。
- ×c ③に設置する電極の色は黒色である。
- d ④に設置する電極の色は赤色である。

ポイント

<12誘導心電図>

四肢誘導	手足に電極をつける。6つの波形を記録できる。
胸部誘導	胸に電極をつける。6つの波形を記録できる。

〔問題 36〕 ( ) に入る組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

摂食嚥下機能に対する反復唾液嚥下テストは、唾液嚥下を( ① )秒間繰り返させ、触診で( ② )が中指を乗り越えた回数を数える。回数が( ③ )回未満の場合に、嚥下機能が低下していると解釈する。

- |      |      |   |
|------|------|---|
| ①    | ②    | ③ |
| a 15 | 舌 骨  | 3 |
| b 15 | 喉頭隆起 | 2 |
| c 30 | 舌 骨  | 4 |
| d 30 | 喉頭隆起 | 3 |

選択肢考察

答え d

- ×a、×b、×c、○d 摂食嚥下機能に対する反復唾液嚥下テストは、唾液嚥下を30秒間繰り返させ、触診で喉頭隆起が中指を乗り越えた回数を数える。回数が3回未満の場合に、嚥下機能が低下していると解釈する。したがって、dが正しい。

ポイント

<反復唾液嚥下テスト>

- ・摂食嚥下機能のスクリーニング検査に用いる。
- ・随意的な嚥下反射の惹起を定量的に評価する。

〔問題 37〕 バイタルサインはどれか。2つ選べ。

- a 体温
- b 発汗
- c 脈拍
- d 立毛

選択肢考察

答え a c

- a 体温はバイタルサインの1つである。
- ×b 発汗はバイタルサインでない。
- c 脈拍はバイタルサインの1つである。
- ×d 立毛はバイタルサインでない。

ポイント

<バイタルサイン>

バイタルサインとは生命兆候ともいい、血圧や呼吸数、脈拍数、体温が基本となる。意識や尿量を含む場合もある。

〔問題 38〕 39歳の女性。上顎右側第一小臼歯の冷水痛を主訴として来院した。頬側歯頸部にコンポジットレジン修復が行われていた。診査の結果、修復物辺縁部を削除し、補修修復を行うことになった。ある器具を使用中の写真(別冊午前No.2)を別に示す。

この症例に同じ目的で使用できるのはどれか。1つ選べ。

- a 圧排コード
- b セパレーター
- c ウッドウェッジ
- d リング状リテーナー

別冊 午前 No.2 写真

選択肢考察

答え a



ガムリトラクターで頬側歯肉の排除を行っている

- a 頬側歯肉の排除には、圧排コードも使用できる。
- ×b セパレーターは歯間離開を目的として使用する。頬側歯肉の圧排には使用できない。
- ×c ウッドウェッジは歯間離開や歯間部歯肉の保護、排除を目的として使用する。頬側歯肉の圧排には使用できない。
- ×d リング状リテーナーは隔壁の固定に用いる。頬側歯肉の排除には使用できない。

ポイント

<一時的歯肉排除に用いる器材>

- ・圧排コード
- ・ガムリトラクター
- ・歯肉圧排用クランプ

〔問題 39〕 35歳の男性。下顎右側第一小臼歯の冷水痛を訴えて来院した。コンポジットレジンを用いた修復を行うことになった。装着時の操作内容を図に、製作した修復物の写真(別冊午前No.3)を別に示す。

- ① 光照射
- ② 咬合調整
- ③ 適合の確認
- ④ シランカップリング剤の塗布

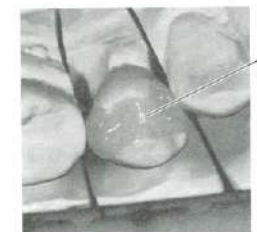
操作内容で3番目に行うのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.3 写真

選択肢考察

答え a



コンポジットレジンによるインレー(ハイブリッドセラミックインレー)

- a、×b、×c、×d ハイブリッドセラミック(レジン)インレーの装着手順としては、まずインレーの隣接面を調整後、適合を確認(③)する。次にインレー内面にシランカップリング剤を塗布(④)し、接着性レジンセメントで接着する。レジンセメントに光照射(①)してセメントを硬化させた後、咬合調整(②)を行う。したがって、3番目に行うのは①である。

ポイント

<ハイブリッドセラミック(レジン)インレーの接着>

- ・接着には接着性レジンセメントを用いる。
- ・接着前に強い咬合力を加えると破折するリスクがあるため、接着後に咬合調整を行う。

(問題 40) 上顎左側犬歯近心隣接面のう蝕に対して、レジン添加型ガラスイオノマーセメント修復を行うことになった。治療過程を図に示す。



- シェードガイドを用いる時期はどれか。1つ選べ。
- a ①
  - b ②
  - c ③
  - d ④

選択肢考察 答え a

○a、×b、×c、×d シェードガイドはシェードテイキングに用いる。ラバーダム防湿を行うと正確なシェードテイキングが困難となるため、ラバーダム装着前に行う。したがって、シェードガイドは①で用いる。

ポイント

- <シェードテイキング>
- ・シェードガイドを用いる。
  - ・シェードテイキングは歯面を湿潤させ、短時間で行うとよい。
  - ・歯面が乾燥していたり、ラバーダムを装着していると正確なシェードテイキングが困難となる。

(問題 41) 根管形成に使用する器具の写真(別冊午前No.4)を別に示す。

- この器具の特徴はどれか。1つ選べ。
- a 超弾性を有する。
  - b ISO規格に基づく。
  - c 破折リスクが少ない。
  - d エアターピンに装着して用いる。

別冊 午前 No.4 写真

選択肢考察 答え a



刃部の長さが一定ではなく、手指で把持する形態ではない

ニッケルチタンロータリーファイル

- a 写真の器具はニッケルチタンロータリーファイルであり、超弾性を有する。
- ×b ニッケルチタンロータリーファイルは刃部やテーパーが一定ではなく、ISO規格に基づいていない。
- ×c ニッケルチタンロータリーファイルはトルクを制御しないと破折するリスクが高い。
- ×d ニッケルチタンロータリーファイルは低速回転のマイクロモーターに装着して用いる。

ポイント

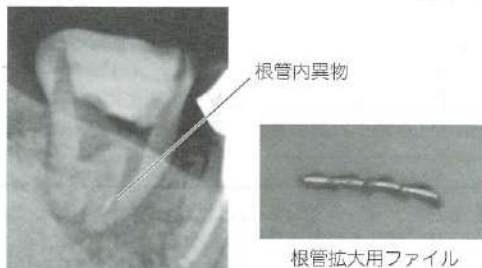
- <ニッケルチタンロータリーファイル>
- ・超弾性を有し、彎曲根管の根管形成に適している。
  - ・破折不いよう、トルクを制御した低速回転で使用する。
  - ・刃部に大きなテーパーが付与されており、ISO規格に基づいていない。

(問題 42) 39歳の女性。下顎右側第二大臼歯の咬合痛を主訴として来院した。診察の結果、感染根管治療および根管内の異物の除去が行われることになった。初診時のエックス線画像(別冊午前No.5A)と除去した異物の写真(別冊午前No.5B)を別に示す。

- 異物除去時に使用したと考えられるのはどれか。2つ選べ。
- a 有鉤探針
  - b スプレッター
  - c 超音波チップ
  - d マイクロスコープ

別冊 午前 No.5A,B 写真

選択肢考察 答え c d



- ×a 有鉤探針は天蓋の確認に用いる。
- ×b スプレッターは根管充填に用いる。
- c、○d 除去した異物は根管治療用のファイルである。マイクロスコープ下視野で超音波チップを用いて根管内の破折ファイル除去を行ったと考えられる。

ポイント

- <根管内破折器具の除去>
- 以前はマセランキットなどが用いられていたが、根管壁の切削量が多くなるため、近年ではマイクロスコープ下視野で超音波チップを用いて行うことが多い。

(問題 43) 逆根管充填に使用するのはどれか。2つ選べ。

- a MTAセメント
- b 水酸化カルシウム製剤
- c 強化型酸化亜鉛ユーージノールセメント
- d HY剤配合ポリカルボキシレートセメント

選択肢考察 答え a c

- a、○c 逆根管充填にはMTAセメントや強化型酸化亜鉛ユーージノールセメント(EBAセメント)が使用されている。
- ×b 水酸化カルシウム製剤は覆髄や根管粘薬などに用いられる。
- ×d HY剤配合ポリカルボキシレートセメントは暫間的間接覆髄に用いられる。

ポイント

- <逆根管充填>
- 根尖切除の際に、根管充填が不十分な場合に逆根管窩洞を形成して逆根管充填が行われる。逆根管窩洞の形成には以前はラウンドバーなどが用いられていたが、近年は超音波レットロチップが用いられている。

(問題 44) 70歳の男性。歯周治療終了から3か月後のSPTで来院した。歯周治療中に矢印で示す処置が行われていた。SPT来院時の口腔内写真(別冊午前No.6)を別に示す。

- 矢印で示す処置の目的はどれか。2つ選べ。
- a う蝕の予防
  - b 咬合力の分散
  - c 歯周組織の安静化
  - d 象牙質知覚過敏の軽減

別冊 午前 No.6 写真

選択肢考察 答え b c



矢印の処置はエナメルボンディングレジン固定である

- ×a う蝕の予防のために暫間固定をするとは考えられない。
- b、○c 矢印で示す処置は暫間固定である。咬合力を分散し、歯の動揺を抑えることで歯周組織の安静化を図っている。
- ×d 象牙質知覚過敏の軽減のために暫間固定をするとは考えられない。

ポイント

- <エナメルボンディングレジン固定>
- ・レジンの接着システムを用いた外側性固定であり、前歯部に多用される。
  - ・エナメル質のエッチング後、通常は粉液レジンで筆積み法で使用する。歯間部清掃性を低下させないように行う必要がある。

(問題 45) 51歳の女性。上顎左側第一小臼歯の咬合時違和感を主訴として来院した。歯周基本治療後の再評価の結果、新付着の獲得を目的として歯周外科治療を行うこととした。再評価時の口腔内写真(別冊午前No.7A)とエックス線画像(別冊午前No.7B)を別に示す。再評価時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

頬側*	7	2	2
歯種	24		
口蓋側*	5	4	2

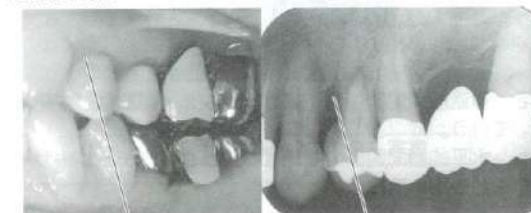
\*:ブローピングデプス(mm)

考えられる術式はどれか。1つ選べ。

- a 新付着術
- b 歯肉切除術
- c FGF-2の応用
- d 結合組織移植術

別冊 午前 No.7A,B 写真

選択肢考察 答え c



明らかな歯肉退縮はない 垂直性骨吸収

- ×a 新付着術は骨縁上ポケットに適用する。新付着の獲得を目的として名前がつけられたが、実際には長い上皮付着で治癒する。
- ×b 歯肉切除術は歯肉増殖症による歯肉ポケットや骨縁上ポケットに対して歯肉を切除してポケットを除去するものである。
- c FGF-2の応用は歯周組織再生療法の1つであり、垂直性骨吸収を伴う骨縁下ポケットに対して新付着の獲得を目的としたものである。
- ×d 結合組織移植術は歯周形成手術の1つであり、歯肉退縮などに適用する処置である。

ポイント

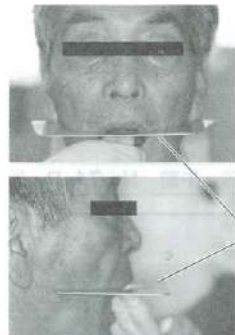
- <新付着>
- ・セメント質が再生され、新しい結合組織性付着が生じることを行う。
  - ・GTR法やエナメルマトリックスタンパク質(エムドゲインゲル)の応用、FGF-2(リグロス)の応用は歯周組織再生療法として新付着の獲得を目的としている。

**〔問題 46〕** 75歳の男性。上下顎全部床義歯を製作することにした。診療中の写真(別冊午前No.8)を別に示す。行っているのはどれか。1つ選べ。  
 a 垂直的顎間関係の記録  
 b 水平的顎間関係の記録  
 c 仮想咬合咬合平面の設定  
 d フェイスボウトランスファー

別冊 午前 No.8 写真

選択肢考察

答え c



咬合平面設定板

- × a 垂直的顎間関係の記録はデンタルノギスなどを用いて行う。
- × b 水平的顎間関係の記録はゴシックアーチトレーサーなどを用いて行う。
- c 仮想咬合咬合平面の設定は写真の咬合平面設定板やホットプレートなどを用いて行う。
- × d フェイスボウトランスファーはフェイスボウ(顔弓)を用いて行う。

**ポイント**

- <全部床義歯の仮想咬合平面の決定法>  
 ①カンペル平面(鼻聴道線)と平行にする→咬合平面設定板を用いる。  
 ②瞳孔間線と平行にする→咬合平面設定板を用いる。  
 ③上唇下縁の1mm下に設定する。  
 ④レトロモラーパッドの1/2の高さに設定する。  
 ⑤舌背の高さに設定する。  
 ⑥上下顎堤頂間の中点に設定する。

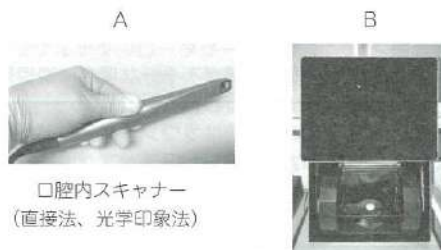
**〔問題 47〕** CAD/CAM法によるクラウン製作で用いる2種類の装置の写真(別冊午前No.9A、B)を別に示す。Bと比較したAを用いた製作法の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 印象材は不要である。
- b 歯型のトリミングを行う。
- c ブロックの切削加工を行う。
- d 対合歯のデータは不要である。

別冊 午前 No.9A、B 写真

選択肢考察

答え a



口腔内スキャナー(直接法、光学印象法)

模型用スキャナー(間接法)

- a Aの直接法では模型を製作しないので、印象材は不要である。
- × b 歯型のトリミングはBの間接法で行う。Aの直接法では模型を製作しないので、歯型のトリミングは行わない。
- × c ブロックの切削加工(CAM)はAの直接法でもBの間接法でも行う。
- × d 対合歯のデータはAの直接法でもBの間接法でも必要である。

**ポイント**

<CAD/CAM法によるクラウンの製作手順>

間接法	直接法(光学印象法)
①支台歯形成	①支台歯形成
②精密印象	↓
③作業用模型・歯型	↓
④模型のスキャン	②口腔内での支台歯のスキャン
⑤CAD:設計	③CAD:設計
⑥CAM:削り出し<ミリング>	④CAM:削り出し<ミリング>
⑦クラウン完成	⑤クラウン完成

**〔問題 48〕** 38歳の女性。上顎前歯部ブリッジを製作中である。補綴前処置中の口腔内写真(別冊午前No.10A、B、C)を別に示す。

- 製作予定のポンティック形態はどれか。1つ選べ。  
 a 鞍状型  
 b 離底型  
 c オペイト型  
 d リッジラップ型

別冊 午前 No.10A、B、C 写真

選択肢考察

答え c



- × a 写真は欠損部顎堤粘膜に外科的処置を行っているところである。鞍状型、有床型は可撤性ブリッジのみに用いられるポンティック形態で、補綴前処置として外科的処置は不要である。
- × b 離底型は下顎臼歯部だけに用いられるポンティック形態で、補綴前処置として外科的処置は不要である。
- c オペイト型は欠損部顎堤粘膜に電気メス(あるいはサージカルパー)で半球状の凹みを形成しておき、ここに一致させて半球状の滑らかな凸面に製作するポン

ティックである。審美性を極端に重視した形態であるが、清掃性に劣る。審美性を重視している为上顎前歯部に適したポンティック形態である。  
 × d リッジラップ型は固定性ブリッジのポンティック形態である。審美性、装着感に優れるが、清掃性がやや不良である。補綴前処置として外科的処置は不要である。

**ポイント**

<上顎前歯部に用いられるポンティック形態>  
 偏側型、リッジラップ型、オペイト型、鞍状型、有床型、有根型

**〔問題 49〕** 乳児の口蓋部にみられるのはどれか。1つ選べ。

- a フォーダイス斑
- b ベドナーアフタ
- c リガ・フェーデ病
- d シェーグレン症候群

選択肢考察

答え b

- × a フォーダイス斑は異所性の皮脂腺で、頬粘膜や口唇粘膜にみられる粟粒大の斑点で病的な意味はない。
- b ベドナーアフタは乳児の口蓋部に出現する異物擦過による潰瘍である。
- × c 先天歯(下顎乳中切歯)で舌小帯や舌下面を傷つけ、潰瘍を形成する。この舌下面の潰瘍をリガ・フェーデ病という。
- × d シェーグレン症候群とは、口腔乾燥(唾液分泌量の減少)、乾燥性角膜炎、関節リウマチを主症状とした疾患である。

**ポイント**

<ベドナーアフタ>  
 哺乳ピンの乳首などが原因で乳児の口蓋部に出現する潰瘍。

**〔問題 50〕** 28歳の女性。下顎左側第三大臼歯の強い自発痛を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前No.11)を別に示す。

- まず行うのはどれか。2つ選べ。  
 a Ⅷ抜歯  
 b 抗菌薬の投与  
 c 歯肉剥離掻爬術  
 d 消炎鎮痛薬の投与

別冊 午前 No.11 写真

選択肢考察

答え b d



- × a、× c 強い自発痛があるので、急性下顎智歯周囲炎と考えられる。智歯周囲炎は下顎に多く、萌出障害、部分萌出の場合に生じやすい。その理由は歯冠周囲に

ブランクが停滞しやすく、歯冠周囲の歯肉に急性炎症を引き起こすからである。この時期は治療力が低下しているため、抜歯や歯周外科などの外科処置は避けるべきである。  
 ○ b、○ d 急性炎症の場合、まずは抗菌薬と抗炎症薬(消炎鎮痛薬)を投与する。数日後、炎症が消退してから抜歯するのが一般的である。

**ポイント**

<急性炎症時の処置>  
 ①抗菌薬の投与  
 ②抗炎症薬(消炎鎮痛薬)の投与  
 ③切開排膿  
 \*原因歯の抜去は急性炎症時には禁忌である。

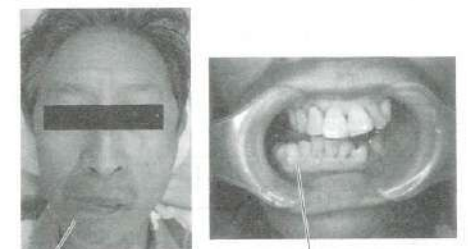
**〔問題 51〕** 59歳の男性。閉口不能を主訴として来院した。今朝あくびをした後に閉口できなくなったという。初診時の顔貌写真(別冊午前No.12A)と口腔内写真(別冊午前No.12B)を別に示す。

- まず行うべき対応はどれか。1つ選べ。  
 a 嚥下訓練  
 b 開口訓練  
 c 顎間固定  
 d 徒手整復

別冊 午前 No.12A、B 写真

選択肢考察

答え d



オトガイ部の右側偏位 下顎の右側偏位

- × a あくび後に閉口不能になり、顔貌および口腔内写真からオトガイ部の偏位がみられることから顎関節前方脱臼が疑われる。嚥下訓練は摂食・嚥下障害の治療法の1つである。
- × b 開口訓練は顎関節症と関節突起骨折の治療法の1つである。
- × c 顎間固定は顎骨骨折の治療法の1つである。
- d 顎関節前方脱臼が疑われるので、徒手整復を行う。Hippocrates法とBorchers法がある。

**ポイント**

<顎関節脱臼の治療法>  
 ①下顎臼歯部に母指を置き、下顎をしっかり把持して、下顎を前下方に押し下げて、やや後方に押す。  
 ・Hippocrates法:術者が患者の前に立つ  
 ・Borchers法:術者が患者の後ろに立つ  
 ②臼歯部にバイトブロックを介させオトガイ部を上方に押し上げる。

(問題 52) 血管迷走神経反射を起こした患者への対応で正しいのはどれか。2つ選べ。  
 a 衣服をゆるめる。  
 b アドレナリンを投与する。  
 c 吐いた息を再吸入させる。  
 d 身体を水平位にして下肢を高くする。

選択肢考察 答え a d

○ a、○ d 血管迷走神経反射に対する処置としては、身体を水平位にして下肢を高くし、衣服をゆるめる。やさしく話しかけて安心感を与え、深呼吸をすすめる。  
 × b 徐脈が著しい場合は歯科医師の判断でアトロピンを投与する。アドレナリンはアナフィラキシーショックの際に投与する。  
 × c 紙袋を口や鼻にあてて呼吸することで、吐いた息を再吸入させる方法(ペーパーバック法)は過呼吸(過換気症候群)の応急処置としてかつて行われていた。現在は酸素不足による窒息の危険性があるため行わない。

ポイント

<血管迷走神経反射の症状>  
 顔面蒼白、血圧低下、徐脈(脈拍数の減少)、呼吸数の減少、嘔気、悪心、冷感、意識消失、四肢の無力状態、チアノーゼなど。

(問題 53) 口腔内写真(別冊午前No.13)を別に示す。歯種と位置異常の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。  
 a 2] ——— 遠心捻転  
 b 2] ——— 移 転  
 c 3] ——— 唇側傾斜  
 d 3] ——— 唇側転位

別冊 午前 No.13 写真

選択肢考察 答え d



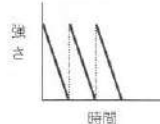
× a 2] は近心捻転している。  
 × b 2] は舌側傾斜しているが移転ではない。  
 × c 3] は捻転し唇側にやや転位しているが傾斜していない。  
 ○ d 3] は唇側転位している。

ポイント

<歯の位置異常>

転 位	歯列弓内の正常な位置から位置が変化した状態
移 転	著しく位置を変えた状態であり、隣在歯と位置が入れ替わった状態

(問題 54) 矯正力の強さと作用時間の関係を図に示す。この様式の矯正力を発揮するのはどれか。1つ選べ。  
 a ヘッドギア  
 b 急速拡大装置  
 c 舌側弧線装置  
 d アクチバートル



選択肢考察 答え b

× a、× d ヘッドギアやアクチバートルは間欠的な矯正力である。  
 ○ b 図をみると、作用する矯正力が短時間で0になることを繰り返しており、断続的な矯正力であると判断できる。急速拡大装置は断続的な矯正力である。  
 × c 舌側弧線装置は持続的な矯正力である。

ポイント

<矯正力の作用様式>

持続的	矯正力の減少が比較的緩やかで、力がある程度持続するもの
断続的	強い矯正力を発揮するが、作用距離が短く、わずかな歯の移動で矯正力が0になるもの
間欠的	一定時間だけ矯正力が作用するもの

(問題 55) ある矯正装置装着時の写真(別冊午前No.14)を別に示す。この装置の使用目的はどれか。1つ選べ。  
 a 保 定  
 b 下顎前歯の舌側傾斜  
 c 下顎頭部の成長抑制  
 d 下顎歯槽基底部の拡大

別冊 午前 No.14 写真

選択肢考察 答え c



× a 写真のチンキャップは保定には用いない。  
 × b 下顎前歯の舌側傾斜にチンキャップを用いるとは考えられない。  
 ○ c チンキャップは下顎頭部の軟骨性成長を抑制することで、下顎骨の前下方への成長を抑制する装置である。  
 × d 下顎歯槽基底部の拡大にチンキャップを用いるとは考えられない。

ポイント

<チンキャップ>  
 ・顎外固定装置の1つである。  
 ・可撤性の装置であり、間欠的な矯正力を用いる。  
 ・下顎骨に顎整形力を加えて、下顎骨の成長抑制をはかる。

(問題 56) 初診時の口腔内写真(別冊午前No.15)を別に示す。Hellman の歯齢はどれか。1つ選べ。  
 a II C  
 b III A  
 c III B  
 d III C

別冊 午前 No.15 写真

選択肢考察

答え c



上下顎の第一大臼歯および中切歯が萌出しており、上下顎とも犬歯の交換が生じている

× a II C は第一大臼歯および前歯萌出開始期(前歯の交換期)である。  
 × b III A は第一大臼歯萌出完了期(永久前歯の萌出中または完了)である。  
 ○ c III B は側方歯群交換期である。写真を見ると犬歯が交換しているため Hellman の歯齢 III B 期である。  
 × d III C は第二大臼歯萌出開始期である。

ポイント

<Hellman の歯齢>

I A	乳歯萌出前
I C	乳歯咬合完成前
II A	乳歯咬合完成期
II C	第一大臼歯および前歯萌出開始期(前歯の交換期)
III A	第一大臼歯萌出完了期(永久前歯の萌出中または完了)
III B	側方歯群交換期
III C	第二大臼歯萌出開始期
IV A	第二大臼歯萌出完了期
IV C	第三大臼歯萌出開始期
V A	第三大臼歯萌出完了期

(問題 57) 6歳の女児。定期検診のため来院した。1年前にう蝕が原因で下顎右側第二乳臼歯を抜去し、装置を装着した。来院時の口腔内写真(別冊午前No.16)を別に示す。この装置の目的はどれか。1つ選べ。  
 a 抜歯窩の保護  
 b 5] の発育抑制  
 c 6] の萌出促進  
 d 近遠心的空隙の保持

別冊 午前 No.16 写真

選択肢考察

答え d



クラウンディスタルシューのシューに沿って6]が萌出してきている

× a 抜歯窩の保護のためにクラウンディスタルシューを装着したとは考えられない。  
 × b、× c、○ d クラウンディスタルシューは 6] の近心傾斜を防止し、5] の萌出のための近遠心的空隙を保持することを目的としている。5] の発育抑制や 6] の萌出促進を目的とはしていない。

ポイント

<クラウンディスタルシュー>  
 第一大臼歯萌出前に第二乳臼歯が早期喪失した症例に対して、第一乳臼歯に装着する保隙装置である。第一大臼歯が萌出してきたらクラウンループに変更する。

(問題 58) 幼若永久歯の歯髄炎に対して生活断髄が行われた。期待するのはどれか。2つ選べ。  
 a 歯髄の失活  
 b 根尖病変の消失  
 c 歯根の生理学的成長  
 d デンティンブリッジの形成

選択肢考察 答え c d

× a 生活断髄は根部歯髄を保存する処置であり、歯髄の失活は期待しない。  
 × b 根尖病変は根尖性歯周炎でみられるものであり、感染根管治療で根尖病変の消失が期待できる。生活断髄で期待するものではない。  
 ○ c 幼若永久歯に対して生活断髄を行うと、歯根の生理学的成長が期待できる。  
 ○ d 生活断髄を行うと、断髄面にデンティンブリッジ(被蓋硬組織)の形成が期待できる。

ポイント

<幼若永久歯に対する生活断髄>  
 ・幼若永久歯は根未完成歯であり、根尖が太く開いている。  
 ・幼若永久歯に対して根部歯髄を保存する生活断髄を適用すると、正常な歯根の成長が生じる。これをアベキソゲネーシスという。

(問題 59) 加齢による胃食道逆流症でみられる歯の損耗(tooth wear)はどれか。1つ選べ。

- a う 蝕
- b 咬 耗
- c 酸 蝕
- d 摩 耗

選択肢考察 答え c

× a う蝕はプラーク中の酸が原因で生じるもので、歯の損耗(tooth wear)ではない。

- × b 咬耗は加齢でみられるが、胃食道逆流症が原因とはいえない。
- c 酸蝕は飲食物中の酸や胃酸などが原因となって生じる。したがって、加齢による胃食道逆流症でみられる歯の損耗 (tooth wear) である。
- × d 摩耗は加齢でみられるが、胃食道逆流症が原因とはいえない。

**ポイント**

<歯の損耗 (tooth wear) >  
う蝕以外の原因で生じる、歯の物理的・化学的損耗のことで、酸蝕、咬耗、摩耗が挙げられる。

**(問題 60)** フレイルの多面性を示す要素はどれか。2つ選べ。

- a 身体的
- b 抽象的
- c 利他的
- d 精神心理的

**選択肢考察**

**答え a d**

○ a、× b、× c、○ d フレイルの多面性を示す要素として、身体的や精神心理的、社会的の3つの側面があげられる。

**ポイント**

<フレイルの多面性を示す3要素>  
・身体的側面  
・社会的側面  
・精神心理的側面

**(問題 61)** 68歳の男性。摂食嚥下困難を主訴として来院した。6か月前から脳梗塞後の後遺症に対するリハビリテーションを受けているという。検査の結果、装置を用いて治療を行うことになった。装置装着時の口腔内写真 (別冊午前 No.17) を別に示す。

- この装置によって改善できるのはどれか。2つ選べ。
- a 口唇の閉鎖
  - b 食塊の形成
  - c 鼻咽腔の閉鎖
  - d 口蓋への舌の接触

別冊 午前 No.17 写真

**選択肢考察**

**答え b d**



舌接触補助床

- × a 口蓋に装着した装置で口唇の閉鎖の改善を図るとは考えられない。
- b、○ d 写真を見ると、口蓋部に口腔内装置が装着されている。脳梗塞の既往があり、舌の運動障害による摂食嚥下困難に対して舌接触補助床を適用したと考えられる。したがって、この装置で改善できるのは、口

蓋への舌の接触および食塊の形成である。

- × c 鼻咽腔の閉鎖は軟口蓋挙上装置で改善できる。写真の装置は軟口蓋まで延長されておらず、軟口蓋挙上装置ではない。

**ポイント**

<舌接触補助床>  
舌の運動障害がある症例に対し、摂食嚥下障害や構音障害などを改善するために製作する。

**(問題 62)** 自閉スペクトラム症児に対する対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 文字盤の使用
- b 正の強化の応用
- c TEACCH 法の利用
- d 反射抑制肢位の応用

**選択肢考察**

**答え b c**

- × a 文字盤の使用は言語障害のある患者とのコミュニケーションに用いる。
- b 自閉スペクトラム症患者には、正の強化の応用して適切な行動を定着させるとよい。
- c TEACCH 法は自閉スペクトラム症患者とのコミュニケーションに利用する。
- × d 反射抑制肢位は不随意運動がみられる脳性麻痺患者に応用する。

**ポイント**

<自閉スペクトラム症患者に対する視覚支援>  
・ PECS  
・ TEACCH 法

**(問題 63)** 歯肉縁下歯石の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 暗褐色である。
- b 除去が容易である。
- c 唾液腺開口部付近に付着する。
- d 形成には歯肉溝滲出液が関与する。

**選択肢考察**

**答え a d**

- a 歯肉縁下歯石は暗褐色である。
- × b 歯肉縁下歯石は歯面に硬く付着しており除去が困難である。
- × c 唾液腺開口部付近に付着するのは歯肉縁上歯石である。
- d 歯肉縁下歯石の形成には歯肉溝滲出液のカルシウムなどが関与する。

**ポイント**

<歯肉縁上歯石と歯肉縁下歯石>

歯肉縁上歯石	歯肉縁上プラークに唾液中のカルシウムなどが沈着して石灰化したもの
歯肉縁下歯石	歯肉縁下プラークに歯肉溝滲出液のカルシウムなどが沈着して石灰化したもの

**(問題 64)** 口腔内写真 (別冊午前 No.18) を別に示す。観察できるのはどれか。1つ選べ。

- a クレフト
- b 口呼吸線
- c エナメル真珠
- d ブラックトライアングル

別冊 午前 No.18 写真

**選択肢考察**

**答え d**



- × a クレフトは辺縁歯肉や付着歯肉にみられるV字型またはU字型の裂溝である。この画像では観察できない。
- × b 口呼吸線は口呼吸患者の前歯唇側歯肉にみられるが、この画像では観察できない。
- × c エナメル真珠は臼歯部の根分岐部病変に関連する。この画像では観察できない。
- d ブラックトライアングルは乳頭歯肉の退縮によって生じる。

**ポイント**

<歯肉の炎症でみられる主な所見>  
・ 歯肉の発赤・腫脹  
・ 歯肉からの出血・排膿  
・ ステッピングの減少・消失

**(問題 65)** プラークの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 洗口で除去できる。
- b 有機成分の約70%は微生物である。
- c フッ化物イオン濃度が唾液より低い。
- d 成熟するとグラム陰性菌の割合が増加する。

**選択肢考察**

**答え b d**

- × a プラークは粘着性があり非水溶性であるため洗口で除去できない。ブラッシングなどの機械的除去が必要である。
- b プラークの有機成分の約70%は微生物である。
- × c プラーク中のフッ化物イオン濃度が唾液よりはるかに高い。
- d プラークの成熟が進行すると、特に嫌気性グラム陰性菌の割合が増加してくる。

**ポイント**

<プラーク>  
・ プラークは付着する部位によって、歯肉縁上プラークと歯肉縁下プラークに分けられる。  
・ 歯肉縁上プラークはグラム陽性菌が主体であるが、清掃や環境などにより変動する。  
・ 歯肉縁下プラークはグラム陰性菌が主体となる。

**(問題 66)** 歯肉炎が悪化しやすいのはどれか。1つ選べ。

- a 肺炎
- b 妊娠
- c 胃潰瘍
- d 高血圧症

**選択肢考察**

**答え b**

- × a 肺炎により歯肉炎が悪化しやすくなることはない。なお、口腔清掃が悪いと誤嚥性肺炎を生じることがある。
- b 妊娠は歯肉炎を悪化させる。これを妊娠関連歯肉炎という。
- × c 胃潰瘍により歯肉炎が悪化しやすくなることはない。
- × d 高血圧症により歯肉炎が悪化しやすくなることはない。なお、降圧剤であるカルシウム拮抗薬の服用により歯肉増殖を生じることがある。

**ポイント**

<妊娠関連歯肉炎>  
妊娠による女性ホルモンの増加によって発育が促進される歯周病原細菌 (Prevotella intermedia) などが歯肉炎の悪化に影響を及ぼしている。また、妊娠時のつわりの影響によりブラークコントロールが不良になることで歯肉炎が悪化しやすい。

次の文を読み、(問題 67)、(問題 68) に答えよ。  
62歳の男性。下顎前歯の着色を主訴として来院した。現在高ナトリウム血症にて通院中である。口腔内写真 (別冊午前 No.19) を別に示す。

別冊 午前 No.19 写真

**(問題 67)** 着色の原因と考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 喫煙
- b 飲食物
- c ビリルビン
- d メラニン色素

**選択肢考察**

**答え a b**



外来性色素が沈着している

- a、○ b 長期間の喫煙や、紅茶やコーヒーの習慣的飲用などでは、写真にみられるような外来性色素沈着が生じやすい。
- × c ビリルビンは黄疸に関連し、皮膚や眼球結膜の黄染の原因となる。歯の着色の原因とはならない。
- × d メラニン色素は皮膚や歯肉の変色の原因となるが、歯の着色の原因とはならない。

(問題 68) 口腔衛生指導後に着色への対応を行うよう歯科医師から指示された。使用するのはどれか。2つ選べ。

- a 口腔洗浄器
- b 超音波スケーラー
- c ポリッシングブラシ
- d 重曹粉末噴射歯面清掃器

**選択肢考察** **答え bc**  
 × a 口腔洗浄器はポケット内の非付着性プラークの除去に用いられるが、歯の着色や歯石の除去には使用しない。  
 ○ b 超音波スケーラーは歯石や歯の着色の除去に用いられる。  
 ○ c ポリッシングブラシは歯の着色の除去に用いられる。  
 × d 重曹粉末噴射歯面清掃器は歯面清掃に用いるが、高ナトリウム血症の患者には使用すべきでない。

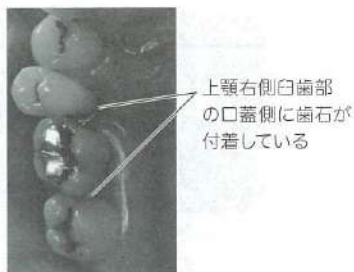
**ポイント**  
 <歯面清掃器>  
 ・重曹(炭酸水素ナトリウム、重炭酸ナトリウム)やグリシンなどのパウダーを用いる。  
 ・重曹はナトリウム摂取制限を必要とする患者には使用しない。  
 ・エアゾルが大量に飛散するため、感染予防に留意する。

(問題 69) 45歳の男性。歯周病の治療を希望して来院した。口腔清掃指導後、グレーシートタイプキュレットを用いて歯石除去を行うことになった。口腔内写真(別冊午前 No.20)を別に示す。写真で示す部位のスクレーピングに使用するのはどれか。1つ選べ。

- a # 7 # 11 # 14
- b # 7 # 12 # 13
- c # 8 # 11 # 14
- d # 8 # 12 # 13

別冊 午前 No.20 写真

**選択肢考察** **答え a**



○ a、× b、× c、× d 口腔内写真は上顎右側臼歯部の口蓋側である。同部のスクレーピングに用いるグレーシートタイプキュレットは#7、#11、#14である。#7は中央部、#11は近心部、#14は遠心部に用いる。

**ポイント**  
 <上顎臼歯部のスクレーピング>  
 ・上顎右側臼歯部の頰側および上顎左側臼歯部の口蓋側 # 8、# 12、# 13  
 ・上顎右側臼歯部の口蓋側および上顎左側臼歯部の頰側 # 7、# 11、# 14

(問題 70) 58歳の女性。下顎右側第一大臼歯の違和感を主訴として来院した。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌	アタッチメントレベル (mm)	8	6	7
側	PPD (mm)	6	④	5
	歯種	46		
頬	PPD (mm)	⑤	⑤	4
	アタッチメントレベル (mm)	7	6	6
動揺度*		2		
根分岐部病変**		2		

○印：プロービング時の出血  
 \*：Millerの分類  
 \*\*：Lindhe & Nymanの分類

正しいのはどれか。2つ選べ。  
 a 歯槽骨吸収が存在する。  
 b 歯肉退縮幅は1~2mmである。  
 c ファークেশョンプローブが貫通する。  
 d 頬舌方向へ0.2~1mm動揺がみられる。

**選択肢考察** **答え ab**  
 ○ a アタッチメントロスがみられ、根分岐部病変がLindhe & Nymanの分類で2度であるため、歯槽骨吸収が存在すると考えられる。  
 ○ b アタッチメントレベルからプロービングデプスを減じた値が歯肉退縮幅である。したがって、歯肉退縮幅は1~2mmであると判断できる。  
 × c Lindhe & Nymanの分類で2度であるため、ファークেশョンプローブは貫通しない。  
 × d 動揺度がMillerの分類2度であるため、頬舌方向へ1~2mm動くかと判断できる。

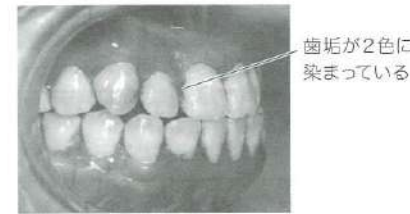
**ポイント**  
 <歯肉退縮幅>  
 ・セメントエナメル境から歯肉辺縁までの距離を歯肉退縮幅という。  
 ・口腔内でプローブを用いて直接計測できるが、アタッチメントレベルからプロービングデプスを減じることで算出できる。

(問題 71) 歯垢染色後の口腔内写真(別冊午前No.21)を別に示す。歯垢の染色性の違いに影響するのはどれか。1つ選べ。

- a 歯垢の pH
- b 歯肉出血量
- c 歯垢の成熟度
- d 唾液の緩衝能

別冊 午前 No.21 写真

**選択肢考察** **答え c**



× a、○ c 歯垢が赤と青紫に2色に染め分けられているが、これは新しい歯垢が赤く、古い歯垢が青紫に染め分けられている。これは歯垢の成熟度に関係しており、歯垢の pH が影響しているわけではない。なお、近年、歯垢の成熟度だけでなく、歯垢の pH も利用することで3色に染め分けるものも存在する。  
 × b、× d 歯肉出血量や唾液の緩衝能が歯垢の染色性の違いに影響するわけではない。

**ポイント**  
 <歯垢染色剤に用いられる色素の種類>

赤色系	フロキシシン、ローズベンガル、アシッドレッド
2色系	プリリアントブルー+フロキシシン

(問題 72) グレーシートタイプキュレットのシャープニングで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a スケーラーを改良執筆状で把持する。
- b インディアナストーンは形態修正に用いる。
- c セラミックストーンにはオイルを使用する。
- d 刃部のヒールからトゥに向かってまっすぐ研ぐ。

**選択肢考察** **答え bd**  
 × a シャープニングではスケーラーを掌握状で把持する。改良執筆状で把持するのはスクレーピング操作のときである。  
 ○ b インディアナストーンは粒子が粗く、形態修正に用いる。  
 × c セラミックストーンには潤滑剤として水を使用、あるいは潤滑剤不要である。オイルは使用しない。  
 ○ d グレーシートタイプキュレットのシャープニングでは刃部のヒールからトゥに向かってまっすぐ研ぐ。

**ポイント**  
 <砥石の種類>

種類	潤滑剤	きめの細かさ
インディアナストーン	オイル	粗め
アーカンサスストーン	オイル	細かい
セラミックストーン	水または不要	極めて細かい

(問題 73) 唾液中の細菌の酸産生能を評価するう蝕活動性試験はどれか。1つ選べ。

- a Swab test
- b Snyder test
- c Dreizen test
- d Hardley test

**選択肢考察** **答え b**  
 × a Swab test はプラーク中の酸産生菌の酸産生能を評価する。  
 ○ b Snyder test は唾液中の細菌(主に乳酸菌)の酸産生能を評価する。

× c Dreizen test は唾液を検体として唾液緩衝能を評価する。  
 × d Hardley test は唾液中の乳酸桿菌数を測定する。

**ポイント**  
 <う蝕活動性試験に用いる検体>  
 ・唾液やプラーク、エナメル質を検体とする。  
 ・簡便に行うことができるのは、唾液やプラークを用いるものである。

次の文を読み、(問題 74)、(問題 75)に答えよ。11歳の女児。定期健診のため来院した。診察の結果、上顎左側第一小臼歯に小窩裂溝填塞を行うことになった。ある操作中の口腔内写真(別冊午前 No.22)を別に示す。

別冊 午前 No.22 写真

(問題 74) 処置を適応した理由として考えられるのはどれか。1つ選べ。

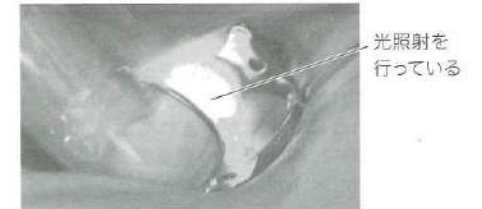
- a 盲孔
- b 歯冠破折
- c 中心結節
- d 隣接面う蝕

**選択肢考察** **答え c**  
 × a 盲孔は小窩裂溝填塞法の適応であるが、上顎前歯口蓋側にみられる。  
 × b 歯冠破折は小窩裂溝填塞法の適応ではない。  
 ○ c 中心結節は小臼歯咬合面にみられる。破折防止のため小窩裂溝填塞法を適用するとよい。  
 × d 隣接面う蝕は小窩裂溝填塞法の適応ではない。

(問題 75) この操作の直前に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 乾燥
- b 酸処理
- c 咬合の確認
- d 填塞材の填塞

**選択肢考察** **答え d**



× a 乾燥は歯面清掃や酸処理後の水洗に続いて行う。  
 × b 酸処理の直後に光照射は行わない。酸処理を行ったら、水洗・乾燥を行う。  
 × c 咬合の確認はラバーダム除去後に行う。  
 ○ d 写真の操作は填塞材を硬化させるための光照射であるので、直前に行う操作は填塞材の填塞である。

**ポイント**  
 <レジン系小窩裂溝填塞材を用いた小窩裂溝填塞法>  
 ①ラバーダム防湿  
 ②歯面清掃

- ③水洗・乾燥
- ④酸処理
- ⑤水洗・乾燥
- ⑥填塞材の填塞
- ⑦光照射
- ⑧填塞材の硬化確認
- ⑨防湿除去
- ⑩咬合の確認・調整

〔問題 76〕 歯面へのリン酸酸性フッ化ナトリウム溶液塗布時の対応で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 1週以内に再度塗布する。
- b 口にたまった唾液は吐き出させる。
- c 歯面が黒く着色することを伝える。
- d 塗布後 30 分間は飲食を控えさせる。

選択肢考察 答え b d

- × a リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液は通常、年1~2回塗布を行う。1週間に1~2回塗布するのは2%フッ化ナトリウム溶液である。
- b フッ化物歯面塗布後は口にたまった唾液は吐き出させる。
- × c 歯面が黒く着色することを伝えるのは、乳歯う蝕に対するフッ化ジアンミン銀塗布時の対応である。
- d フッ化物歯面塗布後 30 分間は飲食やうがいを選けるよう指導する。

ポイント

- <フッ化物歯面塗布>
- ・フッ化物の局所応用である。
  - ・う蝕に対するプロフェッショナルケアであり、特に萌出直後の歯や根面露出した歯などに対して有効である。

〔問題 77〕 2%フッ化ナトリウム溶液1mLに含まれているフッ素量はどれか。1つ選べ。

- a 0.9 mg
- b 1.8 mg
- c 9 mg
- d 18 mg

選択肢考察 答え c

- × a、× b、○ c、× d 2%フッ化ナトリウム溶液のフッ素濃度は9,000ppmである。9,000ppmとは1mL中に9mgのフッ素が含まれている(9mg/mL)ことであるので、求めるフッ素量をX mg とすると、 $X = 9 \text{ mg/mL} \times 1 \text{ mL} = 9 \text{ mg}$ となる。

ポイント

- <2%フッ化ナトリウム溶液>
- ・フッ化物歯面塗布に用いられる。
  - ・フッ素濃度は9,000ppmである。

〔問題 78〕 EBMについて正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 論文を批判的に吟味する。
- b 医療費の削減が目的である。
- c 患者の問題点を明確にする。
- d 動物実験の結果を根拠とする。

選択肢考察 答え a c

EBM (Evidence-based medicine) の日本語訳は「根拠に基づく医療」で、医療の意思決定において「科学的根拠 (エビデンス)」「医師の経験・知識」「患者の価値観」の3つの要素を総合的に考慮して治療方針を決定するアプローチである。

- a 論文などの収集した情報の批判的吟味は EBM の 3 つ目のステップである。
- × b EBM には医療費削減効果はあるが、本来の目的は患者中心の医療を提供することである。
- c 患者の問題点の明確化は EBM の 1 つ目のステップである。
- × d EBM の根拠はヒトを対象とした研究であり、動物実験の結果を根拠としない。

ポイント

- <EBM (根拠に基づいた医療) のステップ>
- ①問題点の明確化
  - ②根拠となる情報の収集
  - ③収集した情報の批判的吟味
  - ④個々の患者への適応
  - ⑤自己評価

〔問題 79〕 口腔清掃用具の写真 (別冊午前No.23) を別々に示す。

この用具を用いることで改善するのはどれか。2つ選べ。

- a 口臭
- b 黒毛舌
- c 地図状舌
- d アフタ性口内炎

別冊 午前 No.23 写真

選択肢考察 答え a b



舌ブラシ

- a 舌苔の付着は口臭の原因の1つのため、写真の舌ブラシや舌かきを用いて舌を清掃すると口臭が改善する。
- b 黒毛舌は、舌の表面の伸長した糸状乳頭に色素や細菌が付着することで黒く見える状態である。抗菌薬やステロイド薬の長期使用が原因と考えられている。写真の舌ブラシや舌かきを用いて舌を清掃すると黒毛舌が改善する。

- × c 地図状舌の原因は不明なため、舌を清掃しても改善しない。
- × d アフタ性口内炎と舌苔の関連性は認められていないため、舌を清掃しても改善しない。

ポイント

- <舌ブラシの主な効果>
- ・口臭予防：舌苔を除去することで、口臭を改善できる。
  - ・味覚の改善：舌の表面がきれいになると、味を感じやすくなる。
  - ・誤嚥性肺炎の予防：特に高齢者では、舌に付着している細菌が肺に侵入するリスクを減少させる。

〔問題 80〕 46歳の女性。定期歯科検診のため来院した。[3.4.5] に一過性の冷水痛があるという。歯ブラシと歯磨剤を使用して1日に3回ブラッシングを行っているという。ブラッシング後に染め出しを行った際の口腔内写真 (別冊午前No.24) を別に示す。

口腔清掃指導で特に注意するのはどれか。2つ選べ。

- a ブラッシング圧
- b 歯間清掃用具の併用
- c フッ化物洗口の実施
- d ジェット水流洗口器の使用

別冊 午前 No.24 写真

選択肢考察 答え a b



[3.4.5] にくさび状欠損がみられる

- a 口腔内写真で [3.4.5] にくさび状欠損を認められ、一過性の冷水痛があることから象牙質知覚過敏症と考えられる。過度のブラッシング圧はくさび状欠損の発症要因の1つなので注意が必要である。
- b 染め出しの状況より、歯間部プラークの残存が多いので、歯間ブラシやデンタルフロスなどの併用を指導する。
- × c う蝕リスクが高いとは考えにくいので、フッ化物洗口は必要ない。フッ化物洗口法は、4~14歳児までの期間に実施することがう蝕予防対策として最も大きな効果をもたらす。
- × d ジェット水流洗口器 (口腔洗浄器) は歯間部の食物残渣を除去できるが、プラークの除去能力は低い。

ポイント

- <くさび状欠損の発症要因>
- ・過度のブラッシング圧
  - ・歯磨剤の使用
  - ・咬合によるストレスの歯頸部への集中 (アブフラクション)

〔問題 81〕 87歳の男性。3年前にAlzheimer型認知症と診断された。1年前から独り暮らしをしている。日常生活には支障がなかったが、最近は薬を飲み忘れることが多く、電話応対もできなかったりすることがあり、日常生活に支障が出るようになった。

該当する認知症高齢者の日常生活自立度判定基準のランクはどれか。1つ選べ。

- a ランク II a
- b ランク II b
- c ランク III a
- d ランク M

選択肢考察 答え b

- × a ランク II a は、度々道に迷う、買物や事務、金銭管理など家庭外でこれまでできていたことにミスが目立つようになるが、サポートがあれば自立できる状態である。
- b ランク II b は、服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応など1人での留守番など家庭内でこれまでできていたことにミスが目立つようになるが、サポートがあれば自立できる状態である。薬を飲み忘れることが多く、電話応対もできなかったりすることからランク II b と判断できる。
- × c ランク III a は、日中を中心として着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、又は時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声、奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為などの症状がみられる状態である。
- × d ランク M は、せん妄、妄想、興奮、自傷・他害などの精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態あるいは著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体症状がみられ、専門医療を必要とする状態である。

ポイント

- <認知症高齢者の日常生活自立度判定基準>
- 認知症の症状、行動、意思疎通の困難さを踏まえた日常生活自立度の程度を示すものである。

【問題 82】 1 歳10か月の男児。市町村保健センターで実施している歯科健康診査のため保護者と訪れた。全身的な異常は認められない。質問票と歯科健康診査の結果の一部を示す。

質問項目	回答	備考
主な養育者	父母	その他
母乳の有無	与えていない	与えている
哺乳ビン	使用していない	使用している
よく飲むもの	牛乳	清涼飲料水
間食時刻	決めている	決めていない
歯の清掃	行う	行わない
視診項目		
歯垢付着状態	良好	不良

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

ブラッシング指導に加えて行うべき歯科保健指導はどれか。2つ選べ。  
 a 母乳を与えてもらう。  
 b 哺乳ビンの使用を中止させる。  
 c 週1回法のフッ化物洗口を勧める。  
 d 間食の時刻を決めるように指導する。

選択肢考察 答え b d

- x a 1 歳6 か月頃には離乳が完了しているのが望ましい。
- o b 1 歳10 か月で哺乳ビンを使用しているため、使用を中止させる必要がある。
- x c フッ化物洗口はブクブクうがいができる4~5 歳頃から開始する。
- o d 間食時刻を決めていないため、決めるように指導する。

ポイント

- <離乳の時期>
- ・離乳初期：生後5~6 か月
  - ・離乳中期：生後7~8 か月
  - ・離乳後期：生後9~11 か月
  - ・離乳完了期：生後12~18 か月

【問題 83】 29歳の妊娠20週の女性。ブラッシング時の出血を主訴として来院した。口腔清掃には歯ブラシのみを使用している。初診時の口腔内写真(別冊午前No.25)を別に示す。母子健康手帳に記録した内容を図に示す。

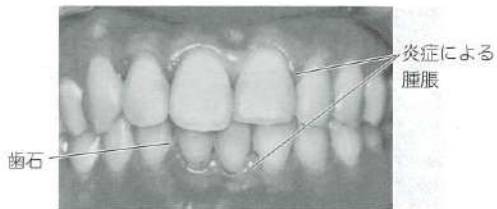
妊娠中と産後の歯の状態

初回診査 XX 年 X 月 XX 日	妊娠 20 週
要治療のむし歯 なし	歯石 なし(本)
歯肉の炎症 なし(要治療)	歯肉の炎症 あり(要治療)
特記事項 偏食傾向	
施設名は担当医名	〇〇歯科医院

妊産婦への指導内容で適切なものはどれか。2つ選べ。  
 a 「前歯を硬い歯ブラシで磨きましょう」  
 b 「デンタルフロスの使用法を練習しましょう」  
 c 「バランスの良い食事をとるようにしましょう」  
 d 「母体への影響を考慮して、歯石除去は出産後に行いましょう」

別冊 午前 No.25 写真

選択肢考察 答え b c



- x a 口腔内写真で上下顎前歯部に歯肉炎がみられる。また、母子健康手帳の記録で「歯肉の炎症」の欄が「あり(要治療)」とあるので、ブラッシング指導を行うが、硬い歯ブラシの使用は適切ではない。
- o b 歯間部の清掃にデンタルフロスの使用を指導するのは適切である。
- o c 母子健康手帳の記録で「特記事項」の欄が「偏食傾向」とあるので、バランスの良い食事をとるよう指導するのは適切である。
- x d 母子健康手帳の記録で「歯肉の炎症」の欄が「あり(要治療)」とあるので、歯石除去を行う。妊娠20週は安定期なので、歯石除去は可能であり、出産後まで放置するのは適切ではない。

ポイント

<妊婦への歯科保健指導>

初期(妊娠15週まで)	バランスのとれた食事(カルシウム、リン、ビタミン類を摂取する)つわりによる酸蝕症予防に気をつける
中期(妊娠16~28週)	安定期なので、この時期に歯科治療を行う
後期(妊娠29週以降)	乳児期の口腔内状況を理解してもらう

【問題 84】 健康日本21(第三次)でたばこ対策として取り組んでいる目標はどれか。1つ選べ。  
 a たばこ製品販売量の減少  
 b 育児中の母親の喫煙の減少  
 c 20 歳未満の者の喫煙をなくす  
 d 喫煙が及ぼす社会的影響についての知識の普及

選択肢考察 答え c

- x a たばこ製品販売量の減少は目標に挙げられていない。
- x b 育児中ではなく、妊娠中の母親の喫煙をなくすことは目標の1つである。
- o c 20 歳未満の者の喫煙をなくすことは目標の1つである。
- x d 喫煙が及ぼす社会的影響についての知識の普及は目標に挙げられていない。

ポイント

<健康日本21(第三次)における喫煙に関する目標>  
 ①20 歳以上の喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる)  
 ②20 歳未満の喫煙をなくす  
 ③妊娠中の喫煙をなくす

【問題 85】 88歳の女性。屋内での生活に何らかの介助が必要な状況で、歯科訪問診療の依頼を受けた。食後、ブラッシングのため、介助なしで洗面台に向かっている写真(別冊午前No.26)を別に示す。障害高齢者の日常生活自立度の判定基準のランクはどれか。1つ選べ。

- a J-2
- b A-1
- c B-1
- d C-1

別冊 午前 No.26 写真

選択肢考察



介助なしで洗面台に向かっている

- x a ランク J-2 は、何らかの障害はあるが、日常生活はほぼ自立しており、独りで隣近所へなら外出できる状態である。
- x b ランク A-1 は、屋内での生活は概ね自立しており、介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活している状態である。
- o c ランク B は、屋内での生活に何らかの介助が必要な状況で、日中もベッドでの生活が主体であるが、座位を保つことができる状態である。ランク B-1 は、車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行っている状態である。写真では介助なしで車いすに移乗

答え c

し洗面台に向かっているため、ランク B-1 と考えられる。  
 x d ランク C-1 は、一日中ベッドで過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要し、自力で寝返りを打つことができる状態である。

ポイント

<障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)の判定基準>

生活自立	ランク	判定基準
生活自立	ランク J	何らかの障害があるが、日常生活はほぼ自立できる。独りで外出できる。 1 交通機関などを利用して外出する。 2 隣近所へなら外出する。
半寝たきり	ランク A	屋内での生活はほぼ自立している。介助なしには外出できない。 1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。 2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助がある。日中もベッドでの生活が主体だが、座位を保つ。 1 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行く。 2 介助により車いすに移乗する。
寝たきり	ランク C	一日中ベッドで過ごす。 1 排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。 2 自力では寝返りも出来ない。

【問題 86】 令和4年国民生活基礎調査の結果を表に示す。<介護が必要となった主な原因の構成割合>

順位	原因	構成割合
第1位	認知症	16.6%
第2位	脳血管疾患(脳卒中)	16.1%
第3位	①	13.9%
第4位	高齢による衰弱	13.2%
第5位	関節疾患	10.2%

①に該当するのはどれか。1つ選べ。

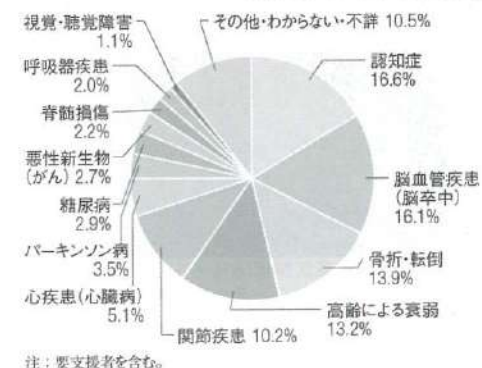
- a 骨折・転倒
- b パーキンソン病
- c 心疾患(心臓病)
- d 悪性新生物(がん)

選択肢考察

- o a ①には第3位の骨折・転倒(13.9%)が該当する。
- x b パーキンソン病は第7位(3.5%)である。
- x c 心疾患(心臓病)は第6位(3.5%)である。
- x d 悪性新生物(がん)は第9位(2.7%)である。

ポイント

<介護が必要となった主な原因の構成割合>  
 (令和4年国民生活基礎調査)



注：要支援者を含む。

(問題 87) 学童期における食生活の対応で最も適切なのはどれか。1つ選べ。  
 a 朝食の摂取を勧める。  
 b 固い食品の摂取を避けるよう勧める。  
 c やせ傾向の児童に高カロリー補助食を勧める。  
 d 偏食がある児童にサプリメントの摂取を勧める。

選択肢考察 答え a

- a 食育基本法に基づいた「第4次食育推進基本計画」(2021年3月)では、2025年度までに子どもの朝食欠食率を0%にすることを目標としている。朝食の摂取を勧めるのは適切である。
- × b 固い食品の摂取は顎骨や歯の発育を促進させる。また、咀嚼回数が増加することで唾液分泌量が多くなり、う蝕予防にも有効である。
- × c 成長・発達に必要なのは熱量(カロリー)だけではないので、安易に高カロリー補助食を勧めるのではなく、健康状態の評価や食生活の見直しが重要である。
- × d 偏食がある児童に対しては、サプリメントに頼るよりも、バランスのとれた食事をとるが重要である。

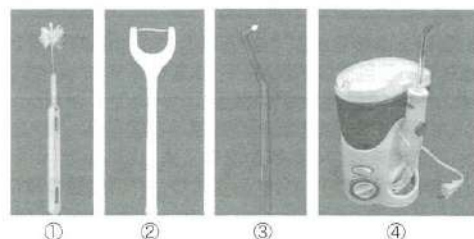
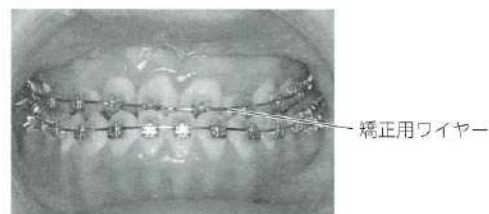
**ポイント**

- <学童期の食生活上の問題>
- ・カルシウム・鉄分の不足：骨の成長や貧血予防に必要な栄養素が不足している。
  - ・エネルギー・たんぱく質の摂取不足：活発な活動や成長に必要な量に達していない児童が多い。
  - ・野菜・果物の摂取不足：好き嫌いや調理の手間から摂取量が少なくなる傾向にある。
  - ・朝食の欠食：集中力や学力、体力の低下につながる傾向がある。
  - ・夕食時間が不規則：塾や習い事で帰宅が遅くなり、夕食が不規則になる傾向がある。
  - ・偏食傾向：外食やコンビニ食に頼ることで、脂質や糖質に偏った食事になりやすい。

(問題 88) 19歳の女性。反対咬合を主訴として来院した。術前矯正治療後に顎矯正手術を行うこととした。術前矯正中の口腔内写真(別冊午前No.27A)と口腔清掃用具の写真(別冊午前No.27B)を別に示す。口腔衛生管理に用いるのはどれか。2つ選べ。  
 a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.27A,B 写真

選択肢考察 答え c d



- × a ①は球面ブラシである。舌や頬粘膜の口腔粘膜の清掃に適している。
- × b ②はホルダー付きフロスである。歯間部の清掃に適するが、矯正用ワイヤーが装着されているため、適切ではない。
- c ③はタフトブラシである。矯正用ワイヤーが装着されているため、ワイヤー周辺の歯垢はタフトブラシを用いて清掃するのが適切である。
- d ④は口腔洗浄器である。ワイヤー周辺の食物残渣は水流を用いた口腔洗浄器を用いて清掃するのが適切である。

**ポイント**

- <口腔洗浄器>
- ・歯ブラシが届かない歯間部や歯周ポケット内のプラークを強力な水流を用いて洗浄することができる。
  - ・歯面に付着したプラーク(バイオフィルム)は除去できない。
  - ・食物残渣は除去できる。

(問題 89) 日本人の食事摂取基準(2025年版)で摂取量の減少をめざしているのはどれか。1つ選べ。  
 a カリウム  
 b 食物繊維  
 c カルシウム  
 d ナトリウム

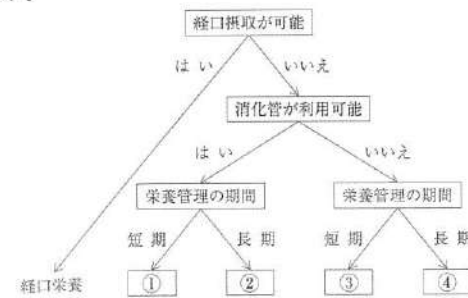
選択肢考察 答え d

- × a、× b、× c 日本人の食事摂取基準(2025年版)において、カリウム、食物繊維、カルシウムは摂取量の減少をめざしていない。
- d 日本人の食事摂取基準(2025年版)において、ナトリウムの目標量は、食塩相当量で18歳以上の男性：7.5g未満/日、女性：6.5g未満/日と設定されており、摂取量の減少をめざしている。

**ポイント**

- <ナトリウム>
- ・ナトリウムは高血圧・胃癌などとの関連が指摘されており、摂取量を減少させることをめざしている。

(問題 90) 栄養投与経路を選択する際のフローチャートを示す。



経口栄養はどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え a

- a ①は経鼻経管栄養である。
- × b ②は胃・腸瘻栄養である。
- × c ③は末梢静脈栄養である。
- × d ④は中心静脈栄養である。

**ポイント**

- <経鼻経管栄養>
- ・侵襲が少ない。
  - ・鼻腔からの胃への栄養路を確保する。
  - ・嚥下機能を阻害する。
  - ・消化管粘膜の萎縮を予防できる。
  - ・チューブ交換は4~6週間ごとである。
  - ・胃瘻よりも容易にチューブを留置できる。
  - ・水分と栄養を投与するときだけでなく、持続的にチューブを留置することが多い。
  - ・間歇的経管栄養に利用できる。

(問題 91) 81歳の女性。感音性難聴である。話しかける際の配慮で適切なのはどれか。2つ選べ。  
 a 高い声で話す。  
 b 一問一答で会話をする。  
 c 静かな場所で説明する。  
 d 耳元で大きな声で話す。

選択肢考察 答え b c

- × a 感音性難聴では低音域の聴力は比較的保たれるが、高音域の聴力は低下しているため、高い声で話すのは適切でない。
- b 聴覚情報の中枢処理の遅延が考えられる。そのため、医療面接を一問一答で行うのは適切である。
- c 周囲の診療器具の騒音は想像以上に障害となるので、静かな場所で説明する。
- × d 感音性難聴ではなく、伝音性難聴の患者には、耳元で大きな声で話すことは効果的である。

**ポイント**

- <加齢による聴覚機能の低下(難聴)>
- |       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 伝音性難聴 | 外耳および中耳の機能低下による難聴。          |
| 感音性難聴 | 内耳から聴神経の機能低下による難聴。老人性難聴のこと。 |

(問題 92) 消毒薬の適応を表に示す。

	消毒の対象			
	金属製器具	非金属製器具	手指	粘膜
①	○	○	×	×
②	×	○	△	×
③	×	×	○	○
④	○	○	○	×

○：有効、×：無効、△：注意が必要  
 グルタルアルデヒドはどれか。1つ選べ。  
 a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え a

- a ①はグルタルアルデヒドである。
- × b ②は次亜塩素酸ナトリウムである。
- × c ③はポビドンヨードである。
- × d ④はクロルヘキシジングルコン酸塩あるいは消毒用エタノールである。

**ポイント**

<消毒薬の適応>

消毒薬	使用濃度	消毒の対象			
		金属製器具	非金属製器具	手指・皮膚	粘膜
グルタルアルデヒド	1~2%	○	○	×	×
次亜塩素酸ナトリウム	0.02~0.05%	×	○	△	×
消毒用エタノール	70%	○	○	○	×
ポビドンヨード	0.25~0.5%	×	×	○	○
ベンザルコニウム塩化物	1~2%	○	○	○	○
クロルヘキシジングルコン酸塩	0.05~0.5%	○	○	○	×

○：有効、×：無効、△：注意が必要

(問題 93) 上顎の印象体の写真(別冊午前No.28)を別に示す。この印象材で正しいのはどれか。2つ選べ。  
 a 非弾性印象材である。  
 b 印象体は水中で保管する。  
 c 放置すると難液を生じる。  
 d ハイドロコロイド系印象材である。

別冊 午前 No.28 写真

選択肢考察 答え c d



アルジネート印象材

- × a 写真はアルジネート印象材である。アルジネート印象材は弾性印象材である。
- × b 印象体は相対湿度100%環境下にて保管するか、濡らしたティッシュペーパーなどで包んでおく。
- c 放置すると乾燥や難液のため変形する。

○d 寒天印象材と同じく、ハイドロコロイド系印象材の1つである。

**ポイント**

＜アルジネート印象採得＞

粉末はアルギン酸ナトリウムで、20℃前後の水とで練和する。

**【問題 94】** 歯科用ワックスの写真（別冊午前No.29）を別に示す。

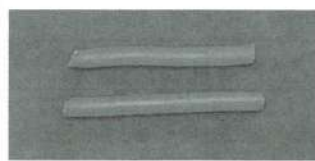
この用途はどれか。2つ選べ。

- a 咬合採得
- b ろう堤の作製
- c 印象用トレーの修正
- d 印象採得時のブロックアウト

別冊 午前 No.29 写真

**選択肢考察**

答え c d



ユーティリティーワックス

× a、× b パラフィンワックスは、咬合堤（ろう堤＋基礎床）の作製、咬合採得、人工歯排列時などに使用する。

○ c、○ d ユーティリティーワックスはトレーの辺縁修正、印象採得時のアンダーカット部（鼓形空隙やポンティック基底面など）のブロックアウト、模型を製作するためのボクシングなどに使用する。

**ポイント**

＜歯科用ワックスの種類と用途＞

種類	用途
①パラフィンワックス	義歯床の仮床、咬合堤、咬合採得、ろう義歯
②ユーティリティーワックス	トレーの修正、ボクシング、ブロックアウトなど
③バイトワックス	咬合採得
④インレーワックス	鑄造修復物（インレー、クラウンなど）の原型
⑤シートワックス	義歯製作時のリリース、鑄造床、連結装置の原型
⑥スティッキーワックス	技工室での仮着
⑦ボクシングワックス	石膏模型作製のボクシング
⑧レディキャストイングワックス	鑄造クラスプ、バーの原型、スプルー
⑨印象用ワックス	義歯作製の印象採得、咬合採得

**【問題 95】** 器具の写真（別冊午前No.30）を別に示す。コンポジットレジン（研磨）で準備するのはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.30 写真

**選択肢考察**

答え c d



① ② ③ ④

× a ①はスチール製ラウンドバーで、軟化象牙質の除去、髄腔穿孔に用いる。

× b ②は金属除去用のカーバイドバーで、クラウンの除去など金属の切削に用いる。

○ c ③はホワイトポイントで、コンポジットレジンの研磨に用いる。

○ d ④はペーパーディスクで、コンポジットレジンの研磨に用いる。

**ポイント**

＜コンポジットレジン修復後の研磨で準備する器具＞

- ①ホワイトポイント
- ②ファインカットダイヤモンドバー
- ③シリコンポイント
- ④シリコンカップ
- ⑤ラバーカップ
- ⑥隣接面研磨用ストリップス
- ⑦ペーパーディスク

**【問題 96】** 根管充填に使用する器具の写真（別冊午前No.31）を別に示す。

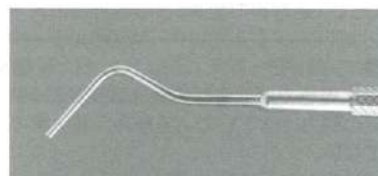
用途で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 根管長を測定する。
- b 根管充填材を垂直に加圧する。
- c 根管充填材を側方に加圧する。
- d 根管内にシーラーを送り込む。

別冊 午前 No.31 写真

**選択肢考察**

答え b



プラグー

× a 根管長を測定するために使用するのはエンドゲージ、リーマー、根管長測定器などである。

○ b 写真はプラグーである。垂直加圧根管充填のために使用する。

× c 側方加圧根管充填のために使用するのはスプレッダーである。

× d シーラーを根管内に送り込むために使用するのはレンツ口である。

**ポイント**

＜根管充填に必要な器具・器材＞

- ①プラグー → 垂直加圧充填時に用いる
- ②スプレッダー → 側方加圧充填時に用いる
- ③レンツ口
- ④ガッターチャポイント（マスターポイントとアクセサリーポイント）
- ⑤エンドメジャー
- ⑥根管充填用ピンセット
- ⑦シーラー
- ⑧ハサミ

**【問題 97】** 歯周外科治療に用いる器材の写真（別冊午前No.32）を別に示す。

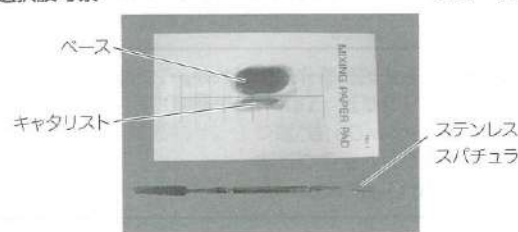
患者指導で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 粘着性食品を控えてもらう。
- b 脱落したら自分でつけてもらう。
- c 咬合面はブラッシングを行ってもらおう。
- d 装着時間の目安は1か月であると説明する。

別冊 午前 No.32 写真

**選択肢考察**

答え a c



○ a 写真は歯周パックのベースとキャタリストである。粘着性食品を摂取すると歯周パックが脱落する危険性があるので、粘着性食品を控えてもらう。

× b 創面の保護や止血を目的にしているので、脱落時には来院してもらう。

○ c 装着部分以外（手術部位以外の歯や手術部位の歯の咬合面など）はブラッシングを行ってもらおう。

× d 装着時間の目安は1週間程度である。

**ポイント**

＜歯周パック（歯周包帯）＞

- ①創面の保護や止血を目的とする。
- ②パックを行った歯の咬合面はブラッシングを行う。
- ③パックが脱落した時には来院させる。
- ④装着時間の目安は約1週間である。
- ⑤粘着性食品を控えてもらう。

**【問題 98】** プロビジョナルレストレーション製作中の写真（別冊午前No.33）を別に示す。

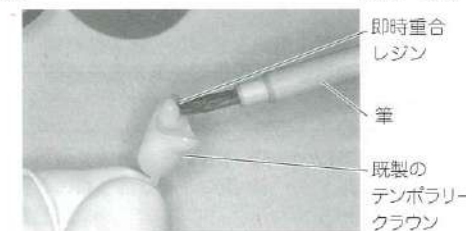
この後に使用するものはどれか。2つ選べ。

- a ワックス
- b スタンプバー
- c 接着性レジンセメント
- d 温湯を入れたラバーボール

別冊 午前 No.33 写真

**選択肢考察**

答え b d



× a 写真は既製のテンポリークラウン内に即時重合レジン（筆）を筆積みで盛っているところである。ワックスは使用しない。

○ b 余剰の即時重合レジン（筆）を技工用カーバイドバー（スタンプバー）で削る。

× c プロビジョナルレストレーションは仮着するもので、接着はしない。

○ d 即時重合レジン（筆）の重合促進のために温湯を入れたラバーボールに浸漬する。

**ポイント**

＜プロビジョナルレストレーション製作時に準備するもの＞

- ①既製暫間被覆冠
- ②即時重合レジン（粉末、モノマー液）
- ③ラバーカップ、筆
- ④技工用カーバイドバー（スタンプバー）
- ⑤咬合紙、咬合紙ホルダー
- ⑥エクスプローラー（探針）
- ⑦温湯を入れたラバーボール
- ⑧カーボランダムポイント
- ⑨研磨用バー（ペーパーポイント、ビッグシリコンなど）

**【問題 99】** 28歳の男性。下顎左側智歯周囲炎による疼痛を主訴として来院した。診査の結果、下顎左側智歯を抜歯することになった。初診時のパノラマエックス線画像（別冊午前No.34）を別に示す。

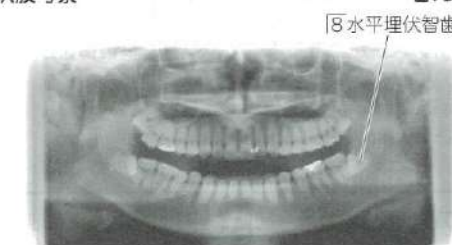
抜歯の際に必要なものはどれか。2つ選べ。

- a ゾンデ
- b マレット
- c カーランドメス
- d マイクロモーターハンドピース

別冊 午前 No.34 写真

**選択肢考察**

答え b d



× a ゾンデは切開、排膿の際に準備する器具である。  
○ b、○ d パノラマエックス線画像より下顎左側水平埋伏智歯が存在することがわかる。下顎水平埋伏智歯は歯冠が埋伏しているため歯肉を切開、剥離する。次にマイクロモーターハンドピース、マレット、マイセルなどを用いて歯冠を分割して、抜歯することになる。

× c 歯周外科治療の1つである歯肉切除術の際に用いる。

**ポイント**

<下顎水平埋状智歯の抜歯に使用する器具>

- ①歯肉メス
- ②骨膜剥離子、骨膜起子
- ③挺子（エレベーター）
- ④マイセル
- ⑤マレット
- ⑥破骨鉗子
- ⑦骨バー
- ⑧エアタービン・マイクロモーターハンドピース（歯の分割用バーなど）
- ⑨縫合用器具一式など

〔問題100〕 器具の写真（別冊午前No.35）を別に示す。

この器具について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 吸引テストができる。
- b 伝達麻酔を行う際に用いる。
- c 長さ12mmの注射針を使用する。
- d 30G（ゲージ）の注射針を使用する。

別冊 午前 No.35 写真

**選択肢考察**

答え a b



伝達麻酔用の注射筒

- a、○ b 写真は伝達麻酔用の注射筒である。薬液の血管内注入を予防するため、薬液注入前の吸引操作ができるようにハンドル（親指をかける部分）はリング状になっている。
- × c 伝達麻酔には長さ30mmの注射針を使用する。
- × d 注射針は伝達麻酔用に25G、27G、浸潤麻酔用に30G、31G、33Gを使用する。

**ポイント**

<伝達麻酔用の注射筒>

- ・プランジャー（内筒）の先端はらせん状またはモリ状である。
- ・吸引テストができるようにハンドル（親指をかける部分）はリング状になっている。
- ・25G、27G（ゲージ）の注射針を用いる。
- ・長さ30mmの注射針を使用する。

〔問題101〕 器具の写真（別冊午前No.36）を別に示す。

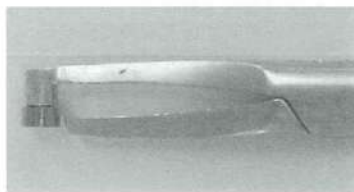
この使用目的はどれか。1つ選べ。

- a 結紮線の結紮
- b ブラケットの撤去
- c 矯正用バンドの撤去
- d アーチワイヤー末端の切断

別冊 午前 No.36 写真

**選択肢考察**

答え c



バンドリムービングプライヤー（帯環撤去鉗子）

- × a 結紮線でアーチワイヤーをブラケットに結紮するときには、リガチャータイピングプライヤーを用いる。
- × b ブラケットリムービングプライヤーの使用目的である。
- c 写真はバンドリムービングプライヤー（帯環撤去鉗子）である。バンド（帯環）を撤去するのに使用する。プライヤーの先端の一方は、歯の咬合面あるいは切端に当てるために平坦になっており、他方はバンドの歯頸部側辺縁に当てるために鋭利になっている。
- × d ディスタルエンドカッターの使用目的である。

**ポイント**

<バンドリムービングプライヤー（帯環撤去鉗子）>  
バンド（帯環）を除去するのに使用する。

〔問題102〕 系統的脱感作法はどれか。1つ選べ。

- a モデリング法
- b Tell Show Do法
- c オペラント条件づけ法
- d Hand Over Mouth法

**選択肢考察**

答え b

- × a モデリング法とは、模範的に行動変容しているモデルを観察させ、同じように行動させようとする方法である。
- b Tell Show Do法とは歯科治療に際し、器具を見せ、説明し、やってみせる方法により系統的に歯科治療に対する恐怖心を緩和させる方法である。不安および恐怖の反応を克服させようとする系統的脱感作法の1つである。
- × c オペラント条件づけ法とは、正の強化因子（小児への賞賛、シールなどをあげる）と負の強化因子（叱責、身体の抑制など）を併用し、歯科治療の恐怖を乗り越えさせる方法である。適応行動は褒め、望ましくない行動は叱る。
- × d Hand Over Mouth法は、号泣する小児の口を手で覆い、術者の指示を守ったら、手で口を覆うのを中止しながらコントロールする方法である。4歳前後の非協力児に適用される。

**ポイント**

<系統的脱感作法>  
Tell Show Do法、シェイピング法など。

〔問題103〕 フレイルの原因はどれか。1つ選べ。

- a アカシジア
- b アカラシア
- c ジストニア
- d サルコペニア

**選択肢考察**

答え d

- × a アカシジアは中脳のドーパミン遮断作用が原因と考えられている静座不能の状態である。
- × b アカラシアは下部食道括約筋の機能が障害された状態である。
- × c ジストニアは大脳基底核や神経系の障害によって筋が収縮したり固くなったりする状態である。
- d サルコペニアは加齢により生じる骨格筋の量、質、筋力の低下がみられる状態で、フレイルの原因の1つと考えられる。

**ポイント**

<フレイル>  
加齢とともに、心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱化が出現した状態であるが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像。

〔問題104〕 写真（別冊午前No.37）を別に示す。

この撮影法はどれか。1つ選べ。

- a 咬合法
- b 咬翼法
- c 平行法
- d 二等分法

別冊 午前 No.37 写真

**選択肢考察**

答え b



咬翼法

- × a 咬合法は唾石、埋伏歯、嚢胞などの位置確認に用いられる。鼻翼・耳珠線を水平にして、上顎では主線を下向きに80°で、下顎では上向きに50°の方向に入れる。咬合法用フィルムは用いるが、写真の器材は用いない。
- b 咬翼法は隣接面う蝕や辺縁性歯周炎の診断に用いられる。デンタルフィルムに咬翼をつけて撮影する。
- × c 平行法は頬骨と目的歯が重ならず、歯の形態、歯頸部、歯根部の診査、歯周部、歯槽骨病変の有無が観察できる。歯軸とフィルム面を平行に保ち、両者に対してエックス線を垂直に照射するために、専用のホルダーを用いると撮影が容易になる。
- × d 二等分法は等長法ともよばれ、根管長の確認ができる。根尖病変の有無も観察できる。フィルムと歯軸がなす角の二等分線に対してエックス線を垂直に照射する。写真の器材は用いない。

**ポイント**

<咬翼法と咬合法>  
・咬翼法：隣接面う蝕、辺縁性歯周炎の診断  
・咬合法：唾石、埋伏歯、顎骨髄炎の診断

〔問題105〕 診療室の待合室で倒れている人を発見した。

最初に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 胸骨圧迫
- b AED装着
- c 119番通報
- d 意識の有無の確認

**選択肢考察**

答え d

- × a 救急要請後、呼吸がない場合には、胸骨圧迫を開始する。
- × b 救急要請後、AEDを手配し、到着したら速やかにAEDを装着する。
- × c 119番通報（救急要請）は意識を消失している場合に行う。
- d 救急処置で最初に行うのは、意識の有無を確認することである。

**ポイント**

<救急処置の手順>  
安全確認→意識の有無の確認（なし）→119番通報（救急要請）→AEDの手配→呼吸の確認（自発呼吸なし）→気道確保→胸骨圧迫（+人工呼吸）→AED装着・除細動→胸骨圧迫（+人工呼吸）

〔問題106〕 50歳の男性。食事がしづらいことを主訴として来院した。脳性麻痺の既往があり、自立歩行はできない。診察の結果、機能訓練を行うこととした。訓練中の写真（別冊午前No.38）を別に示す。

改善が期待できるのはどれか。2つ選べ。

- a 咀嚼機能
- b 食塊形成能
- c 口唇閉鎖機能
- d 鼻咽腔閉鎖機能

別冊 午前 No.38 写真

**選択肢考察**

答え c d



ブローイング訓練

- × a、× b 咀嚼機能と食塊形成能の改善が期待できるのは、咀嚼回数を増やす咀嚼筋訓練である。
- c、○ d 写真はブローイング訓練を行っているところである。ブローイング訓練により、口唇閉鎖機能や鼻咽腔閉鎖機能の改善が期待できる。

ポイント

<ブローイング訓練>

- ・吹く動作により鼻咽腔が反射的に閉鎖されることを利用して、鼻咽腔閉鎖に関わる神経や筋群の機能を改善させる訓練である。
- ・口唇閉鎖機能や鼻咽腔閉鎖機能の改善が期待できる。

(問題 107) 摂食嚥下機能のスクリーニングテストはどれか。2つ選べ。

- a 咳テスト
- b サクソテスト
- c スナイダーテスト
- d 段階的フードテスト

選択肢考察

答え a d

- a 咳テストは摂食嚥下機能のスクリーニングテストの1つで、霧化した咳誘発物質を吸入させて咳反射の有無で不顕性誤嚥を評価する。
- × b サクソテストは刺激時唾液の分泌量を測定するための検査で、シェーグレン症候群や口腔乾燥症の診断に用いる。
- × c スナイダーテストは唾液中の細菌の酸産生能を測定する検査で、う蝕活動性試験の1つである。
- d 段階的フードテストは摂食嚥下機能のスクリーニングテストの1つで、茶さじ1杯の被験食品(プリン・粥・液状食品)を嚥下させて、口腔期の食塊形成と咽頭への移送の機能を評価する。

ポイント

<摂食嚥下機能のスクリーニングテスト>

- ・反復唾液嚥下テスト (RSST)
- ・改訂水飲みテスト (MWST)
- ・段階的フードテスト (FT)
- ・咳テスト
- ・頸部聴診法

(問題 108) 口腔機能低下症の評価に用いる機器の写真(別冊午前No.39)を別に示す。

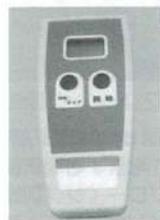
評価するのはどれか。2つ選べ。

- a 歯音
- b 口蓋音
- c 両唇音
- d 軟口蓋音

別冊 午前 No.39 写真

選択肢考察

答え c d



オーラルディアドコキネシス測定器 (自動測定器)

- × a、× b オーラルディアドコキネシスでは、歯音(「ザ」、「サ」)や口蓋音(「ヒ」、「ヤ」)を評価しない。
- c、○ d オーラルディアドコキネシスでは、「バ」

「タ」、「カ」の発音で、舌、口唇および軟口蓋の巧緻性を評価する。「バ」は両唇音、「タ」は歯茎音、「カ」は軟口蓋音である。

ポイント

<調音点による分類(どこで音を作るか)>

調音点の種類	説明	例(日本語)
両唇音	上下の唇で音を作る	バ、パ、マ、フ
歯茎音	舌尖と上顎の歯茎で音を作る	タ、サ、ナ、ラ
軟口蓋音	舌の後方と軟口蓋で音を作る	カ、ガ、ン
歯音	舌尖と歯で音を作る	ザ、サ(摩擦音)
口蓋音	舌と硬口蓋で音を作る(外国語に多い)	ヒ、ヤ(英語の「sh」など)

(問題 109) 摂食嚥下機能訓練中の写真(別冊午前No.40)を別に示す。

この訓練で機能回復が期待できる筋はどれか。1つ選べ。

- a 咬筋
- b 口輪筋
- c 顎舌骨筋
- d 垂直舌筋

別冊 午前 No.40 写真

選択肢考察

答え c



頭部を挙上している

写真は頭部挙上訓練(シャキア法)を行っているところである。頭部挙上訓練は、舌骨や喉頭挙上に関与する舌骨上筋群(顎舌骨筋、顎二腹筋、オトガイ舌骨筋など)を強化する訓練である。

- × a 咬筋は咀嚼筋の1つである。
- × b 口輪筋は表情筋の1つである。
- c 顎舌骨筋は舌骨上筋群の1つで、頭部挙上訓練はこの舌骨上筋を強化する訓練である。
- × d 垂直舌筋は内舌筋の1つである。

ポイント

<頭部挙上訓練(シャキア法)>

- ・食道入口部の開大不全、前頸筋群の筋力低下が認められる場合に行われる機能訓練である。
- ・咽頭下部の残留、誤嚥を改善する目的で行われる。

(問題 110) 脳性麻痺児の摂食嚥下訓練の様子を図に示す。実施している手技の目的はどれか。2つ選べ。

- a 咀嚼運動の促進
- b 嚥下反射の誘発
- c 口周辺の過敏の脱感作
- d 安定した摂食姿勢の確保



選択肢考察

答え c d

- × a、× b 図では、訓練者が患児の頭部を支えながら、口唇周囲に手を当てて摂食訓練を行っている。咀嚼運動の促進や嚥下反射の誘発のために行っているわけではない。
- c 脳性麻痺児は口腔諸器官の強い緊張あるいは低緊張によりバランスが崩れており、うまく食塊を形成、移送できないことがある。これらの緊張は摂食嚥下の障害となるため、口周辺の過敏の脱感作を行うのは適切である。
- d 脳性麻痺児は安定した摂食姿勢をとるのが困難なので、安定した摂食姿勢を確保する必要がある。

ポイント

<脳性麻痺児の摂食嚥下の特徴>

- ・安定した摂食姿勢をとるのが困難である
- ・口腔諸器官の強い緊張あるいは低緊張(口唇閉鎖不全、舌突出、食塊形成不全、咀嚼困難、過開口、咬反射など)
- ・逆嚥下
- ・誤嚥(不顕性誤嚥も多い)や誤嚥性肺炎の可能性が高くなる

# 解説 (午後問題)

(問題 1) 頭蓋骨の写真 (別冊午後No.1) を別に示す。矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a 冠状縫合
- b 矢状縫合
- c 鱗状縫合
- d ラムダ縫合

別冊 午後 No.1 写真

選択肢考察

答え d



ラムダ (人字) 縫合

- × a 冠状縫合とは前頭骨と左右の頭頂骨の間の縫合である。
- × b 矢状縫合とは左右の頭頂骨の間の前後に走る縫合である。
- × c 鱗状縫合とは側頭骨鱗部と頭頂骨の間の縫合である。
- d ラムダ (人字) 縫合とは矢印で示す左右の頭頂骨と後頭骨の間の縫合である。

### ポイント

<泉門>

新生児の頭蓋骨は骨化しておらず泉門とよばれる。

(問題 2) 開口運動時に作用するのはどれか。1つ選べ。

- a 咬筋
- b 側頭筋
- c 内側翼突筋
- d 外側翼突筋

選択肢考察

答え d

- × a 咬筋は閉口運動時に作用する。
- × b 側頭筋は閉口運動時、後方運動時、側方運動時に作用する。
- × c 内側翼突筋は閉口運動時に作用する。
- d 外側翼突筋は開口運動時、前方運動時、側方運動時に作用する。

### ポイント

<咀嚼筋の作用>

開口運動	外側翼突筋、舌骨上筋群 (オトガイ舌骨筋、顎二腹筋前腹、顎舌骨筋)
閉口運動	咬筋、内側翼突筋、側頭筋
前方運動	外側翼突筋
後方運動	側頭筋
側方運動	平衡側では外側翼突筋、作業側では側頭筋

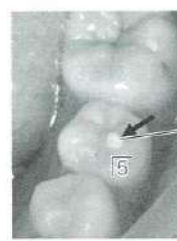
(問題 3) 口腔内写真 (別冊午後No.2) を別に示す。矢印が示すのはどれか。1つ選べ。

- a 介在結節
- b 臼歯結節
- c 中心結節
- d カラベリー結節

別冊 午後 No.2 写真

選択肢考察

答え c



中心結節

- × a 介在結節は上顎第一小白歯の近心辺縁隆線にみられる結節である。
- × b 臼歯結節は上下顎乳臼歯頰面の近心歯頸部付近にみられる結節である。
- c 矢印は中心結節である。写真のように下顎小白歯の咬合面にみられる結節である。
- × d カラベリー結節は上顎第一大臼歯の近心舌側咬頭の舌側面近心部にみられる結節である。

### ポイント

<歯の形態>

カラベリー結節	上顎第一大臼歯の近心舌側咬頭の舌側面近心部にみられる結節
介在結節	上顎第一小白歯の近心辺縁隆線にみられる結節
中心結節	下顎小白歯の咬合面にみられる結節
臼歯結節	上下顎智歯の遠心隣接面に形成された小結節
切歯結節	上顎中切歯の舌面にみられる結節
臼歯結節	上下顎乳臼歯頰面の近心歯頸部付近にみられる結節

(問題 4) 歯と歯周組織の模式図を示す。

歯小囊から形成されるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

答え d

- × a ①はエナメル質である。エナメル器から形成される。
- × b ②は象牙質である。象牙質は歯乳頭から形成される。
- × c ③は歯髄である。歯髄は歯乳頭から形成される。
- d ④はセメント質である。セメント質、歯根膜、固有歯槽骨は歯小囊から形成される。

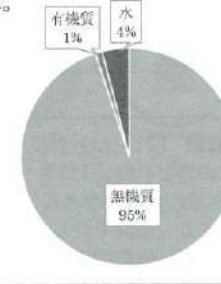
### ポイント

<歯胚の構成要素とその形成物>

- ・エナメル器→エナメル質
- ・歯乳頭→象牙質・歯髄
- ・歯小囊→セメント質・歯根膜・固有歯槽骨

(問題 5) 図はある口腔組織の化学組成を示す。該当するのはどれか。1つ選べ。

- a エナメル質
- b 象牙質
- c セメント質
- d 歯槽骨



選択肢考察

答え a

- a 無機質が95%、有機質が1%なのでエナメル質と考えられる。
- × b、× c、× d 象牙質、セメント質、骨の無機質は約70%、有機質は約20%、水分は約10%である。

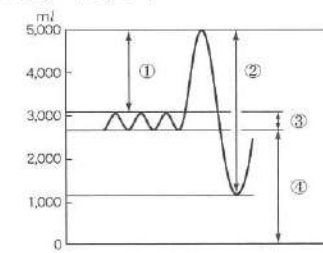
### ポイント

<主な硬組織の組成>

	エナメル質	象牙質	セメント質	骨
無機質	95%	69%	65%	70%
有機質	1%	20%	23%	22%
水分	4%	11%	12%	8%

(問題 6) 肺気量の区分 (スパイログラム) を図に示す。機能的残気量はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

答え d

- × a ①は予備吸気量である。通常の吸気後さらに吸い込むことのできる空気量のことである。
- × b ②は肺活量である。最大吸息位から最大呼息位までの肺容量の差のことである。
- × c ③は1回換気量である。安静呼吸時に1回の呼吸で肺に入出入りする量のことである。
- d ④は機能的残気量である。安静呼息位 (息を出した状態) での肺の残気量のことである。

### ポイント

<スパイログラム>

1回換気量	安静呼吸時に1回の呼吸で肺に入出入りする量。
予備吸気量	通常の吸気後さらに吸い込むことのできる空気量。
機能的残気量	安静呼息位 (息を出した状態) での肺の残気量。
肺活量	最大吸息位から最大呼息位までの肺容量の差。
残気量	最大呼息位で肺に残っている空気量。残気量は自己の筋力のみでは吐出できない。
総肺気量	肺活量と残気量の和。

(問題 7) 交感神経の興奮で生じる反応はどれか。1つ選べ。

- a 瞳孔縮小
- b 心拍数減少
- c 気管支拡張
- d 末梢血管拡張

選択肢考察

答え c

- × a 交感神経が興奮すると、瞳孔は散大する。
- × b 交感神経が興奮すると、心拍数は増加する。
- c 交感神経が興奮すると、気管支は拡張する。
- × d 交感神経が興奮すると、末梢血管は収縮する。

### ポイント

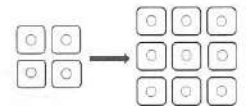
<交感神経と副交感神経の作用>

	交感神経	副交感神経
瞳孔	散大	縮小
唾液腺	粘性性の分泌	漿液性の分泌
気管	拡張	収縮
呼吸	促進	抑制
心臓	促進	抑制
冠状動脈	拡張	収縮
肝臓	グリコーゲン分解	グリコーゲン合成
胃	運動抑制	運動促進
胃液・胆汁	分泌減少	分泌増加
腸	運動抑制	運動促進
末梢血管	収縮	拡張

(問題 8) 細胞の変化を図に示す。

この変化はどれか。1つ選べ。

- a 萎縮
- b 再生
- c 過形成
- d 単純肥大



選択肢考察

答え c

- × a 萎縮は細胞数や細胞容積の減少がみられる。
- × b 再生は種々の原因によって失われた組織の治癒機構で、欠損部は周囲から増殖する細胞や組織によって修復される。
- c 過形成は図のように細胞数の増加による数的肥大のことである。
- × d 肥大は組織や器官が本来の構造を保ったまま容積を増大した状態をいう。個々の細胞の容積の増加による単純肥大と細胞数の増加による数的肥大 (過形成) に分けられる。



ポイント

<歯磨剤の基本成分>

研磨剤 (清掃剤)	リン酸水素カルシウム、ピロリン酸カルシウムなど
湿潤剤 (保湿剤)	グリセリン、ソルビトールなど
粘結剤 (結合剤)	カルボキシメチルセルロースナトリウム、アルギン酸ナトリウムなど
発泡剤	ラウリル硫酸ナトリウムなど
香料	サッカリンナトリウム、メントールなど
保存料	パラベン類、安息香酸ナトリウムなど

(問題 17) ある中学校の1年生100名の学校歯科健康診断の集計結果を表に示す。

健全歯数	2,350歯
D歯数	40歯
M歯数	30歯
F歯数	80歯

DMF 歯率 (%) はどれか。1つ選べ。

- a 1.5
- b 6.0
- c 15.0
- d 25.0

選択肢考察

答え b

× a、○ b、× c、× d DMF 歯率 (%) は、被検者における DMF 歯の合計 / 被検歯数 × 100 (%) で求める。被検者における DMF 歯の合計 = 40 + 30 + 80 = 150 であり、被検歯数 = 2350 + 40 + 30 + 80 = 2500 であるため、DMF 歯率 (%) = 150/2500 × 100 = 6.0% となる。

ポイント

<DMF の被検歯数>

- ・ DMF の被検歯数には喪失歯も含まれる。
- ・ 被検歯数は健全歯数に DMF 歯数を加えたものである。

(問題 18) フッ化物イオン濃度が最も高いのはどれか。1つ選べ。

- a フッ化第一スズ溶液
- b フッ化物パーニッシュ
- c フッ化ジアンミン銀溶液
- d モノフルオロリン酸ナトリウム配合歯磨剤

選択肢考察

答え c

× a フッ化第一スズ溶液のフッ化物イオン濃度は 8% で 19,400ppm である。  
 × b フッ化物パーニッシュのフッ化物イオン濃度は 22,600ppm である。  
 ○ c フッ化ジアンミン銀溶液のフッ化物イオン濃度は 55,000ppm であり、最も高い。  
 × d モノフルオロリン酸ナトリウム配合歯磨剤のフッ化物イオン濃度は 1,500ppm である。

ポイント

<フッ化ジアンミン銀溶液>

- ・ 無色透明の水溶液である。
- ・ アンモニア臭があり、苦味がある。
- ・ う蝕部に塗布すると還元銀が生じ、時間経過とともに黒変する。

(問題 19) 口腔清掃法と関与するものの組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 化学的清掃法 —— 薬剤配合歯磨剤
- b 機械的清掃法 —— スケーリング
- c 自然的清掃法 —— 唾液
- d 手術的清掃法 —— デンタルフロス

選択肢考察

答え a c

○ a 化学的清掃法は薬剤配合歯磨剤などでプラークの形成抑制などの効果を得ようとする方法である。  
 × b 機械的清掃法は歯ブラシやデンタルフロスなどを用いる方法である。  
 ○ c 自然的清掃法は唾液による自浄作用などを用いる方法である。  
 × d 手術的清掃法はスケーリングなど専門家が行う方法である。

ポイント

<口腔清掃法>

- ・ 自然的清掃法
- ・ 機械的清掃法
- ・ 手術的清掃法
- ・ 化学的清掃法

(問題 20) 口臭の官能検査について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 再現性に優れる。
- b 硫黄化合物を定量できる。
- c 判定基準は 6 段階である。
- d 真性口臭症の診断の基本となる。

選択肢考察

答え c d

× a 官能検査は主観的で再現性に乏しい。  
 × b 硫黄化合物を定量できるのはガスクロマトグラフィー検査である。  
 ○ c 判定基準はスコア 0 ~ 5 の 6 段階である。スコア 2 以上で真性口臭症と診断される。  
 ○ d 検査者が口腔内に存在する気体のおいを直接嗅ぐ官能検査が真性口臭症の診断の基本となる。

ポイント

<口臭の検査>

官能検査	再現性に乏しいが、口臭の診断の基本となる。
ガスクロマトグラフィ	再現性に優れる。硫黄化合物を定量、定性する。

(問題 21) CPI (2013年、WHO) で診査するのはどれか。2つ選べ。

- a BOP
- b 歯の動揺
- c 歯石の付着
- d 歯周ポケットの深さ

選択肢考察

答え a d

○ a、○ d CPI (2013年、WHO) では BOP (プロービング時の歯肉出血) と歯周ポケットの深さを診査する。  
 × b 歯の動揺は CPI (2013年、WHO) で診査しない。

× c 歯石の付着は旧バージョンの CPI では診査していたが、CPI (2013年、WHO) では診査しない。

ポイント

<CPI (2013年、WHO) での診査項目>

- ・ 歯肉出血のスコア
- ・ ポケットのスコア

(問題 22) 歯のフッ素症の指数はどれか。1つ選べ。

- a CFI
- b DAI
- c PHP
- d ICDAS

選択肢考察

答え a

○ a CFI は地域フッ素症指数である。  
 × b DAI は咬合異常の分類である。  
 × c PHP は口腔清掃状態の指数である。  
 × d ICDAS はう蝕の診断基準の 1 つである。

ポイント

<CFI >

- ・ 被検者のフッ素症歯を Dean の分類に従って点数をつけ、それをもとに算出する。
- ・ 地域の水道水フッロリレーションの実施の可否などの参考となる。

(問題 23) 職業性歯科疾患で、原因物質と疾病・症状を表に示す。

	原因物質	疾病・症状
①	粉塵	歯の摩耗症
②	黄リン	歯の腐食
③	カドミウム	歯頸部の着色
④	酸のガス・ミスト	う蝕

正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察

答え a c

○ a 硬い粉塵が多い場所では、歯の摩耗症が生じる。  
 × b 黄リンは口内炎や顎骨壊死などが生じる。  
 ○ c カドミウムに曝露することにより、歯頸部エナメル質の黄色環がみられる。  
 × d 酸のガス・ミストに曝露することによって歯の酸蝕症が生じる。う蝕の原因は職業性の酸ではなく、口腔内細菌が産生する有機酸である。

ポイント

<代表的な職業性歯科疾患>

- ・ 摩耗症
- ・ 歯の酸蝕症
- ・ 菓子屋う蝕症
- ・ 黄色環 (カドミウムリング)

(問題 24) 日本における令和 6 年 (2024 年) の総人口に占める老年人口の割合で最も近いのはどれか。1つ選べ。

- a 20%
- b 30%
- c 40%
- d 50%

選択肢考察

答え b

× a、○ b、× c、× d 令和 6 年 (2024 年 9 月 15 日時点) における、65 歳以上の人口である老年人口の割合は 29.3% で、前年の 29.1% より増加した。年少人口と生産年齢人口は少しずつ減少しているが、老年人口は上昇を続けている。

ポイント

<人口構造>

各種区分	年齢区分	構成割合 (令和 6 年)
年少人口	0 ~ 14 歳	11.2%
生産年齢人口	15 ~ 64 歳	59.6%
老年人口	65 歳以上	29.3%

(問題 25) 測定器具の図を示す。



暑さ指数 (WBGT) を求めるために必要な測定器具はどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察

答え a d

○ a、○ d 暑さ指数 (WBGT; Wet Bulb Globe Temperature (湿球黒球温度)) は、以下のように屋外と屋内で計算式が異なる。  
 屋外: WBGT (°C) = 0.7 × 湿球温度 + 0.2 × 黒球温度 + 0.1 × 乾球温度  
 屋内: WBGT (°C) = 0.7 × 湿球温度 + 0.3 × 黒球温度  
 したがって、暑さ指数を求めるためには、湿球温度と乾球温度が測定できるアスマン通風乾湿計 (①) と黒球温度が測定できる黒球温度計 (④) が必要である。  
 × b、× c ②と③はカタ温度計で、気流の測定に用いられる。気温、気湿、気流の 3 つから感覚温度を求めることができる。

ポイント

<暑さ指数 (WBGT) >

人体が感じる暑さの総合的な負担を数値化したもので、熱中症予防を目的とする指標である。熱中症警戒アラートは、この暑さ指数の予測に基づいて発令される。  
 31°C 以上の場合: 運動は原則中止

(問題 26) 毒素型食中毒に分類されるのはどれか。2つ選べ。

a 腸炎ピブリオ  
b ボツリヌス菌  
c 黄色ブドウ球菌  
d サルモネラ属菌

**選択肢考察** **答え b c**  
 × a 腸炎ピブリオは海水中に生息する好塩菌である。魚介類に付着して食中毒を引き起こすため、感染型食中毒に分類される。  
 ○ b ボツリヌス菌は嫌気性で芽胞を産生する。ボツリヌス毒素により汚染された食品（真空パック、缶詰など）を摂取することにより毒素型食中毒を引き起こす。  
 ○ c 黄色ブドウ球菌は、食品の中で増殖するとエンテロトキシンを産生し、毒素型食中毒を引き起こす。手指に化膿菌のある者が食品を直接触ったり、調理したりすることが原因となる。  
 × d サルモネラ属菌による食中毒は感染型食中毒に分類され、食肉や鶏卵が感染源になることが多い。

**ポイント**  
 <細菌性食中毒の分類>

感染型食中毒	病原性大腸菌、サルモネラ属菌、腸炎ピブリオ、カンピロバクター
毒素型食中毒	黄色ブドウ球菌、ボツリヌス菌

(問題 27) 市町村保健センターの業務はどれか。2つ選べ。

a 廃棄物の処理  
b 人口動態統計調査  
c 妊産婦に対する保健指導  
d 地域住民に密着した健康相談

**選択肢考察** **答え c d**  
 × a 地域保健法で住宅・水道・下水道・廃棄物の処理・清掃その他の環境の衛生に関する事項が保健所の事業として規定されている。  
 × b 地域保健法で人口動態統計や地域保健に関する統計調査については保健所の事業として規定されている。  
 ○ c、○ d 地域保健法は市町村保健センターについて、地域住民に密着した健康相談・保健指導（妊産婦や高齢者など）・健康診査その他地域保健に関し必要な事業を行うことを目的とする施設として規定している。

**ポイント**  
 <市町村保健センターの業務>

- ・母子保健関連（妊婦・乳幼児の健康相談、乳幼児健診、予防接種の実施、育児教室、離乳食講座など）
- ・高齢者・成人保健事業（がん検診、生活習慣病検診、健康相談、食生活、運動、禁煙などの保健指導、介護予防教室や認知症予防活動、高齢者のフレイル予防支援など）
- ・精神保健・福祉支援（メンタルヘルス相談、ひきこもりや依存症に関する支援など）
- ・感染症・公衆衛生対策（感染症予防啓発、災害時の保健活動など）
- ・地域連携・教育活動（健康づくりイベントの開催、地域団体・学校との連携による啓発活動、健康情報の発信など）

(問題 28) 特定健康診査について正しいのはどれか。2つ選べ。

a 医療保険者が実施する。  
b 受診者全員に特定保健指導が行われる。  
c がんのスクリーニングを目的としている。  
d 対象は40～74歳の医療保険加入者である。

**選択肢考察** **答え a d**  
 ○ a、○ d 医療保険者に40～74歳の医療保険加入者（被保険者・被扶養者）に対する特定健康診査と特定保健指導の実施が義務づけられている。  
 × b 特定健康診査の結果により「動機づけ支援」、「積極的支援」に該当した人が特定保健指導を受ける。  
 × c がんではなく、血圧・血糖・血中脂質を中心に着目した生活習慣病の予防のための健康診査である。

**ポイント**  
 <特定健康診査・特定保健指導>

特定健康診査	医療保険者（国保・被用者保険）が40～74歳の加入者（被保険者・被扶養者）を対象として、毎年実施する。メタボリック・シンドロームに着目した健康診査である。
特定保健指導	特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる者に対して、専門スタッフ（保健師、管理栄養士など）が生活習慣を見直すサポートをする。

(問題 29) 介護保険制度で正しいのはどれか。2つ選べ。

a 予防給付制度がある。  
b 保険者は都道府県である。  
c 保険料は全国一律である。  
d 介護認定審査会は市町村が設置する。

**選択肢考察** **答え a d**  
 ○ a 要支援者は予防給付を受ける。要介護者は介護給付を受ける。  
 × b 保険者は市町村である。  
 × c 被保険者（第1号）の介護保険料は保険者ごとに基準保険料率が設定され、所得に応じて金額が変化する。  
 ○ d 要介護認定の審査は市町村が設置する介護認定審査会で行う。

**ポイント**  
 <介護保険>

保険者	市町村
被保険者	第1号 65歳以上の者 第2号 40～64歳の医療保険加入者

(問題 30) トリアージタグの図（別冊午後No.5）を別に示す。非緊急治療となるトリアージタグはどれか。1つ選べ。

a ① b ② c ③ d ④

**別冊 午後 No.5 写真**

**選択肢考察** **答え c**



① ② ③ ④

× a ①はトリアージ区分の「黒」で、「死亡または救命困難」に該当する。  
 × b ②はトリアージ区分の「赤」で、「緊急治療」に該当する。  
 ○ c ③はトリアージ区分の「黄」で、「非緊急治療」に該当する。  
 × d ④はトリアージ区分の「緑」で、「治療不要または軽処置」に該当する。

**ポイント**  
 <トリアージ区分>

0	黒	死亡または救命困難
I	赤	緊急治療
II	黄	非緊急治療
III	緑	治療不要または軽処置

(問題 31) 痛みを訴える患者に対する共感的な対応はどれか。1つ選べ。

a 「痛いのはつらいですね」  
b 「痛み止めはまだ効きませんが」  
c 「どこがどのように痛みますか」  
d 「痛いのはむし歯を放置したからですよ」

**選択肢考察** **答え a**  
 ○ a 患者の立場になって、そのつらさを理解しようとしており、共感的な対応である。  
 × b 質問が痛み止めの効果に関する情報収集となっており、共感的な対応ではない。  
 × c 質問が痛みに関する情報収集となっており、共感的な対応ではない。  
 × d 正論かもしれないが評価的態度であり、共感的な対応ではない。

**ポイント**  
 <カウンセリングの心構え>

①傾聴	相手の話に耳を傾けること。相手の意見に「肯定する」ことでも「否定する」ことでもない。
②共感的態度	クライアントが感じるようにカウンセラーも感じることが大切である。
③受容の態度	ありのままの姿で受け入れることが大切である。
④ラボールの形成	相手と信頼関係を築くこと。

(問題 32) ある容器に表示されているマーク（別冊午後No.6）を別に示す。使用後のメスを廃棄すべき容器に表示されているのはどれか。1つ選べ。

a ① b ② c ③ d ④

**別冊 午後 No.6 写真**

**選択肢考察** **答え c**

① ② ③ ④

× a ①の赤色のバイオハザードマークの付いた容器には液体・泥状のもの（血液、膿汁など）を廃棄する。  
 × b ②の橙色のバイオハザードマークの付いた容器には固形状のもの（石膏模型撤去後の印象材、歯石の付いたガーゼなど）を廃棄する。  
 ○ c ③の黄色のバイオハザードマークの付いた容器には鋭利なもの（使用後のメス、折れたブローチ、使用後の注射針、リーマー類など）を廃棄する。  
 × d ④の黒色のバイオハザードマークは存在しない。

**ポイント**  
 <バイオハザードマークの色と感染性廃棄物の形態>

マークの色	廃棄物の状態	例
赤	液体・泥状のもの	血液、膿汁
橙	固形状のもの	石膏模型撤去後の印象材、歯石の付いたガーゼ
黄	鋭利なもの	使用後のメス、折れたブローチ、使用後の注射針、リーマー類など

(問題 33) 歯科衛生士の守秘義務の根拠となっているのはどれか。1つ選べ。

a 刑法  
b 医療法  
c 歯科医師法  
d 歯科衛生士法

**選択肢考察** **答え d**  
 × a、× b、× c 医師、歯科医師、薬剤師の守秘義務は刑法（第134条）に定められている。  
 ○ d 歯科衛生士の守秘義務は歯科衛生士法（第13条）に定められている。

**ポイント**  
 <守秘義務>

- ・医師、歯科医師、薬剤師：刑法
- ・歯科衛生士：歯科衛生士法
- ・歯科技工士：歯科技工士法

〔問題 34〕 歯内療法を行うにあたり、ある画像検査を行った。得られた画像（別冊午後No.7）を別に示す。この画像検査で判断できるのはどれか。2つ選べ。  
 a 歯根の破折  
 b 歯髄の炎症  
 c 歯の内部吸収  
 d 根尖部の膿の程度

別冊 午後 No.7 写真

選択肢考察

答え a c



歯科用コーンビームCT

- a 歯科用コーンビームCTでは歯根の破折が判断できる。
- × b 歯髄の炎症は画像検査では判断できない。歯髄電気診や温度診などから判断する。
- c 歯科用コーンビームCTでは歯の内部吸収が判断できる。
- × d 歯科用コーンビームCTでは膿は判断できない。

ポイント

<歯科用コーンビームCT>

- ・歯や顎骨などの硬組織を観察するのに適している。
- ・軟組織の描出能は低い。
- ・エックス線を利用しており、エックス線被曝が生じる。

〔問題 35〕 触覚機能検査に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a SWテスト
- b サクソテスト
- c ブリックテスト
- d ポリスムノグラフィ

選択肢考察

答え a

- a SWテストは感覚神経の障害が疑われた場合に行う触覚機能検査である。
- × b サクソテストは刺激時唾液の測定法である。
- × c ブリックテストは即時型アレルギーの検査である。
- × d ポリスムノグラフィは睡眠検査である。

ポイント

<SWテスト>

- ・SWテスターを用いて感覚閾値を測定する検査である。
- ・智歯抜歯などで生じた三叉神経感覚障害（三叉神経麻痺）などに用いられる。

〔問題 36〕 血清中の自己抗体の検査を行うのはどれか。2つ選べ。

- a 梅毒
- b B型肝炎
- c シェーグレン症候群
- d 全身性エリテマトーデス

選択肢考察

答え c d

- × a 梅毒では梅毒トレポネーマに対する抗体検査や非トレポネーマ抗原検査（主にSTS法）、トレポネーマ抗原検査（TP抗原法）を行うが、自己抗体の検査は行わない。
- × b B型肝炎ではHBs抗原、HBe抗原、抗HBs抗体、抗HBe抗体を検査するが、自己抗体の検査は行わない。
- c シェーグレン症候群は自己抗体として抗SS-A抗体や抗SS-B抗体の検査を行う。
- d 全身性エリテマトーデスは自己抗体として抗核抗体の検査を行う。

ポイント

<自己抗体>

自己免疫疾患の検査では、主に血清中の自己抗体を調べる。自己免疫疾患として、全身性エリテマトーデスや関節リウマチ、シェーグレン症候群、天疱瘡、パセドウ病などが知られている。

〔問題 37〕 全身性炎症反応症候群の診断基準項目はどれか。2つ選べ。

- a 血圧
- b 体温
- c 赤血球数
- d 白血球数

選択肢考察

答え b d

- × a、× c 血圧や赤血球数は全身性炎症反応症候群の診断基準項目ではない。
- b、○ d 全身性炎症反応症候群の診断基準項目として体温や白血球数がある。

ポイント

<全身性炎症反応症候群>

あらゆる侵襲により発症する非特異的な全身性の急性炎症反応である。炎症性サイトカインにより引き起こされる。診断基準項目として、体温、脈拍、呼吸数、白血球数が挙げられる。

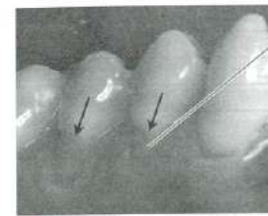
〔問題 38〕 40歳の男性。下顎右側小白歯部の冷水痛を主訴として来院した。54]には矢印で示す欠損がみられた。初診時の口腔内写真（別冊午後No.8）を別に示す。

- 考えられる原因はどれか。2つ選べ。
- a う蝕
  - b 摩擦
  - c ブラキシズム
  - d 先行乳歯の根尖性歯周炎

別冊 午後 No.8 写真

選択肢考察

答え b c



矢印で示す欠損は歯頸部のくさび状欠損である

- × a う蝕では、着色や粗造感がみられる。
- b、○ c 写真をみると、歯頸部のくさび状欠損であることがわかる。くさび状欠損は過度のブラッシング圧による摩擦やブラキシズムによる歯のひずみが原因と考えられる。
- × d 先行乳歯の根尖性歯周炎ではTurnerの歯が生じ、エナメル質の凹凸や変色が見られる。

ポイント

<くさび状欠損>

- ・う蝕に次いで多い硬組織疾患と言われている。
- ・ブラキシズムなどによる歯頸部エナメル質の破損（アブラクション）に過度のブラッシング圧による摩擦が加わって欠損が大きくなっていくと考えられている。

〔問題 39〕 47歳の男性。下顎左側第二小白歯の疼痛を主訴として来院した。う蝕除去後にコンポジットレジン修復を行うことになった。歯面にある染色液を使用した後の口腔内写真（別冊午後No.9）を別に示す。

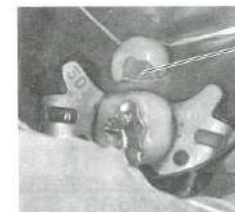
使用した染色液の成分はどれか。1つ選べ。

- a フロキシシン
- b エリスロシン
- c アシッドレッド
- d フェノールフタレイン

別冊 午後 No.9 写真

選択肢考察

答え c



歯面が赤く染色されており、う蝕にう蝕検知液を用いたと考えられる

- × a、× b フロキシシンやエリスロシンは赤色素であるが、う蝕検知液には使用しない。
- c う蝕検知液に含まれているのはアシッドレッドである。
- × d フェノールフタレインはアルカリ性を検知するpH指示薬に用いられる。

ポイント

<う蝕検知液の染色成分>

- ・アシッドレッド：赤色に染色
- ・ブリリアントブルー：青色に染色

〔問題 40〕 38歳の男性。下顎左側第二大臼歯の食事時の鈍痛を主訴として来院した。自発痛はない。歯髄電気診で生活反応を認めた。診断の結果、感染歯質を除去し隔壁を形成後、麻酔抜髄を行うことになった。初診時の口腔内写真（別冊午後No.10）を別に示す。

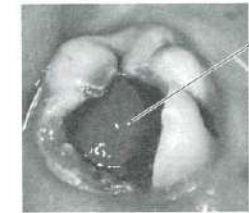
この治療における隔壁形成の目的はどれか。2つ選べ。

- a 咬合の保持
- b 封鎖性の確保
- c 歯冠形態の付与
- d 薬液の漏出防止

別冊 午後 No.10 写真

選択肢考察

答え b d



う蝕で歯質が崩壊しており、歯髄ポリープがみられる

- × a 咬合の保持は抜髄における隔壁形成の目的ではない。隔壁で咬合の保持を行うと、隔壁の破損のリスクが高くなる。
- b 抜髄時のラバーダム防湿の封鎖性の確保を目的として隔壁形成を行う。
- × c 歯冠形態の付与は抜髄における隔壁形成の目的ではない。
- d 抜髄における隔壁形成により、抜髄時の薬液の漏出防止を期待できる。

ポイント

<根管治療時の隔壁形成>

う蝕による歯質の崩壊が大きく、ラバーダム防湿を装着できない場合や、ラバーダム防湿の封鎖性が得られず唾液の侵入や薬剤の漏出のリスクが高い場合には、コンポジットレジンなどで隔壁形成を行う。

〔問題 41〕 45歳の女性。上顎左側第二小白歯の自発痛を主訴として来院した。温刺激および打診に対して敏感に反応する。初診時の口腔内写真（別冊午後No.11A）とエックス線画像（別冊午後No.11B）を別に示す。

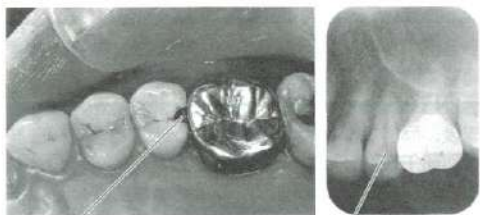
考えられる対応はどれか。1つ選べ。

- a 間接覆髄
- b 生活断髄
- c 麻酔抜髄
- d アベキソゲネーシス

別冊 午後 No.11A,B 写真

選択肢考察

答え c



隣接面う蝕 う蝕が歯髄腔に達していると思われる

- × a 間接冠は歯髄保存療法であり、歯髄充血や初期の急性単純性歯髄炎に適用する。
- × b 生活断髄は歯根部歯髄が健全である症例に用いる。歯髄炎で打診痛がある場合には歯根部歯髄への炎症が疑われる。
- c 自発痛や温熱痛、打診痛があり、エックス線画像では歯髄腔へ達していると考えられる大きなう蝕があり、麻酔抜髄の適用である急性化膿性歯髄炎と考えられる。
- × d アペキソゲネーシスは根末完成歯に適用する。

ポイント

- <急性化膿性歯髄炎>
  - ・露髄による歯髄への細菌感染で生じる。
  - ・拍動性の自発痛や温熱痛がみられる。
  - ・夜間痛や関連痛がみられることもある。

【問題 42】 54歳の女性。前歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。1年前から高血圧症で薬剤を服用しており、その頃から歯肉の腫れがひどくなったという。初診時の口腔内写真（別冊午後No.12）を別に示す。

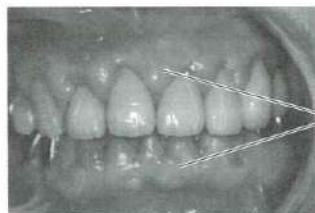
初診時の対応で考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯肉切除
- b 抗菌薬の投与
- c 口腔衛生指導
- d 服用薬の中止

別冊 午後 No.12 写真

選択肢考察

答え c



歯肉腫脹

- × a 歯肉増殖には歯肉切除を検討するが、歯肉切除は歯周外科治療であり初診時に行うとは考えられない。
- × b 歯肉増殖に抗菌薬の投与は行わない。
- c 高血圧症に対するカルシウム拮抗薬による薬物性歯肉増殖と考えられるが、薬物性歯肉増殖はプラークの炎症で増悪する。したがって、まず歯周基本治療として口腔衛生指導を行う。
- × d 医科で処方されている服用薬を中止するとは考えられない。

ポイント

<歯肉増殖に關与する薬物>

フェニトイン（抗てんかん薬）	てんかんに用いられる。
カルシウム拮抗薬（ニフェジピンなど）	高血圧症や狭心症に用いられる。
シクロスポリン（免疫抑制剤）	臓器移植などに用いられる。

【問題 43】 52歳の女性。上顎前歯部歯肉の腫脹とブラッシング時出血を訴えて来院した。口唇の乾燥がみられ、上顎口蓋側歯肉に堤状隆起がみられた。鼻閉はない。

考えられる対応はどれか。2つ選べ。

- a 咬合調整
- b 抗菌薬の投与
- c 口唇閉鎖訓練
- d オーラルスクリーン

選択肢考察

答え c d

- × a 咬合調整は咬合性外傷による歯の動揺などに行う。
- × b 抗菌薬の投与は歯周組織の炎症によって急性症状（自発痛など）が出現している場合などに行う。
- c、○ d 上顎前歯部の歯肉腫脹や口唇の乾燥、堤状隆起（テンションリッジ）などから口呼吸が考えられる。歯周基本治療中に口唇閉鎖訓練やオーラルスクリーンなどによる症状の改善をはかるとよい。

ポイント

<口呼吸>

- ・歯周病の宿主因子である、プラークリテンションファクターの1つである。
- ・堤状隆起（テンションリッジ）や口呼吸線などがみられる。
- ・口唇閉鎖訓練やオーラルスクリーンなどを検討する。

【問題 44】 55歳の女性。下顎右側小臼歯部のブラッシング時の疼痛を訴えて来院した。診察の結果、角化歯肉幅の狭小がみられたため、歯周基本治療後に歯周外科手術を行うことになった。外科手術直後の口腔内写真（別冊午後No.13）を別に示す。

行った手術はどれか。1つ選べ。

- a 新付着術
- b 遊離歯肉移植術
- c 歯肉弁側方移動術
- d 歯肉弁歯冠側移動術

別冊 午後 No.13 写真

選択肢考察

答え b



採取した移植片が縫合固定されている

- × a 新付着術は角化歯肉幅の狭小に対する歯周外科治療ではない。
- b 遊離歯肉移植術は角化歯肉の増加を期待する歯周形成手術である。写真から移植片が固定されており、遊離歯肉移植術を行ったと考えられる。

- × c 歯肉弁側方移動術は剥離した歯肉弁を側方に移動させる歯周形成手術である。隣在歯に十分な角化歯肉がある症例に用いる。
- × d 歯肉弁歯冠側移動術は剥離した歯肉弁を歯冠側に移動させる歯周形成手術である。患歯に十分な角化歯肉がある症例に用いる。

ポイント

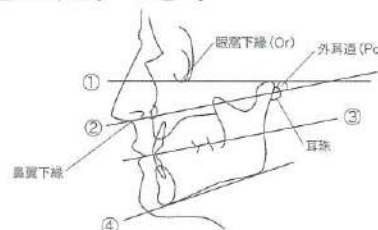
<歯周形成手術>

小帯の高位付着や口腔前庭の狭小、角化歯肉・付着歯肉の狭小、歯肉退縮などの症例に対して行われる。それぞれの症例に応じて小帯切除術や遊離歯肉移植術、結合組織移植術などが選択される。

【問題 45】 顔面の矢状面における模式図を示す。

カンベル平面はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

答え b

- × a ①はフラン克福ルト平面である。この平面は水平基準面の1つで、左右側いずれかの眼窩下縁 (Or: オルビターレ) と両側外耳道上縁 (Po: ポリオン) を含む。矯正学分野の頭部エックス線規格写真 (セファログラム) による分析の際に用いられる平面である。
- b ②がカンベル平面である。この平面は左右側いずれかの鼻翼下縁と両側耳珠上縁を含む。カンベル平面は咬合平面と平行関係に近く、全部床義歯の仮想咬合平面は、この平面と平行に設定する。
- × c ③は咬合平面である。
- × d ④は下顎下縁平面である。

ポイント

<基準平面>

- ・カンベル平面: 鼻翼下縁と両側耳珠上縁を含む → 仮想咬合平面の決定の参考にする → 補綴学分野で重要
- ・フラン克福ルト平面: 眼窩下縁 (Or: オルビターレ) と両側外耳道上縁 (Po: ポリオン) を含む → 頭部エックス線規格写真 (セファログラム) 分析 → 矯正学分野で重要

【問題 46】 歯根・粘膜支持型はどれか。2つ選べ。

- a 全部床義歯
- b インプラント義歯
- c テレスコープ義歯
- d アタッチメント義歯

選択肢考察

答え c d

- × a 全部床義歯は粘膜支持型である。
- × b インプラント義歯は歯根がないので、歯根・粘膜支持型とはいえない。
- c、○ d 部分床義歯 (クラスプ義歯、アタッチメント

義歯、コーヌステレスコープ義歯など) は歯根・粘膜支持型である。

ポイント

<補綴装置の支持形式による分類>

歯根支持型	咬合圧を支台歯の歯根で支持 (負担) するもの	クラウン、ブリッジ、部分床義歯 (中間義歯)
歯根・粘膜支持型	咬合圧を支台歯の歯根と欠損部の粘膜で分担して支持 (負担) するもの	部分床義歯 (遊離端義歯)
粘膜支持型	咬合圧を欠損部の粘膜で支持 (負担) するもの	全部床義歯、支台装置のない部分床義歯

【問題 47】 部分床義歯の写真 (別冊午後No.14A、B) を別に示す。

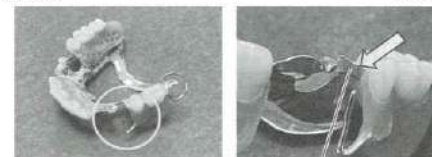
矢印で示す部位の役割はどれか。2つ選べ。

- a 咬合圧の分散
- b 義歯の沈下防止
- c 食片圧入の防止
- d 義歯着脱方向の規制

別冊 午後 No.14A、B 写真

選択肢考察

答え c d



隣接面板

- × a 矢印で示す部位は隣接面板である。支台歯に形成された誘導面 (ガイドプレーン) に適合する金属部分である。咬合圧の分散といった役割はない。
- × b 義歯の沈下防止はレストの役割である。
- c、○ d 隣接面板の役割には、食片圧入の防止、義歯着脱方向の規制、義歯の横揺れ防止 (把持機構) などがある。

ポイント

<隣接面板の役割>

- ① 義歯着脱方向の規制
- ② 義歯の横揺れ防止 (把持機構)
- ③ 歯肉縁近くの不潔域の減少
- ④ 食片圧入の防止
- ⑤ 義歯維持力の向上 (義歯の離脱防止)

【問題 48】 下顎右側大臼歯部に装着されたインプラント上部構造の写真 (別冊午後No.15A、B) を別に示す。

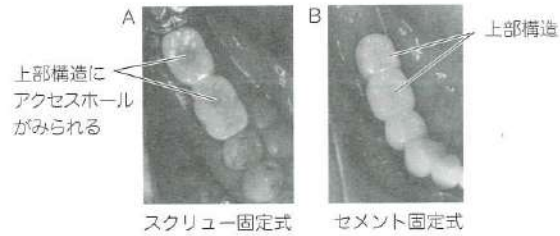
Aの装着法がBより優れるのはどれか。1つ選べ。

- a 審美性
- b 生体親和性
- c 患者による清掃性
- d 術者による着脱性

別冊 午後 No.15A、B 写真

選択肢考察

答え d



- × a 写真Aはスクリー固定式（咬合面観にアクセスホールがある）、写真Bはセメント固定式（アクセスホールがない）である。スクリー固定式はアクセスホールがあるので審美性に劣る。
- × b 生体親和性はインプラント体の材質に依存し、上部構造（スクリー固定式あるいはセメント固定式）の装着法に左右されない。
- × c スクリー固定式の場合でも患者自身で上部構造の着脱は不可能なので、患者による清掃性に優れるわけではない。
- d スクリー固定式は術者による上部構造の着脱性に優れる。セメント固定式では仮着用セメントを用いることもあるが、着脱性に優れるわけではない。

**ポイント**

<インプラントの固定方法>

スクリー固定式	利点	着脱が可能であり修理が容易
	欠点	アクセスホールによる審美障害
セメント固定式	利点	審美性に優れる（=アクセスホールがない）
	欠点	着脱が困難

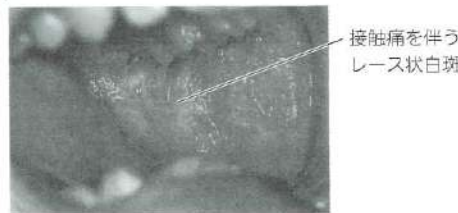
(問題 49) 59歳の女性。左側頬粘膜部の違和感と接触痛を主訴として来院した。半年前から自覚していたという。生検時の病理組織検査で、上皮直下に帯状のリンパ球浸潤が認められた。初診時の口腔内写真（別冊午後No.16）を別に示す。

- 考えられるのはどれか。1つ選べ。
- a 天疱瘡  
b 白板症  
c 扁平苔癬  
d 口腔カンジダ症

別冊 午後 No.16 写真

**選択肢考察**

答え c



- × a 天疱瘡は上皮内水疱を特徴とする自己免疫疾患である。一見正常な皮膚・粘膜を擦過すると、容易に剥離するニコルスキー現象がみられる。
- × b 白板症は舌、歯肉などに好発する。擦過によって除去できない板状あるいは斑状の白色病変である。
- c 扁平苔癬は慢性炎症性角化病変で、頬粘膜に好発する。接触痛を伴うレース状白斑がみられる。病理組織

検査で上皮直下に帯状のリンパ球浸潤がみられる。  
× d 急性偽膜性口腔カンジダ症では、擦過すると白斑は除去できる。

**ポイント**

<口腔粘膜の白色病変>

白板症	白斑（拭い取れない）。頬粘膜、舌、歯肉に好発。高齢者に多い。
カンジダ症	灰白色の偽膜（拭い取れる）。原因は真菌による感染。免疫低下、抗真菌薬の長期投与による菌交代症が誘因。日和見感染。AIDSでの口腔内症状。
扁平苔癬	女性に多い。紅斑と白斑の混在。頬粘膜に好発。両側性。接触痛。難治性。金属アレルギーとの関連があるともいわれている。

(問題 50) 24歳の女性。下唇の腫瘍を主訴として来院した。1か月前から気付いていたが疼痛がないため放置していたという。初診時の口腔内写真（別冊午後No.17）を別に示す。

- 考えられるのはどれか。1つ選べ。
- a 血管腫  
b 粘液嚢胞  
c エプーリス  
d アフタ性口内炎

別冊 午後 No.17 写真

**選択肢考察**

答え b



- × a 舌や口唇にみられる無痛性の腫瘍で、赤紫色、暗紫色を呈し、圧迫すると退色する。
- b 唾液腺に由来する嚢胞で、唾液腺排泄管の損傷や閉鎖による唾液の流出障害によって生じ、下口唇に好発する。軟組織に発生する嚢胞である。
- × c エプーリスは歯肉に限局して発生する間葉系の腫瘍で、腫瘍類似疾患の1つである。歯原性腫瘍ではない。
- × d アフタ性口内炎は口唇、舌、頬粘膜などに好発し、疼痛を伴う。

**ポイント**

<軟組織に発生する嚢胞>

鼻歯嚢胞、粘液嚢胞、頬皮嚢胞、頬表皮嚢胞、鱈嚢胞、粘液貯留嚢胞（粘液瘤）、ガマ腫（ラヌーラ）、甲状舌管嚢胞

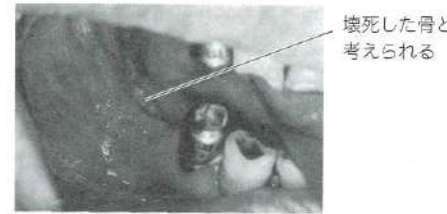
(問題 51) 72歳の男性。咽頭部扁平上皮癌のため入院加療中である。下顎左側歯槽部の強い疼痛を訴えているため、口腔健康管理を依頼された。初診時の口腔内写真（ミラー像）（別冊午後No.18）を別に示す。

- 周術期の口腔健康管理で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 硬い歯ブラシを使用する。  
b 口腔ケアは含嗽だけを行う。  
c 低刺激の歯磨剤を使用する。  
d 辛味や酸味のある食べ物は避ける。

別冊 午後 No.18 写真

**選択肢考察**

答え c d



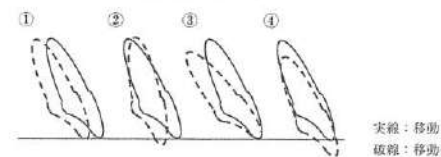
- × a、○ c 低刺激の歯磨剤を用いてやわらかい歯ブラシで歯磨きをする。
- × b 含嗽だけでは口腔内を清潔に保てないので、患部以外のブラッシングは必要である。
- d 粘膜への刺激が強い辛味、酸味、熱すぎる食べ物は避ける。

**ポイント**

<周術期の口腔健康管理>

- ・低刺激の歯磨剤を用いてやわらかい歯ブラシで歯磨きをする。
- ・アルコールを含まない含嗽薬で粘膜への刺激を抑えながら清潔を保つ。
- ・保湿ジェルや人工唾液を使って乾燥を防ぎ、粘膜保護フィルムや軟膏（アズレン、ステロイド含有など）で炎症を軽減する。
- ・辛味、酸味、熱すぎる食べ物は避ける。冷たいプリンやヨーグルトなどは粘膜への刺激が少ない。
- ・摂食嚥下が困難な場合にはゼリー飲料や高カロリー補助食品で栄養補給を行う。

(問題 52) 歯の移動様式を図に示す。



歯の移動はどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

**選択肢考察**

答え a

- a ①は歯が平行に移動しているので、歯体移動である。
- × b ②は歯根の根尖側 1/3 付近を回転中心として歯が舌側に傾斜しているので、傾斜移動である。
- × c ③は歯冠部を回転中心として歯根が舌側に回転しているので、トルクである。
- × d ④は歯槽から抜け出る方向へ歯が移動しているので、挺出である。

**ポイント**

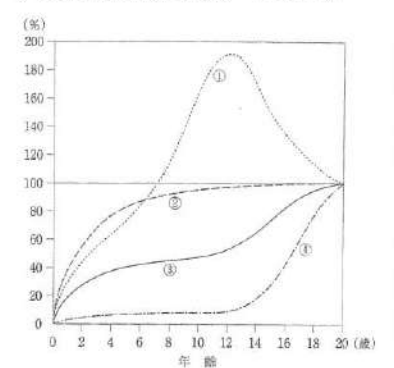
<歯の移動様式>

- ・圧下
- ・回転
- ・挺出
- ・トルク
- ・傾斜移動
- ・歯体移動

(問題 53) Scammonの発育曲線を図に示す。

③の発育パターンに属するのはどれか。1つ選べ。

- a 下顎骨  
b 蝶形骨  
c 前頭骨  
d 側頭骨



**選択肢考察**

答え a

- a ③は一般型である。顔面頭蓋の1つである下顎骨は一般型の発育パターンに属する。
- × b、× c、× d 蝶形骨、前頭骨、側頭骨は脳頭蓋に含まれている。脳頭蓋は神経型（②）の発育パターンに属する。

**ポイント**

<Scammonの発育曲線>

- ①：リンパ型
- ②：神経型
- ③：一般型
- ④：生殖器型

(問題 54) 平行模型について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a Angleの不正咬合の分類ができる。  
b 上下顎骨の前後的位置関係を評価できる。  
c 基底面をフランクフルト平面と平行とする。  
d アーチレングスディスクレパンシーを分析できる。

**選択肢考察**

答え a d

- a 平行模型では上下顎第一大臼歯の咬合関係からAngleの不正咬合の分類ができる。
- × b 上下顎骨の前後的位置関係を評価できるのは顎態模型である。
- × c 基底面をフランクフルト平面と平行とするのは顎態模型である。
- d 平行模型ではアーチレングスディスクレパンシーを分析できる。

**ポイント**

<平行模型>

- ・模型の基底面を咬合平面と平行にする。
- ・口蓋縫線を正中の目安とする。

- ・歯肉頬移行部まで明瞭に再現するように印象採得して製作する。
- ・上下顎第一大臼歯の前後的位置関係やオーバーバイト、オーバージェットなどが評価できる。
- ・咬合平面の傾斜度や上下顎骨の前後的位置関係は評価できない。

**(問題 55)** 8歳の男児。前歯の反対咬合を主訴として来院した。前歯の被蓋改善のためある矯正装置を製作することとした。製作途中の口腔内写真(別冊午後No.19)を別に示す。

考えられる製作はどれか。1つ選べ。

- a ヘッドギア
- b アクチバトール
- c リンガルアーチ
- d マルチブラケット装置

別冊 午後 No.19 写真

選択肢考察

答え c



側切歯の舌側転位  
第一大臼歯にバンドが試戴されている

- × a ヘッドギアは上顎前突の症例に使用する。
- × b アクチバトールは反対咬合に使用することはあるが、矯正用バンドは用いない。
- c リンガルアーチは補助弾線により前歯を唇側移動させることができる装置であり、バンドにより第一大臼歯に装着する。
- × d マルチブラケット装置は被蓋改善が可能であるが、永久歯列期に用いる。歯間部の閉鎖など混合歯列期の永久歯に部分的に用いることはあるが、本症例の被蓋改善にバンドとともに適用するとは考えられない。

ポイント

<リンガルアーチの構成要素>

- ・維持バンド
- ・維持装置
- ・主線(直径0.9mm)
- ・補助弾線(直径0.5mm)

**(問題 56)** 3歳の男児。前歯部の変色を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後No.20)を別に示す。考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 母体の梅毒感染
- b フッ化物の過剰摂取
- c 哺乳ピンの不適切な使用
- d 遺伝性エナメル質形成不全症

別冊 午後 No.20 写真

選択肢考察

答え c



D+Dの唇・頬側面のう蝕である  
第二乳臼歯にはう蝕はみられない

- × a 母体の梅毒感染では先天性梅毒がみられる。先天性梅毒では、Hutchinson 歯(前歯切縁の半月状欠損)や桑実状臼歯がみられる。
- × b フッ化物の過剰摂取では歯のフッ素症(斑状歯)がみられる。歯のフッ素症は乳歯にはまれである。
- c 口腔内写真をみると、前歯から第一乳臼歯の唇・頬面の広範囲う蝕であり、哺乳ピンの不適切な使用が考えられる。
- × d 遺伝性エナメル質形成不全症では、全顎的にエナメル質の形成不全が生じる。

ポイント

<哺乳う蝕>

離乳時期を過ぎても長期にわたり就寝時に母乳を与えたり糖質含有飲料を哺乳ビンで与えるなど、不適切な哺乳によって発生した重度のう蝕を哺乳う蝕という。上顎乳前歯唇側や舌側、上顎第一乳臼歯頬側や咬合面などに好発する。なお、哺乳ピンの使用によって生じるものを哺乳ビンう蝕といい、範囲や進行度は飲料中の糖分量や酸性度などに影響される。

**(問題 57)** 生後6週の乳児。哺乳困難を主訴として保護者と来院した。1週間前から哺乳を嫌がるという。初診時の口腔内写真(別冊午後No.21)を別に示す。

舌下部の病変で考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a ヘルパンギーナ
- b Koplik(コプリック)斑
- c Bedner(ベドナー)アフタ
- d Riga-Fede(リガフェデー)病

別冊 午後 No.21 写真

選択肢考察

答え d



先天性に一致した舌下面に潰瘍がみられる

- × a ヘルパンギーナはコクサッキーウイルス A4 が原因で生じ、咽頭部に小水疱がみられる。
- × b Koplik(コプリック)斑は麻疹が原因で生じ、頬粘膜にみられる灰白色斑である。
- × c Bedner(ベドナー)アフタは口蓋部に生じる外傷性潰瘍である。
- d 生後6週で歯が萌出しており先天性と考えられる。哺乳時に先天性歯が舌下面に擦れることで舌下面に潰瘍が生じた Riga-Fede(リガフェデー)病と考えられる。

ポイント

<Riga-Fede 病と Bedner アフタ>

乳児にみられる外傷性潰瘍であり、どちらも哺乳に関連する。

Riga-Fede病	先天性歯が原因で舌下面に生じる潰瘍
Bednerアフタ	哺乳ピンの乳首などが原因で口蓋部に生じる潰瘍

**(問題 58)** 加齢に伴う変化で誤嚥リスク増加と直接関連があるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯髄腔の狭窄
- b 下顎頭の平坦化
- c 甲状軟骨の下降
- d 口腔粘膜の菲薄化

選択肢考察

答え c

- × a 歯髄腔の狭窄は加齢に伴う変化であるが、誤嚥リスク増加と直接関連があるとはいえない。
- × b 下顎頭の平坦化は加齢に伴う変化であるが、誤嚥リスク増加と直接関連があるとはいえない。
- c 加齢に伴う変化で甲状軟骨の下降が生じるため、高齢者では嚥下が困難となり誤嚥リスクが増加する。
- × d 口腔粘膜の菲薄化は加齢に伴う変化であるが、誤嚥リスク増加と直接関連があるとはいえない。

ポイント

<誤嚥リスク増加に直接関連する加齢に伴う変化>

- ・甲状軟骨(喉頭)の下降
- ・咽頭収縮筋の収縮力低下

**(問題 59)** 認知症で最も多いのはどれか。1つ選べ。

- a 脳血管性認知症
- b 前頭側頭型認知症
- c レビー小体型認知症
- d アルツハイマー型認知症

選択肢考察

答え d

- × a、× b、× c、○ d 認知症で最も多いのは、アルツハイマー型認知症で約6割とされており、次いで脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症とされている。

ポイント

<4大認知症の特徴>

脳血管性認知症	脳梗塞などの脳血管疾患に関連し発症する。
前頭側頭型認知症	言葉が出ない、行動や気分の変化などがみられる。
レビー小体型認知症	意識の変動、幻視、パーキンソン症状などがみられる。
アルツハイマー型認知症	進行は緩徐であるが、初期から記憶障害が生じやすい。

**(問題 60)** 経鼻経管栄養について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 3か月程度でチューブを交換する。
- b 腸管が使用できる場合に適用する。
- c チューブ先端を噴門前に留置する。
- d 留置のための外科的処置を必要としない。

選択肢考察

答え b d

- × a 経鼻経管栄養では1か月程度でチューブを交換する。
- b 経鼻経管栄養は経腸栄養であり、腸管が使用できる場合に適用する。
- × c 経鼻経管栄養ではチューブ先端を胃や小腸に留置する。
- d 経鼻経管栄養は胃瘻と異なり、留置のための外科的処置を必要としない。

ポイント

<経鼻経管栄養>

- ・経腸栄養の1つである。
- ・チューブ先端を胃に留置する経鼻胃管法を用いることが多いが、経鼻十二指腸管法や経鼻空腸管法もある。
- ・1か月程度の短期使用に適しており、長期に使用する必要がある場合には胃瘻がよい。

**(問題 61)** 85歳の男性。訪問歯科診療の依頼があった。長期の喫煙歴がある。訪問時の患者の写真(別冊午後No.22)を別に示す。

既往歴として最も疑われるのはどれか。1つ選べ。

- a 糖尿病
- b 摂食嚥下障害
- c パーキンソン病
- d 慢性閉塞性肺疾患

別冊 午後 No.22 写真

選択肢考察

答え d



在宅酸素療法の鼻カニューレを装着している

- × a 糖尿病は空腹時血糖上昇やHbA1cの上昇などがみられる。
- × b 高齢者であり摂食嚥下障害の可能性はあるが、喫煙歴や写真から最も疑われるとはいえない。
- × c パーキンソン病は運動緩慢や安静時振戦、筋強剛などがみられる。
- d 長期の喫煙歴があり、在宅で酸素療法を行っているため、慢性閉塞性肺疾患が最も疑われる。

ポイント

<慢性閉塞性肺疾患(COPD)>

- ・長期の喫煙習慣が原因となる。
- ・中年以降に発症しやすい生活習慣病である。
- ・呼吸困難や慢性的な咳、痰を特徴とする。

**(問題 62)** 染色体異常で生じるのはどれか。2つ選べ。

- a ダウン症候群
- b ターナー症候群
- c ラムゼーハント症候群
- d プランマー・ピンソン症候群

選択肢考察 答え a b

- a ダウン症候群は 21 番染色体の過剰で生じる症候群である。
- b ターナー症候群は性染色体の異常で生じる症候群である。
- × c ラムゼーハント症候群は水痘・帯状疱疹ウイルスが原因で生じる症候群である。
- × d ブランマー・ピンソン症候群は鉄欠乏性貧血でみられる症候群である。

ポイント <代表的な染色体異常>

- ・ 5p- 症候群
- ・ ダウン症候群
- ・ ターナー症候群
- ・ クラインフェルター症候群

(問題 63) クリニカルアタッチメントレベルで判断できるのはどれか。1つ選べ。

- a 付着歯肉の幅
- b 結合組織性付着量
- c 歯周組織の破壊程度
- d ポケット底部の炎症の有無

選択肢考察 答え c

- × a 付着歯肉の幅はポケット底から歯肉歯槽粘膜境までの距離である。クリニカルアタッチメントレベルで判断できない。
- × b 結合組織性付着量を臨床的に測定することはできない。
- c クリニカルアタッチメントレベルは歯周組織の破壊程度(歯周組織の付着状態の変化)を判断するための指標である。
- × d ポケット底部の炎症の有無はクリニカルアタッチメントレベルで判断できない。

ポイント <クリニカルアタッチメントレベルとプロービング深さ> クリニカルアタッチメントレベルは、常に一定なセメントエナメル境からポケット底までの距離を歯周プローブで測定したものである。

プロービング深さは、不安定な歯肉辺縁からポケット底までの距離である。そのため、プロービング深さと比較してクリニカルアタッチメントレベルのほうが歯周組織の破壊の程度(歯周組織の付着状態の変化)をより正確に把握することができる。

(問題 64) 下顎右側小白歯部のエックス線画像(別冊午後 No.23)を別に示す。

- 画像から認められるのはどれか。2つ選べ。
- a う蝕
  - b 歯根嚢胞
  - c 歯石の付着
  - d 歯槽硬線の消失

別冊 午後 No.23 写真

選択肢考察 答え a d



- a 補綴装置のマージン部に二次う蝕がみられる。
- × b 歯根嚢胞は根尖部の境界明瞭な透過像として観察できる。このエックス線画像では歯根嚢胞は観察できない。
- × c 歯石が沈着していると歯根が粗造に観察できる。このエックス線画像では歯石の付着は観察できない。
- d 歯根の周囲に歯根嚢胞の拡大がみられ、歯槽硬線が消失している。

ポイント <歯根嚢胞の拡大>

咬合性外傷や歯根破折などが疑われる。

(問題 65) う蝕の第二次予防はどれか。2つ選べ。

- a 予防填塞
- b フリッジ装着
- c コンポジットレジン修復
- d フッ化ジアンミン銀塗布

選択肢考察 答え c d

- × a 予防填塞はう蝕の第一次予防である。
- × b フリッジ装着などの補綴処置はう蝕の第三次予防である。
- c コンポジットレジン修復はう蝕の第二次予防である。
- d フッ化ジアンミン銀塗布はう蝕に対してう蝕進行抑制を目的として応用されるため、う蝕の第二次予防である。

ポイント <う蝕の予防レベル>

	健康増進	栄養指導など
第一次予防	特異的防御	フッ化物歯面塗布、小窩裂溝填塞など
第二次予防	早期発見・即時処置	精密検査、フッ化ジアンミン銀塗布など
第三次予防	機能障害の防止	歯内治療、修復、拔牙など
	リハビリテーション	クラウン装着など

(問題 66) 歯周炎の増悪因子はどれか。2つ選べ。

- a 根面溝
- b 中心結節
- c エナメル突起
- d カラベリー結節

選択肢考察 答え a c

- a 根面溝の存在によりプラークが蓄積し歯周炎が増悪する。
- × b 中心結節は歯周炎の増悪因子ではない。なお、中心結節の破折により歯髄炎に罹患することがある。

- c エナメル突起の存在により、根分岐部病変が進行しやすい。
- × d カラベリー結節は上顎第二乳臼歯や第一大臼歯の近心舌側咬頭舌側に出現する。歯周炎の増悪因子ではない。

ポイント <根分岐部病変の増悪因子>

根分岐部病変とは複根歯の根間隔の歯周組織が破壊された状態であり、根分岐部病変の進行に關する因子としてエナメル突起や歯根面の陥凹(根面溝)などが挙げられる。

(問題 67) 頭頸部腫瘍の放射線治療によってう蝕のリスクが増加する理由は何ですか。1つ選べ。

- a 白血球の減少
- b 不潔域の増加
- c 歯質の耐酸性低下
- d 唾液分泌量の減少

選択肢考察 答え d

- × a 放射線治療により白血球の減少が生じるが、う蝕のリスクが増加する理由ではない。
- × b 放射線治療により不潔域が増加するとは考えられない。
- × c 放射線治療により歯質の耐酸性が低下するとは考えられない。
- d 放射線治療により唾液分泌量の減少が生じることで、う蝕のリスクが増加する。

ポイント <頭頸部腫瘍の放射線治療後に出現しやすい口腔症状>

頭頸部腫瘍の放射線治療を行うと、唾液分泌量が減少してう蝕リスクが高まる。唾液分泌量減少だけではなく、口内炎や粘膜潰瘍、味覚障害なども出現する。また、長期的には骨髄炎、骨壊死などが生じるリスクもある。

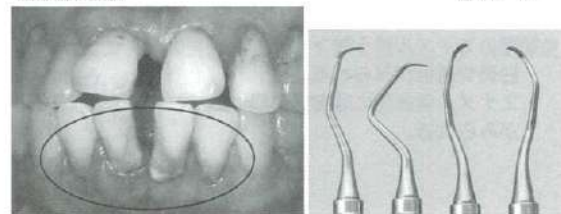
次の文を読み、(問題 68)、(問題 69)に答えよ。71歳の女性。歯肉の腫れを主訴として来院した。口腔清掃指導とスクレーリング後にSRPを行うことになった。口腔内写真(別冊午後 No.24A)とグレーシータイプキュレットの写真(別冊午後 No.24B)を別に示す。

別冊 午後 No.24A、B 写真

(問題 68) 丸印で囲んだ部位に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

選択肢考察 答え a



下顎前歯部に歯石が付着

- a ①は #5/6 であり、前歯部、小白歯部に用いる。写真の丸印の部位は下顎前歯部であるため、適切である。
- × b ②は #9/10 であり、臼歯部頬舌側面に用いる。
- × c ③は #11/12 であり、臼歯部近心面に用いる。
- × d ④は #13/14 であり、臼歯部遠心面に用いる。

(問題 69) 術後に生じやすいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯の変色
- b 歯肉の退縮
- c 歯槽骨の吸収
- d 象牙質知覚過敏症

選択肢考察 答え b d

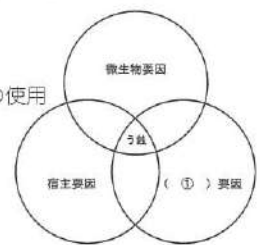
- × a スクレーリングや SRP 後に歯の変色が生じるとは考えられない。
- b SRP によって歯肉の炎症が消滅することにより、歯肉の退縮が生じやすい。
- × c SRP 後に歯槽骨吸収が生じるとは考えられない。
- d スクレーリングや SRP により歯根面が露出すると、象牙質知覚過敏症が発症しやすい。

ポイント <SRP 後に生じやすい変化、症状>

歯肉の炎症が軽減して歯肉退縮が生じやすい。そのため、審美障害や象牙質知覚過敏症などを訴えることがある。

(問題 70) Keyesの3つの輪を図に示す。

- ①の要因に対する予防はどれか。1つ選べ。
- a PMTC
  - b 小窩裂溝填塞
  - c 間食回数の制限
  - d フッ化物配合歯磨剤の使用



選択肢考察 答え c

- × a PMTC は微生物要因に対する予防となる。
- × b 小窩裂溝填塞は宿主要因に対する予防となる。
- c ①は食餌要因である。間食回数の制限は食餌要因に対する予防であるため、これが正しい。
- × d フッ化物配合歯磨剤の使用は宿主要因に対する予防となる。

ポイント <Keyesの3つの輪>

口腔細菌と宿主・歯、発酵性糖質が同時に作用するとう蝕発生リスクが高くなることを説明するためにKeyesが提唱したものである。

(問題 71) 手用スケーラーと比べた超音波スケーラーの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 注水下で用いる。
- b 歯根面の損傷が少ない。
- c 歯石の触知が容易である。
- d 歯肉縁下には使用できない。

選択肢考察 答え a b

- a 超音波スケーラーは、振動によりチップが発熱するため注水下で冷却して用いる。
- b 手用スケーラーと比べて、超音波スケーラーは歯根面や周囲軟組織の損傷が少ない。
- × c 手用スケーラーと比べて、超音波スケーラーは歯肉縁下歯石などの触知に劣る。
- × d 超音波スケーラーは、手用スケーラーと同様に歯肉縁下に使用できる。

ポイント

<超音波スケーラー>

- ・キャビテーション効果がある
- ・チップは歯面に対して 15 度で使用する
- ・毎秒 25,000 ~ 50,000 回 (25 ~ 50kHz) 振動する
- ・患者の血液や唾液などの感染源がエアロゾルとなって空気中に浮遊しやすい。

(問題 72) PMTCでまず行うのはどれか。1つ選べ。

- a 研磨剤の塗布
- b 歯間部の清掃
- c フッ化物の塗布
- d プラークの染め出し

選択肢考察 答え d

- × a プラーク染色後に研磨剤を歯間部に塗布する。
- × b 歯間部の清掃は研磨剤塗布後である。
- × c フッ化物の塗布は歯面清掃・研磨後に行う。
- d PMTCでは、まず歯垢染色剤でプラークの染め出しを行う。

ポイント

<PMTC>

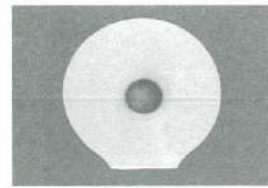
プラークを染め出した後、研磨剤を使用してラバーカップやエパチップ、ポリッシングブラシなどで歯面清掃・研磨を行う。最後に象牙質知覚過敏症や根面う蝕などの予防としてフッ化物の塗布を行う。

(問題 73) う蝕活動性試験の結果の写真(別冊午後No.25)を別に示す。

- この試験で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 試験当日に判定できる。
  - b 唾液を検体として用いる。
  - c 今回の結果は Low と判定する。
  - d ミュータンスレンサ球菌数を測定できる。

別冊 午後 No.25 写真

選択肢考察 答え a b



RD テスト®

- a RD テスト® は試験当日に判定できる。
- b RD テスト® は唾液を検体として用いる。
- × c RD テスト® で Low と判定するのは青色の場合である。
- × d RD テスト® はレサズリン還元性菌の活性を測定するものであり、ミュータンスレンサ球菌数を選択的に測定することはできない。

ポイント

<RD テスト®>

- ・微生物因子を判定するものであり、唾液を検体とする。
- ・体温を利用して 15 分で判定することが可能である。
- ・判定は色調変化で行い、青色 (Low)、紫色 (Middle)、ピンク色 (High) と目視判定する。

(問題 74) 8歳の男児。上顎前歯の変色を主訴として来院した。診察の結果、実質欠損はなかった。初診時の口腔内写真(別冊午後No.26)を別に示す。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a フッ化物洗口
- b フッ化ジアンミン銀溶液塗布
- c フッ化物配合歯磨剤利用の推奨
- d フッ化物含有セメントによる小窩裂溝充填

別冊 午後 No.26 写真

選択肢考察 答え a c



歯頸部が白色に変色している

- a フッ化物洗口は 4 歳以降のう蝕予防として有効である。
- × b フッ化ジアンミン銀溶液はう蝕進行抑制薬として乳歯う蝕に塗布する。歯質が黒変するため、審美障害を訴える可能性がある。
- c う蝕予防としてフッ化物配合歯磨剤利用が推奨される。
- × d フッ化物含有セメントによる小窩裂溝充填塞は歯頸部には適切といえない。

ポイント

<初期のエナメル質う蝕>

- ・白斑や着色がみられる。
- ・エナメル質表面には実質欠損はみられず、表層下脱灰がみられる。

(問題 75) フッ化物歯面塗布と比較したフッ化物洗口の利点はどれか。2つ選べ。

- a 費用対効果に優れる。
- b 低年齢児へ適用できる。
- c コミュニティケアが可能である。
- d フッ化物配合歯磨剤と併用できる。

選択肢考察 答え a c

- a フッ化物洗口は方法が簡便で比較的安価であり、フッ化物の局所応用法のなかで費用対効果に最も優れている。
- × b フッ化物洗口は、洗口ができる年齢にならないと適用できず、フッ化物歯面塗布のほうが低年齢児へ適用できる。
- c フッ化物洗口は家庭におけるセルフケアだけでなく、学校などでのコミュニティケアが可能である。
- × d フッ化物歯面塗布とフッ化物洗口はどちらもフッ化物配合歯磨剤と併用できる。フッ化物洗口の利点とはいえない。

ポイント

<フッ化物洗口>

- ・フッ化物洗口は家庭や学校などで行われるものであり、集団に適用しやすい。
- ・フッ化物の局所応用法のなかで費用対効果に最も優れている。ただし、洗口が不可能な低年齢児には適用できない。

(問題 76) フッ化物応用法とフッ素濃度との組み合わせで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 歯磨剤 ————— 9,000ppm
- b 歯面塗布 ————— 900ppm
- c 洗口週 1 回法 ——— 450ppm
- d 洗口週 5 回法 ——— 250ppm

選択肢考察 答え d

- × a 歯磨剤に用いるフッ化物のフッ素濃度の上限は 1,500ppm である。
- × b 歯面塗布によく用いられているのは 2% フッ化ナトリウムや酸性フッ素リン酸溶液であるが、これらのフッ素濃度は 9,000ppm である。
- × c 洗口週 1 回法は 0.2% フッ化ナトリウムを用いるが、フッ素濃度は 900ppm である。
- d 洗口毎日法は学校などで行う場合は週 5 回法という。0.05 ~ 0.1% フッ化ナトリウムを用いるが、フッ素濃度は 225 ~ 450ppm である。

ポイント

<フッ化物の局所応用>

歯質へフッ素が取り込まれることによりフルオロアパタイトが生成されるため、歯質の耐酸性が向上する。なお、フッ化物歯面塗布では高濃度のフッ化物を適用するため、エナメル質表面にはまずフッ化カルシウムが形成される。

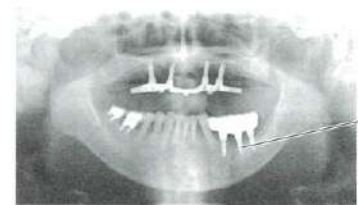
(問題 77) 64歳の男性。定期検診のため来院した。歯科医師から根面う蝕予防を目的としたフッ化物歯面塗布を指示された。来院時のエックス線画像(別冊午後No.27)を別に示す。

使用するのはいずれか。1つ選べ。

- a APF ゲル
- b NaF 溶液
- c Na<sub>2</sub>PO<sub>3</sub>F
- d SnF<sub>2</sub> 溶液

別冊 午後 No.27 写真

選択肢考察 答え b



インプラント

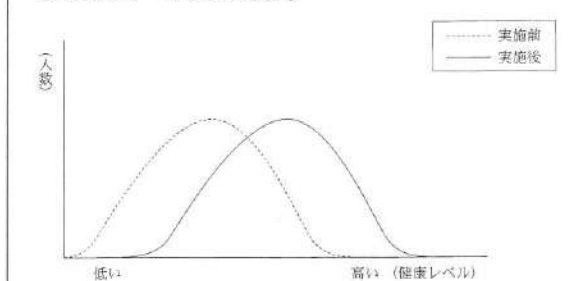
- × a、○ b、× d エックス線画像をみると、下顎左側臼歯部などにインプラントが埋入されている。したがって、フッ化物歯面塗布には中性の NaF (フッ化ナトリウム) 溶液を用いるのがよい。SnF<sub>2</sub> (フッ化第一スズ) 溶液や APF (リン酸酸性フッ化ナトリウム) ゲルは酸性を示すため、不向きである。
- × c Na<sub>2</sub>PO<sub>3</sub>F はモノフルオロリン酸ナトリウムである。フッ化物配合歯磨剤に配合されるフッ化物であり、フッ化物歯面塗布には使用しない。

ポイント

<フッ化物歯面塗布に用いる製剤>

- ・SnF<sub>2</sub> (フッ化第一スズ)
- ・NaF (フッ化ナトリウム)
- ・APF (リン酸酸性フッ化ナトリウム)

(問題 78) 歯科保健活動による小学校全児童の健康レベルの変化パターンを別に示す。



実施したのはどれか。2つ選べ。

- a う蝕のある児童への治療勧告
- b フッ化物配合歯磨剤の使用の推奨
- c 児童の保護者を対象とした食育教室
- d う蝕活動性の高い児童を対象とした歯磨き指導

選択肢考察 答え b c

図を見ると全児童の健康レベルが高くなっているため、ポピュレーションアプローチを示している。  
× a う蝕のある児童への治療勧告はハイリスクアプローチである。



○d 「CO」の記載があるため、う蝕予防策としてフッ化物配合歯磨剤の使用を勧めるのは正しい。

ポイント

<学校歯科健康診断の実施事項>

歯列・咬合・顎関節の状態	0	異常なし	
	1	開口時に顎の偏位など顎関節に異常あり、軽度の不正咬合	
	2	顎関節雑音、顎の偏位、開口障害など、開口障害あり	
歯垢の状態	0	歯垢を認めない	
	1	歯面1/3以上の歯垢、清掃指導を要する者	
歯肉の状態	0	歯肉に炎症なし	
	1	軽度の歯肉炎、定期的な観察が必要な者	
歯式	0	軽度歯肉炎、定期的な観察が必要な者	
	2	歯科医師による診断が必要な歯周疾患が認められる者	
歯式現在歯	0	軽度歯肉炎、定期的な観察が必要な者	
	1	歯科医師による診断が必要な歯周疾患が認められる者	
学校歯科医所見	CO	要観察歯	
	GO	歯周疾患要観察者	
G	歯科医師による診断と治療が必要な歯周疾患		
	ZS	歯石沈着	

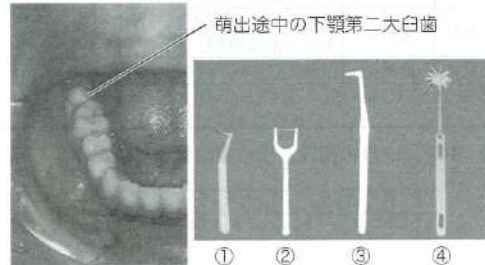
(問題 85) 13歳の男子。定期健診のために来院した。来院時の口腔内写真(別冊午後No.31A)と口腔清掃用具の写真(別冊午後No.31B)を別に示す。

下顎右側第二大臼歯の清掃に適するのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.31A,B 写真

選択肢考察 答え c



- × a ①は歯間ブラシである。鼓形空隙やポンティック基底面の清掃に用いる。
- × b ②はホルダー付きフロスである。隣接面の清掃に用いる。
- c ③はタフトブラシである。写真のような萌出途中歯の咬合面、最後臼歯の遠心面、叢生歯の唇側面、ポンティック基底面の清掃に適している。
- × d ④はくるりブラシである。頬側や唇側の口腔前庭、口蓋、舌などの口腔粘膜や口腔内の食物残渣・痰を清掃するための専用ブラシである。

ポイント

<タフトブラシの適応部位>

最後臼歯の遠心面、叢生歯の唇側面、上顎臼歯の頬側遠心面、萌出途中歯の咬合面、インプラント上部構造の周囲、ポンティック基底面、ワイヤーで固定中の歯など。

(問題 86) 嚥下障害のある患者の食事で、「とろみ」をつけるために添加するのはどれか。2つ選べ。

- a 卵白  
b 片栗粉  
c 植物油  
d ゼラチン

選択肢考察 答え b d

× a、× c 卵白や植物油を加えても「とろみ」はつかない。

○ b、○ d 「とろみ」をつけるためには、片栗粉、ゼラチン、くず粉のいずれかを加える。

ポイント

<誤嚥、誤飲しにくい飲食物>

柔らかくてつぶれやすいもの	プリン、ゼリー、豆腐、茶碗蒸し、ポタージュなど。
喉ごしが良いもの	ヨーグルト、アイスクリーム、りんごコンポートなど。
流れがゆっくりのもの	とろみをつけた飲み物やスープなど。

(問題 87) ビタミンと生理作用の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ビタミンA —— 嗅覚閾値の低下  
b ビタミンD —— カルシウム吸収の促進  
c ビタミンE —— 脂質の酸化防止  
d ビタミンK —— 血栓の溶解

選択肢考察 答え b c

× a ビタミンAはエナメル芽細胞の分化と機能維持に関与する。欠乏すると、これらの細胞が萎縮・変性し、エナメル質形成不全が起こる。

○ b ビタミンDはリンおよびカルシウムの吸収を促進し、リン酸カルシウムの骨への蓄積を促進する。欠乏するとくる病や骨粗鬆症となる。

○ c ビタミンEは抗酸化剤として働き、不飽和脂肪酸の酸化を防止する。

× d ビタミンKは肝臓におけるプロトロンビン生成に関与する。プロトロンビンは血液凝固因子であり、ビタミンKが欠乏すると出血傾向を示す。

ポイント

<ビタミン欠乏症>

ビタミンA欠乏症	夜盲症、エナメル質形成不全など
ビタミンB <sub>2</sub> 欠乏症	口内炎、口角炎など
ビタミンB <sub>12</sub> 欠乏症	巨赤芽球性貧血
ビタミンC欠乏症	壊血病
ビタミンD欠乏症	くる病(乳幼児)、骨軟化症(成人)
ビタミンE欠乏症	動脈硬化、貧血
ビタミンK欠乏症	出血傾向
ナイアシン欠乏症	ペラグラ
葉酸欠乏症	巨赤芽球性貧血 *妊娠中に葉酸欠乏すると、胎児の神経管発育不全がみられる。

(問題 88) 50人の保育園児の歯科健康診断を行った。結果を保護者に示すためのパンフレット作成を依頼された。適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 園児の氏名と結果を示す。  
b う蝕有病者率を円グラフで示す。  
c DMF 歯率を折れ線グラフで示す。  
d 年齢別の未処置歯数をヒストグラムで示す。

選択肢考察 答え b d

× a 園児の氏名と結果を示すのはプライバシーの侵害である。

○ b う蝕有病者率などの割合を示すのに円グラフは適している。

× c 50人のDMF 歯率の割合を示すのに折れ線グラフは適していない。

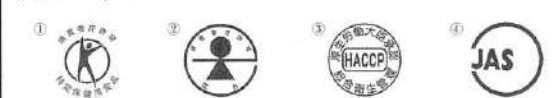
○ d 年齢別の未処置歯数といった度数分布をヒストグラムで示すのは適切である。

ポイント

<ヒストグラム>

集めたデータを区間ごとに区切り、各区間にどのくらいの個数のデータが属するか(度数分布)を表した柱状のグラフである。

(問題 89) 食品に表示されているマークを示す。



保健機能食品に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え a

○ a ①は特定保健用食品の表示マークである。保健機能食品に該当するのは、特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品の3つである。

× b ②は特別用途食品の表示マークである。病者用食品は特別用途食品の1つである。

× c ③はHACCP(ハザップ)の表示マークである。「Hazard(危害)」、「Analysis(分析)」、「Critical(重要)」、「Control(管理)」、「Point(点)」の5つの単語の頭文字に由来する。消費者に安全な食品を提供する上で欠かせない衛生管理の手法である。

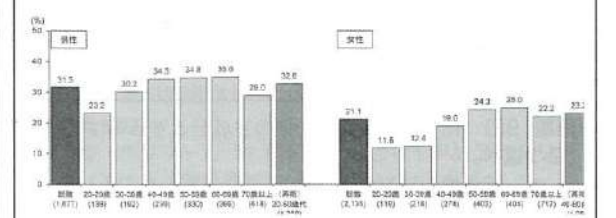
× d ④はJAS法の表示マークである。JAS法は「日本農林規格等に関する法律」の通称であり、日本の国家規格の1つである。

ポイント

<保健機能食品>

特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品の3つ。

(問題 90) 令和5年国民健康・栄養調査の結果を図に示す。



グラフが表しているのはどれか。1つ選べ。

- a 肥満者の割合  
b やせの者の割合  
c 習慣的に朝食を欠食する者の割合  
d 体重管理を心がけている者の割合

選択肢考察 答え a

○ a、× b、× c、× d 男性31.5%、女性21.1%であり、男性の20代、女性の20代、30代で少ないことから肥満者(BMI ≥ 25kg/m<sup>2</sup>)の割合と考えられる。

ポイント

<肥満及びやせの状況(国民健康・栄養調査の結果)>

肥満者(BMI ≥ 25kg/m<sup>2</sup>)の割合は男性31.5%、女性21.1%であり、この10年間でみると、女性では有意な増減はみられないのに対し、男性では平成25年から令和元年の間に有意に増加し、その後有意な増減はみられない。やせの者(BMI < 18.5kg/m<sup>2</sup>)の割合は男性4.4%、女性12.0%であり、この10年間でみると、女性では有意な増減はみられないのに対し、男性では平成25年から令和元年の間に有意に減少し、その後有意な増減はみられない。また、20~30歳代女性のやせの者の割合は20.2%である。

65歳以上の高齢者の低栄養傾向の者(BMI ≤ 20kg/m<sup>2</sup>)の割合は男性12.2%、女性22.4%であり、この10年間でみると男女とも有意な増減はみられない。年齢階級別にみると、男女とも85歳以上でその割合が最も高い。

(問題 91) 視覚障害者の誘導方法で正しいのはどれか。

2つ選べ。

- a 誘導者の肘を握ってもらう。  
b 誘導者が患者の半歩後ろを歩く。  
c 杖を持った手を引いて誘導する。  
d 杖を持たない腕が90度になるようにする。

選択肢考察 答え a d

○ a、× b 誘導者が患者の半歩先を歩くよう横並びに位置し、杖をもっていない手で誘導者の肘を握ってもらう。

× c 杖を持った手を引いて誘導するとかえって危ない。反対側の手を引いて誘導する。

○ d 患者の杖を持っていない腕が90度になるようにする。

ポイント

<視覚障害者の誘導方法>

- ①常に声をかけるようにする。  
②誘導者が患者の半歩先を歩くよう横並びに位置し、肘を握ってもらう。  
③患者の杖を持っていない腕が90度になるようにする。

- ④患者の身長が高いときには、誘導者の肩に手を置いてもらう。  
 ⑤通路が狭いときは、誘導者は患者の1歩前方に位置し左腕を後ろに回し患者に狭い場所であることを伝える。

**【問題 92】** ポリアクリル酸を液の主成分とするのはどれか。2つ選べ。

- a 接着性レジンセメント  
 b グラスアイオノマーセメント  
 c 酸化亜鉛ユージノールセメント  
 d ポリカルボキシレートセメント

**選択肢考察** **答え b d**

- × a 接着性レジンセメントには MMA 系とコンポジットレジン系があるが、液の成分はポリアクリル酸ではない。  
 ○ b グラスアイオノマーセメントの粉はアルミナシリケートガラスとフッ化カルシウム、液はポリアクリル酸である。  
 × c 酸化亜鉛ユージノールセメントの粉は酸化亜鉛、液はユージノールである。  
 ○ d ポリカルボキシレートセメントの粉は酸化亜鉛、酸化マグネシウム、液はポリアクリル酸である。

**ポイント**  
 <各種歯科用セメントの粉末と液体の成分>

合着材	粉末	液体
グラスアイオノマーセメント	アルミナシリケートガラス、フッ化カルシウム	ポリアクリル酸
ポリカルボキシレートセメント	酸化亜鉛、酸化マグネシウム	ポリアクリル酸

**【問題 93】** 仮封材の写真 (別冊午後No.32) を別に示す。この仮封材について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 温めて使用する。  
 b 練和すると硬化が始まる。  
 c 室内の湿気で硬化が始まる。  
 d 口腔内での硬化時間は約3分間である。

別冊 午後 No.32 写真

**選択肢考察** **答え c**



水硬性仮封材

- × a 写真は水硬性仮封材なので温めない。温めて使用するものは、テンポラリーストップピングである。  
 × b 練和する必要はないので便利である。  
 ○ c 空気中の湿気、唾液に触れると硬化する。使用後は容器内に湿気が入らないように密閉しなければならない。  
 × d 口腔内での硬化には約30分間かかる。したがって、30分間は封鎖性に欠けることになる。

**ポイント**

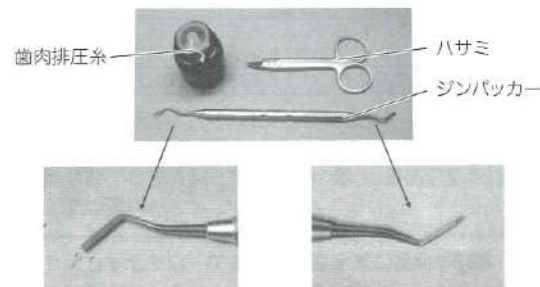
<水硬性仮封材>  
 室温ではパテ状。練和する必要はない。口腔内での硬化に約30分間かかる。

**【問題 94】** 印象採得時に用いる器具の写真 (別冊午後No.33) を別に示す。

- さらに準備するのはどれか。1つ選べ。  
 a EDTA  
 b アドレナリン  
 c フッ化ナトリウム  
 d 次亜塩素酸ナトリウム

別冊 午後 No.33 写真

**選択肢考察** **答え b**



写真は歯肉圧排の際に使用するジンパッカー、歯肉圧排糸、ハサミである。

- × a EDTA には無機質溶解作用があり、根管の機械的拡大に用いられる。印象採得時に用いるものではない。  
 ○ b アドレナリンは止血剤 (血管収縮薬) で歯肉圧排用綿糸に浸潤させる薬剤である。  
 × c フッ化ナトリウムは虫歯予防で使用されるフッ化物である。印象採得時に用いるものではない。  
 × d 次亜塩素酸ナトリウムは有機質溶解作用があり、根管清掃に用いられる。その他に消毒薬としても用いられる。印象採得時に用いるものではない。

**ポイント**

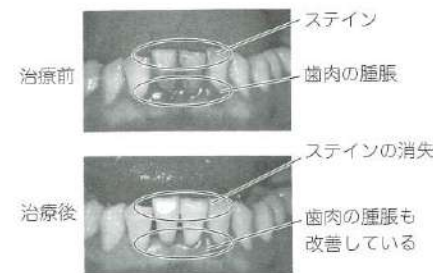
<歯肉圧排用綿糸に浸潤させる薬剤>  
 ・収斂剤: 塩化第二鉄、塩化アルミニウム、ミョウバン  
 ・止血剤 (血管収縮薬): アドレナリン

**【問題 95】** 55歳の女性。下顎側中切歯の変色を主訴として来院した。8か月前に事故で強打したという。治療前後の口腔内写真 (別冊午後No.34A、B) とエックス線画像 (別冊午後No.34C、D) とを別に示す。

- 行った処置はどれか。2つ選べ。  
 a 歯面の清掃  
 b ウォーキングブリーチ法  
 c オールセラミッククラウンの装着  
 d ポーセレンラミネートベニアの装着

別冊 午後 No.34A、B、C、D 写真

**選択肢考察** **答え a b**



- a 治療前に認められたステインが消失しているため、歯面清掃を行ったと考えられる。  
 ○ b 治療前の歯の変色が改善されている。歯冠部の根管充填材を除去して、失活歯の漂白 (ウォーキングブリーチ) を行ったと考えられる。  
 × c、× d 写真 D から支台歯形成を行った形跡はないので、オールセラミッククラウンやポーセレンラミネートベニアは装着していない。

**ポイント**

<ウォーキングブリーチ法の術式>  
 ・確実な根管充填および髄腔内の清掃  
 ・ラバーダム防湿  
 ・ガラス練板上で薬剤の緩和 (30%過酸化水素水+過ホウ酸ナトリウム)  
 ・薬剤の填塞  
 ・仮封 (水硬性セメントやカルボキシレートセメントを使用して2重仮封を行う)  
 \*以上の処置を1週間ごとに繰り返し、目標の色調に回復するまで繰り返す。

**【問題 96】** 65歳の女性。上顎前歯部の動揺を主訴として来院した。暫間固定後の口腔内写真 (別冊午後No.35) を別に示す。

- 使用したのはどれか。2つ選べ。  
 a リン酸  
 b クエン酸  
 c コンポジットレジン  
 d 接着性レジンセメント

別冊 午後 No.35 写真

**選択肢考察** **答え a d**



- a、× b エナメルボンドシステムなのでクエン酸 (象牙質処理材) は不要で、リン酸 (エナメル質処理材) が必要である。

- × c コンポジットレジンを使用していない。  
 ○ d 写真から MMA 系の接着性レジンセメントを使用して暫間固定を行っていることがわかる。

**ポイント**

<MMA系の接着性レジンセメントによる暫間固定で準備するもの>  
 粉 (ポリマー)、液 (モノマー)、カタリスト、リン酸 (エナメル質処理材)、筆、ティッシュなど。

**【問題 97】** 上下顎の印象採得時の嘔吐反射の防止策で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 鼻呼吸をさせる。  
 b 伝達麻酔を応用する。  
 c 下顎から印象採得を行う。  
 d 患者を水平位にして行う。

**選択肢考察** **答え a c**

- a 口呼吸ではなく、鼻呼吸をさせることは嘔吐反射の防止に役立つ。  
 × b 印象採得のために伝達麻酔を行うことはない。口蓋後方粘膜に表面麻酔を行うことはある。  
 ○ c 嘔吐反射の少ない下顎から印象採得を行う。  
 × d 患者を座位にして行う。水平位より印象材が口蓋後方に流れにくい。

**ポイント**

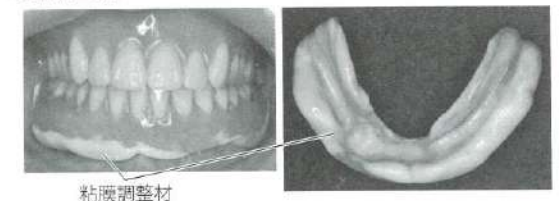
<印象採得時の嘔吐反射の防止策>  
 ①口蓋粘膜へ表面麻酔を行う。  
 ②嘔吐反射の少ない下顎から印象する。  
 ③上体を起こして、鼻呼吸をさせる。  
 ④印象材を硬く練和し、トレーに盛る量を少なくする。  
 ⑤患者と会話し、リラックスさせる。  
 ⑥頭部を前屈させる。

**【問題 98】** 70歳の男性。下顎義歯床下粘膜の疼痛を主訴として来院した。症状改善のためにある処置を行った。処置中の口腔内写真 (別冊午後No.36A) と処置後の義歯の写 (別冊午後No.36B) を別に示す。

- 患者指導について正しいのはどれか。1つ選べ。  
 a 1週間以内に来院してもらう。  
 b 6か月後のリコールに来院してもらう。  
 c 義歯用ブラシで床内面を磨いてもらう。  
 d 痛いときは床内面の材料をはがしてもらう。

別冊 午後 No.36A、B 写真

**選択肢考察** **答え a**



- a 写真は義歯床粘膜面に粘膜調整材 (ティッシュユコンディショナー) を盛っているところである。粘膜調整材は時間とともに劣化するので、1週間以内に来院するように指導する。

- × b まだリコールには入らず、治療は継続する。
- × c 義歯用ブラシで床内面を磨くと、粘膜調整材が剥がれてしまう。
- × d 痛いときは患者自身で義歯を調整するのではなく、来院してもらう。

ポイント

<粘膜調整後の患者指導>

粘膜調整材(ティッシュコンディショナー)は時間とともに劣化する→1週間以内に来院するように指導する。

(問題 99) 22歳の女性。上顎左側側切歯の違和感を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後No.37A)とエックス線画像(別冊午後No.37B)を別に示す。診断の結果、嚢胞摘出手術を行うことになった。

嚢胞摘出手術に用いる器具はどれか。2つ選べ。

- a 鋭匙
- b 骨鋸
- c 消息子
- d 骨膜剥離子

別冊 午後 No.37A,B 写真

選択肢考察

答え a d



- a エックス線画像から歯根嚢胞と考えられる。顎骨内に生じた嚢胞摘出術では、鋭匙を用いて不良肉芽組織を除去する。
- × b 骨鋸は骨を切断する際に用いる。嚢胞摘出術では用いない。
- × c 消息子とはソンドのことである。切開、排膿の際に準備する器具である。
- d 顎骨内に生じた嚢胞摘出術では、骨膜剥離子を用いて骨膜を剥離する。

ポイント

<顎骨内嚢胞摘出術での準備器具>

- ①基本セット
- ②局所麻酔器具一式
- ③メス
- ④骨膜剥離子、粘膜剥離子
- ⑤破骨鉗子
- ⑥骨バー、ラウンドバー
- ⑦鋭匙
- ⑧縫合器具一式
- ⑨根管充填器具一式(逆根管充填する場合)

(問題 100) 器具の写真(別冊午後No.38)を別に示す。

使用目的はどれか。1つ選べ。

- a 帯環の賦形
- b 矯正力の測定
- c アーチワイヤーの製作
- d ブラケットの位置決め

別冊 午後 No.38 写真

選択肢考察

答え c



アーチフォーマー

- × a バンドカンタリングプライヤーの使用目的である。
- × b テンションゲージの使用目的である。
- c 写真はアーチフォーマーである。角線のワイヤーを屈曲してアーチワイヤーを製作するのに用いる。
- × d ポジショニングゲージの使用目的である。

ポイント

<角線ワイヤーの屈曲に用いる器具>

アーチフォーマー、ツイードアーチベンディングプライヤー、ヤングプライヤー、バードピークプライヤーなど。

(問題 101) 21歳の男性。矯正装置装着後の口腔内写真(別冊午後No.39)を別に示す。

装着後の患者指導で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 柔らかい粘着性の食品を食べるように指導した。
- b リリーフワックスでの応急処置について説明した。
- c 運動時には外してケースに保管するように指導した。
- d 装着後1か月間の疼痛は生理的なものであると説明した。

別冊 午後 No.39 写真

選択肢考察

答え b



マルチブラケット装置

- × a ブラケットに付着するので、粘着性の食品は控えてもらう。
- b マルチブラケット装置装着後は、ワイヤー、ブラ

ケット、チューブなどが舌や頬粘膜に突き刺さることがある。そこで、リリーフワックスを予め患者に渡しておき、応急処置について説明しておく。

- × c マルチブラケット装置は固定式矯正装置なので、患者自身で着脱しない。
- × d 装着後1か月間も疼痛は続かない。長くても1週間程度である。

ポイント

<マルチブラケット装置装着後の患者指導>

- ・リリーフワックスを予め患者に渡しておき、応急処置について説明する。
- ・装着後1週間程度の疼痛はあり得ると説明する。
- ・ブラッシング指導を行う。

(問題 102) 5歳の男児。歯科健康診査でう蝕の疑いがあり来院した。母親が付き添い、ユニットに座ったところ、歯科衛生士の声掛けに笑顔を見せた。治療についてやさしく説明したところ、興味を示した。

Frankl(フランクル)の分類はどれか。1つ選べ。

- a 1度
- b 2度
- c 3度
- d 4度

選択肢考察

答え d

- × a 極度の治療拒否(治療拒否、号泣)を示す態度は1度に分類される。
- × b 拒否(治療を嫌々受け入れる、不機嫌)を示す態度は2度に分類される。
- × c 協力的な態度(治療に協力的であるが条件をつける、歯科医師の指示に従う)は3度に分類される。
- d 明らかに協力的な態度(治療に興味を示す、笑顔を見せる)は4度に分類される。

ポイント

<Frankl分類>

- ・歯科治療に対する小児の行動的反応の分類法である。
- ・行動療法(模倣療法、脱感作療法)の効果判定などに応用される。

(問題 103) 4歳の男児。歯の萌出遅延を主訴として来院した。抜歯経験はないという。毛髪は薄く、全身的に皮膚が乾燥している。初診時の口腔内写真(別冊午後No.40)を別に示す。

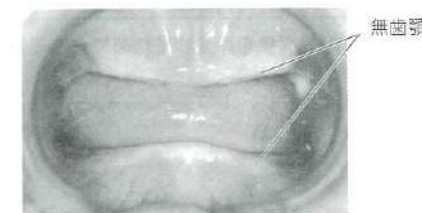
診療において留意すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 照明の明るさ
- b 診療室の温度調節
- c 低酸素発作の出現
- d 号泣による体温変化

別冊 午後 No.40 写真

選択肢考察

答え b d



- × a 抜歯経験がないにもかかわらず、歯がないことから無歯症と考えられる。毛髪の少ないので無汗型外胚葉異形成症と考えられる。照明の明るさは無関係である。
- b 無汗型外胚葉異形成症では、体温調節が困難なので、診療室の温度調節には留意すべきである。
- × c 低酸素発作は心疾患を有するダウン症候群の場合に発症しやすい。
- d 号泣すると体温が上昇するので、無汗型外胚葉異形成症では、体温変化に留意すべきである。

ポイント

<無汗型外胚葉異形成症>

- ・外胚葉系組織の障害
- ・毛髪、眉の形成不全、汗腺の形成不全、唾液分泌量の減少、歯の部分無歯症、完全無歯症

(問題 104) 写真(別冊午後No.41)を別に示す。

この器材の説明として正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 患者に装着してもらう。
- b 男性は胸部に装着する。
- c 被曝量が毎日測定できる。
- d 蛍光を発生する現象を利用している。

別冊 午後 No.41 写真

選択肢考察

答え b d



ガラスバッジ

- × a 医療従事者が装着するものである。放射線防護の目的で患者には防護エプロンを装着してもらう。
- b 男性は胸部、女性は腹部に装着するようになっている。
- × c 被曝量は専門業者での測定が必要なので、1か月毎の定期的な測定が必要である。
- d 写真はガラスバッジ(ガラス蛍光線量計)である。放射線を照射したガラスに紫外線を当てると蛍光を発生する現象を利用している。この蛍光量はほぼ被曝線量に比例する。

ポイント

<ガラスバッジ>

- ・放射線を照射したガラスに紫外線を当てると蛍光を発生する現象を利用している。
- ・医療従事者が装着する。
- ・男性は胸部、女性は腹部に装着する。
- ・1か月毎の定期的な測定が必要である。

(問題 105) 気道異物を除去するために行う処置を図に示す。

- この処置はどれか。1つ選べ。  
 a ボルヘルス法  
 b ハイムリック法  
 c ヒポクラテス法  
 d ペーパーバック法



選択肢考察 **答え b**

- × a ボルヘルス法は顎関節脱臼に対する徒手整復法の1つで、術者が患者の後ろに立って行う。
- b ハイムリック法は気道異物を除去する方法である。したがって、気道を確保する際に必要になる。
- × c ヒポクラテス法は顎関節脱臼に対する徒手整復法の1つで、術者が患者の前に立って行う。
- × d ペーパーバック法は過換気の状態を改善するために行う処置であるが、かえって危険性があるということで現在では行われなくなった。

**ポイント**

<ハイムリック法>

気道異物を除去する方法であるが、反応のある傷病者のみが適応である。

(問題 106) 「カ」の発音が不明瞭な患者で考えられる機能の低下はどれか。1つ選べ。

- a 咽頭の反射
- b 口唇の閉鎖
- c 舌後方の挙上
- d 舌前方の挙上

選択肢考察 **答え c**

- × a 咽頭の反射は「カ」の発音とは無関係である。
- × b 口唇の閉鎖は「バ」の発音で評価する。
- c 舌後方の挙上は「カ」の発音で評価する。
- × d 舌前方の挙上は「タ」の発音で評価する。

**ポイント**

<オーラルディアドコキネシス>

きまった音を繰り返し、なるべく早く発音させ、その数やリズムの良さを評価する。  
 「バ」(6回/秒以上で正常): 口唇閉鎖運動を評価する  
 「タ」(6回/秒以上で正常): 舌尖運動を評価する  
 「カ」(6回/秒以上で正常): 舌後方挙上運動を評価する

(問題 107) 摂食嚥下機能のスクリーニングテストを行っている写真(別冊午後No.42)を別に示す。

- 本テストで評価するのはどれか。1つ選べ。  
 a 鼻咽腔閉鎖機能  
 b 嚥下直後の呼吸音  
 c 不顕性誤嚥の有無  
 d 嚥下の随意的な惹起能力

別冊 午後 No.42 写真

選択肢考察 **答え d**



反復唾液嚥下テスト (RSST)

- × a 鼻咽腔閉鎖機能はブローイング検査で評価する。
- × b 嚥下直後の呼吸音は頸部聴診法で評価する。
- × c 不顕性誤嚥の有無は咳テストで評価する。
- d 嚥下の随意的な惹起能力は反復唾液嚥下テストで評価する。

**ポイント**

<反復唾液嚥下テスト (RSST)>

検査者は被検者の喉頭隆起と舌骨に人差し指と中指の腹を軽くあて、被検者に30秒間何度も唾液を飲み込むように指示する。30秒間に3回以上嚥下ができたら正常とし、2回以下の場合は嚥下障害を疑う。

(問題 108) 加齢に伴う摂食嚥下障害の間接訓練で、口腔期に障害がある場合に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 舌訓練
- b ガムラビング
- c 頭部挙上訓練
- d ペーシング訓練

選択肢考察 **答え a**

- a 舌訓練は筋刺激訓練法の1つで、準備期(咀嚼期)、口腔期、咽頭期に障害がある場合に行う摂食嚥下障害の間接訓練である。
- × b ガムラビング(歯肉マッサージ)は口腔期ではなく、準備期(咀嚼期)や咽頭期に障害がある場合に行う摂食嚥下障害の間接訓練である。
- × c 頭部挙上訓練(シャキア法)は咽頭期に障害がある場合に行う摂食嚥下障害の間接訓練である。
- × d ペーシング訓練は認知期(先行期)や準備期(咀嚼期)に障害がある場合に行う摂食嚥下障害の直接訓練である。

**ポイント**

<口腔期に障害がある場合に行う摂食嚥下訓練>

直接訓練	間接訓練
・味覚刺激嚥下	・筋刺激訓練法(口唇・舌・頬)
・咀嚼訓練	・脱感作療法
・嚥下の意識化	・冷圧刺激法
・うなずき嚥下	・のどのアイスマッサージ
・横向き嚥下	
・空嚥下	

(問題 109) 9歳の女兒。摂食嚥下障害を主訴として来院した。診察の結果、ある装置を製作した。装置を装着した時の口腔内写真(別冊午後No.43)を別に示す。

- この装置によって改善するのはどれか。1つ選べ。  
 a 口唇閉鎖不全  
 b 喉頭蓋閉鎖不全  
 c 鼻咽腔閉鎖不全  
 d 食道入口部開大不全

別冊 午後 No.43 写真

選択肢考察 **答え c**



軟口蓋挙上装置

- × a 口唇閉鎖不全に対しては、口輪筋トレーニング器具(りっぷるとれーなー)などを用いた口唇訓練を行う。
- × b 喉頭蓋閉鎖不全に対しては、頭部挙上訓練(シャキア法)などを行う。
- c 鼻咽腔閉鎖不全に対しては、ブローイング訓練を行ったり、写真の軟口蓋挙上装置(パラタルリフト)を装着したりする。
- × d 食道入口部開大不全に対しては、頭部挙上訓練(シャキア法)や喉頭挙上訓練(メンデルソン手技)などを行う。

**ポイント**

<軟口蓋挙上装置(パラタルリフト)>

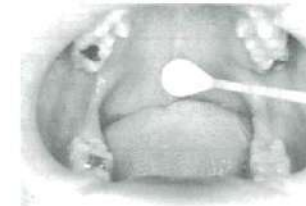
- ・義歯床の口蓋部後縁から軟口蓋挙上子を延長して製作する装置。
- ・軟口蓋挙上子によって、軟口蓋を機械的に挙上させ、構音時や嚥下時の鼻咽腔閉鎖を補助する。

(問題 110) 摂食嚥下障害に対する機能訓練中の口腔内写真(別冊午後No.44)を別に示す。

- 行っているのはどれか。1つ選べ。  
 a シャキア法  
 b 冷圧刺激法  
 c プッシング訓練  
 d メンデルソン手技

別冊 午後 No.44 写真

選択肢考察 **答え b**



冷圧刺激法(のどのアイスマッサージ)



### 国試対策講座

	①夏期基礎対策講座	②秋期衛生対策講座	③超直前国試対策講座
使用テキスト	夏の麗人 2026 (当日無料配布) 歯科衛生士の国家試験対策 夏の麗人 基礎まとめ編 2026yearbook	秋の麗人 2026 (当日無料配布) 歯科衛生士の国家試験対策 秋の麗人 衛生まとめ編 2026yearbook	国試の麗人II 2026 (模試2回以上受験者に無料進呈) ※お持ちでない方は、講座同時申込で2,600円で販売しています 歯科衛生士の国家試験対策 国試の麗人II 直前まとめ編 2026yearbook
講義内容	基礎科目：解剖・生理・生化・病理・微生物・薬理	口腔衛生・公衆衛生・栄養指導	全科目：まとめと出題予想
講義時間	9:00～15:30	9:00～15:30	9:00～17:00
会場	東京(定員150名) 9月20日(土)	東京(定員150名) 11月1日(土)	東京(定員150名) 2月11日(水祝)
	大阪(定員150名) 9月23日(火祝)	大阪(定員150名) 11月3日(月祝)	大阪(定員150名) 2月15日(日)
	福岡(定員100名) 9月21日(日)	福岡(定員100名) 11月2日(日)	福岡(定員100名) 2月14日(土)
	札幌(定員50名) 9月7日(日)	札幌(定員50名) 10月26日(日)	札幌(定員50名) 2月8日(日)
受講料	①夏期講座のみ 8,800円(税込)	②秋期講座のみ 8,800円(税込)	③超直前講座のみ 11,000円(税込)
	同時申込割引 ①夏期講座 + ②秋期講座 → 2講座同時申し込みで 1,000円引き ①夏期講座 + ③超直前講座 → 2講座同時申し込みで 1,000円引き ②秋期講座 + ③超直前講座 → 2講座同時申し込みで 1,000円引き ①夏期講座 + ②秋期講座 + ③超直前講座 → 3講座同時申し込みで 2,000円引き		

DHS歯科衛生士部 お申し込み・お問い合わせ先

無料電話 0120-594-509

無料FAX 0800-600-4192

ホームページ <http://www.rdcnet.jp/>

当社は個人情報保護に関する法令及びその他の規範を遵守いたします。  
また、申し込み・登録時にいただいた個人情報は下記の目的で使用いたします。  
●ご注文・ご登録いただいた商品・サービスの申し込みの確認やお届けをするため。  
●提供している商品・サービスのご案内をするため。  
●お問い合わせ、ご相談への対応のため。



QRコードからもお申し込みいただけます！



### 国試対策書籍

#### 国試の麗人I(国試解説編)

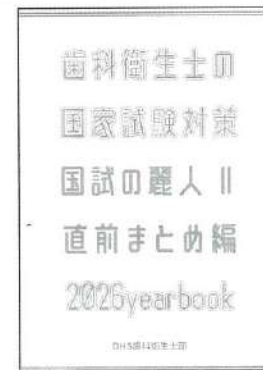


第27回から第34回の過去問の解説

6月上旬発行予定 3,410円(税込)

6月30日までお申込みの場合  
及び模試受験者は 特価2,750円(税込)

#### 国試の麗人II(直前まとめ編)

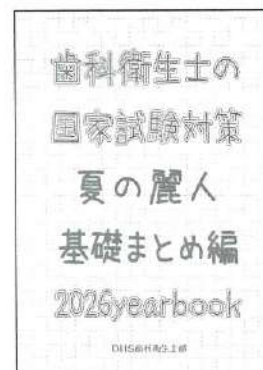


11月上旬発行予定 4,070円(税込)

12月25日までお申込みの場合  
特価2,860円(税込)

模試を同時に2回以上(学校申込含む)  
お申込みされた方には、無料進呈致します。

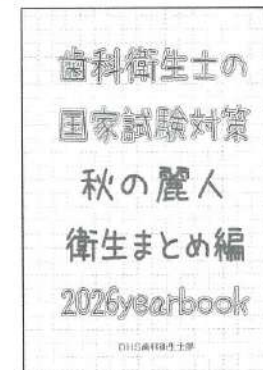
#### 夏の麗人(基礎まとめ編)



6月下旬発行予定 1,760円(税込)

夏期基礎対策講座をお申込みされた方には、  
無料進呈致します。

#### 秋の麗人(衛生まとめ編)



10月中旬発行予定 1,760円(税込)

秋期衛生対策講座をお申込みされた方には、  
無料進呈致します。

DHS歯科衛生士部 お申し込み・お問い合わせ先

無料電話 0120-594-509

無料FAX 0800-600-4192

ホームページ <http://www.rdcnet.jp/>

当社は個人情報保護に関する法令及びその他の規範を遵守いたします。  
また、申し込み・登録時にいただいた個人情報は下記の目的で使用いたします。  
●ご注文・ご登録いただいた商品・サービスの申し込みの確認やお届けをするため。  
●提供している商品・サービスのご案内をするため。  
●お問い合わせ、ご相談への対応のため。



QRコードからもお申し込みいただけます！



# 全国统一模擬試験

### 申込受付中

#### 実施日

第1回	学内受験	日時:2025年6月21日(土)～2月20日(金)
	自宅受験	日時:2025年6月29日(日)～2月20日(金)
第2回	学内受験	日時:2025年10月25日(土)～2月20日(金)
	自宅受験	日時:2025年11月2日(日)～2月20日(金)
第3回	学内受験	日時:2026年1月3日(土)～2月20日(金)
	自宅受験	日時:2026年1月11日(日)～2月20日(金)

#### 受験料 (税込)

受験回数	学内受験 (学校単位申込み)	自宅受験 (個人申込み)
1回受験	2,640円	3,740円
2回受験	5,060円	7,260円
3回受験	7,260円	10,560円

- 歯科衛生士国試は必ずここが出題される!精選予想問題を網羅しました。
- 歯科衛生士の充実した解説書は弱点補強に必ず役立ちます。
- コンピュータ採点により、詳細な分析・評価で合格率を診断します。



#### 特典

同時に模試2回以上お申込みされた方全員に、直前まとめ編「国試の麗人II」(4,070円(税込))を参考資料として進呈いたします。

歯科衛生士  
国試対策  
国試の麗人II  
直前まとめ編  
2025yearbook

※夏期・秋期・直前対策講座申込受付中

DHS歯科衛生士部 お申し込み・お問い合わせ先

無料電話 0120-594-509

無料FAX 0800-600-4192

ホームページ <http://www.rdcnet.jp/>

当社は個人情報保護に関する法令及びその他の規範を遵守いたします。  
また、申し込み・登録時にいただいた個人情報は下記の目的で使用いたします。  
●ご注文・ご登録いただいた商品・サービスの申し込みの確認やお届けをするため。  
●提供している商品・サービスのご案内をするため。  
●お問い合わせ、ご相談への対応のため。



QRコードからもお申し込みいただけます!

**D<sub>H</sub>S**

---